

2014～2015
次期地区役員・委員研修会

総合資料



日時： 2014年5月24日（土） 登録受付 12:00～12:30
準備会 12:30～13:30
研修会 13:40～18:00
懇親会 18:15～19:45

場所： 千春楽
〒758-0057 山口県萩市堀内菊ヶ浜 467-2
Tel (0838) 22-0326 Fax (0838) 24-1111

ライオンズクラブ国際協会 336-D地区
2014～2015年 次期キャビネット事務局
〒758-0025 山口県萩市大字土原字川島沖田 488の3 2F
Tel (0838) 21-7257 Fax (0838) 21-7258
E-mail hagicabinet_336d@tenor.ocn.ne.jp

目 次

●次期地区役員・委員研修会 出席者名簿	1～4
●次期地区役員・委員研修会タイムスケジュール	5
●全員研修会・分科会・懇親会 席次	6～12
●次期地区役員・委員研修会・分科会研修会 次第	13～15
●国際関係委員会・PR 情報委員会研修会 次第及び資料	16～33
●GLT 委員会 研修会 次第及び資料	34～40
●GMT 委員会 研修会 次第及び資料	41～57
●YCE 委員会 研修会 次第及び資料	58～63
●保健福祉環境保全・青少年健全育成委員会 研修会 次第	64
●2014～2015年ライオンズクラブ国際協会会長メッセージ (トロント国際大会にて承認予定)	65～68
●2014～2016年 西川義規 国際理事候補履歴書	69
●地区名誉顧問会議承認事項	70
●2014～2015年 次期ガバナーメッセージ	71
●2014～2015年 次期ガバナー基本方針	72
●2014～2015年 ロゴマーク	73
●地区運営及び奉仕活動の重点	74～78
●クラブ周年記念について	79
●2014～2015年 委員会構成・略称表	80
●地区の組織と役員・委員の任務について	81～84
●キャビネットローテーションについて	85
●ライオンズクラブ組織・336-D地区組織表 336-D 複合地区組織表・第61回地区年次大会運営組織表(案)	86～89
●地区役員の連携活動について	90
●年間事業・活動計画書(案)	91
●336-D地区リジョン連絡会議ガイドライン	92～93
●世界スカウトジャンボリーへの支援に関して	94～95
●ガバナーズアワード(案)	96
●キャビネット会議進行改正(案)	97～100
●各種会議日程及び次期キャビネット活動計画(案)	101～104
●2014～2015年ガバナー公式訪問予定日程(案)	105～106
●2014～2015年キャビネット業務分担表	107～110
●2014～2015年取引銀行について	111
●任務の代行(案)	112
●2014～2015年 旅費規程・慶弔規定	113

次期地区役員・委員出席者名簿

◎来賓・講師

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
谷野 徹	元国際理事	下関西	○	○	○	禁煙
坂根 勝	地区ガバナー	松江	○	○	○	禁煙
永井 義夫	336-D地区ガバナー協議会 元議長	浜田亀山	○	○	○	禁煙
大羽 義定	地区常任名誉顧問	益田あけぼの	○	×	×	禁煙
光貞 正明	地区常任名誉顧問	岩国錦	○	×	×	
組嶽 晶一	地区常任名誉顧問	東出雲	○	○	○	禁煙
倉益 芳太	地区名誉顧問	山口	○	○	○	禁煙
山根 健	地区名誉顧問	防府 ゴールデン	○	○	○	禁煙
小田 隆弘	PR・情報委員長	穴道	○	○	○	禁煙
野々村 一巳	YCE委員長	大東	○	×	×	
牛尾 尚義	青少年健全育成委員長	出雲南	○	×	×	
月森 和弘	保健福祉環境保全委員長	大田	○	○	○	禁煙

◎次期キャビネット

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
竹下 雅雄	地区ガバナーエレクト	萩	○	○	×	
矢野 敏明	次期第一副地区ガバナー	松江葵	○	○	○	喫煙
藤本 幸嗣	次期第二副地区ガバナー	平生	○	○	○	禁煙
齋藤 幸男	次期キャビネット幹事	萩	○	○	×	
三好 一敏	次期キャビネット会計	萩	○	○	×	
阿合 孝徳	次期キャビネット副幹事	松江葵	○	○	○	禁煙
廣畑 雅弘	次期キャビネット副幹事	萩	○	○	×	
宮本 直治	次期キャビネット副幹事	萩	○	○	×	

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
いわかわ たかかず 岩川 宗和	次期キャビネット副幹事	萩	×	×	×	
おかだ かずよし 岡田 和好	次期キャビネット副幹事	長門	○	×	×	
しらい かつみ 下井 克己	次期キャビネット副幹事	秋芳	○	○	○	
もりた てつひろ 森田 哲弘	次期キャビネット副幹事	田万川	○	○	×	
とみかわ よしと 富川 芳人	次期キャビネット副会計	萩	○	○	×	
いまち みのる 井町 實	次期年次大会委員長	萩	×	×	×	
くろせ ただし 黒瀬 正	次期年次大会副委員長	長門	×	×	×	
かわはら けんいちろう 川原 謙一郎	次期年次大会副委員長	萩	○	×	×	
あげやま けいいち 上ヶ山 慶市	次期地区会計監査委員	益田あけぼの	×	×	×	
たなか ひさし 田中 寿	次期地区会計監査委員	下関北	×	×	×	

◎次期リジョンチェアパーソン（GLT委員兼任）

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
もりやま こうきち 森山 浩吉	1Rリジョンチェアパーソン	松江湖城	○	○	○	禁煙
うしお ひさよし 牛尾 尚義	2Rリジョンチェアパーソン	出雲南	○	×	×	
つげ みのる 拓殖 實	3Rリジョンチェアパーソン	石見	○	×	×	
おおはま しげお 大濱 茂生	4Rリジョンチェアパーソン	大島オレンジ	○	○	○	禁煙
てらだ かずお 寺田 一男	5Rリジョンチェアパーソン	防府中央	○	○	×	
おおたに しょうじ 大谷 昭治	6Rリジョンチェアパーソン	楠	○	○	×	
いのうえ てつじ 井上 哲治	7Rリジョンチェアパーソン	豊北	○	○	○	禁煙

◎次期ゾーンチェアパーソン (GMT委員兼任)

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
小林 一夫	1R1Zゾーンチェアパーソン	安来	×	×	×	
足立 守	1R2Zゾーンチェアパーソン	松江	○	○	○	喫煙
土江 陽治	2R1Zゾーンチェアパーソン	平田	○	○	○	禁煙
陰山 洋二	2R2Zゾーンチェアパーソン	出雲南	○	○	○	喫煙
後藤 英夫	2R3Zゾーンチェアパーソン	頓原	○	○	○	禁煙
竹辺 正人	3R1Zゾーンチェアパーソン	瑞穂	○	○	×	
小谷 典弘	3R2Zゾーンチェアパーソン	浜田	○	○	○	禁煙
野田 勝人	4R1Zゾーンチェアパーソン	岩国	○	×	×	
田村 敬治	4R3Zゾーンチェアパーソン	柳井	○	×	×	
中林 嘉明	5R1Zゾーンチェアパーソン	光	○	○	○	禁煙
渡邊 弘信	5R3Zゾーンチェアパーソン	防府	○	○	×	
松本 豊	5R4Zゾーンチェアパーソン	山口中央	○	○	×	
仲田 眞一	6R1Zゾーンチェアパーソン	宇部ときわ	○	○	○	禁煙
田辺 敏彦	6R2Zゾーンチェアパーソン	楠	○	○	×	
小田 芳男	6R3Zゾーンチェアパーソン	萩	○	○	×	
田上 登	7R1Zゾーンチェアパーソン	下関新下関	○	○	○	禁煙
林 透	7R2Zゾーンチェアパーソン	豊浦	×	×	×	

◎次期地区委員長

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
増山 健治	PR・情報委員長	萩	○	○	×	
浅田 保彦	GLTコーディネーター	下関中央	○	×	×	
土江 陽治	GMTコーディネーター	平田	○	○	○	重複
大野 美雄	国際関係委員長	松江	○	○	○	禁煙

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
三好 昇	YCE委員長	山口西京	○	○	○	喫煙
前村 きみこ	保健福祉環境保全委員長	宇部ハーモニー	○	○	○	禁煙
武波 博行	青少年健全育成委員長	楠	○	○	×	

◎次期地区委員

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
わたなべ じゅんいち 渡辺 順一	1R担当YCE委員	松江葵	○	○	○	禁煙
まえだ きよゆき 前田 清行	2R担当YCE委員	斐川	○	○	○	喫煙
うしろやま ひろまさ 後山 宏昌	3R担当YCE委員	江津	○	○	×	
いとう ひでゆき 伊藤 秀行	4R担当YCE委員	大島	○	○	○	禁煙
さぬき りゅうへい 佐貫 龍平	6R担当YCE委員	宇部サルビア	○	○	○	禁煙
おだ まなぶ 織田 学	7R担当YCE委員	下関響灘	○	○	○	喫煙
なかむら すずむ 中村 進	1R担当保健福祉環境保全委員	安来	×	×	×	
のむら あきら 野村 明	2R担当保健福祉環境保全委員	出雲	○	○	○	喫煙
あらい のぶゆき 新井 伸之	3R担当保健福祉環境保全委員	金城抱月	×	×	×	
たなか とくじ 田中 篤治	4R担当保健福祉環境保全委員	岩国	○	×	×	
わたなべ てるあき 渡邊 輝明	5R担当保健福祉環境保全委員	新南陽若山	○	×	×	
よねむら よしはる 米村 仁治	7R担当保健福祉環境保全委員	豊田山口	○	×	×	
おばた たけし 小畑 猛	1～7R青少年健全育成委員	掛合	○	○	○	禁煙

◎オブザーバー

氏名	役職名	所属クラブ	出欠		宿泊	備考
			研修会	懇親会		
かげやま とみお 景山 登美男	2R3Z 幹事	頓原	○	○	○	禁煙
むらた まさあき 村田 正明	3R1Z Z幹事	瑞穂	○	○	×	

次期地区役員・委員研修会タイムスケジュール

開催日時：2014年5月24日(土)

会 場：千春楽

項 目	時 間	備 考
登録受付	12:00～12:30	
準備会	12:30～13:30	
全員研修会	13:40～15:30	
分科研究会	15:40～16:40	
休憩	16:40～17:00	
全員研修会	17:00～18:00	
懇親会	18:15～19:45	

全員研修会 席次

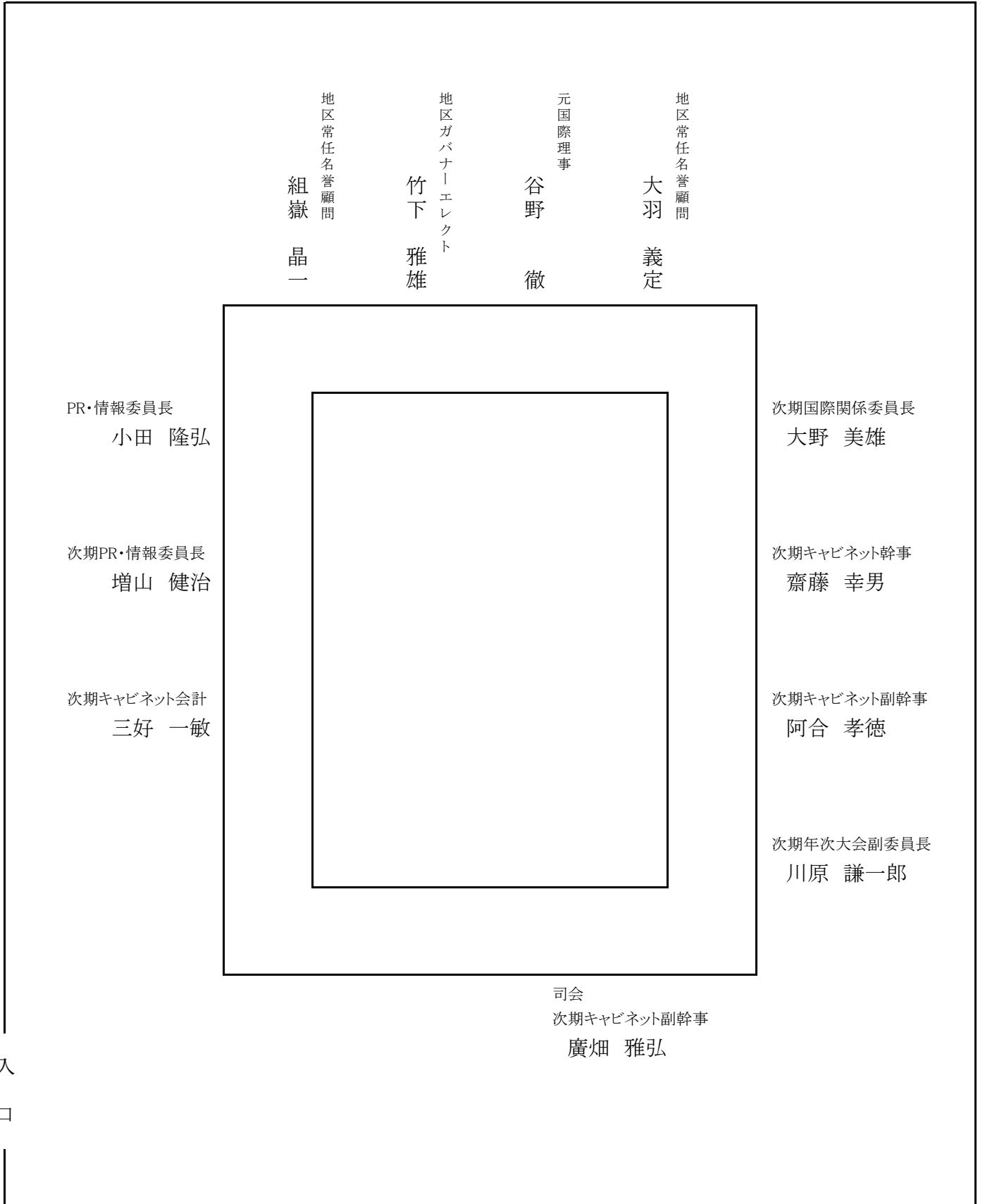
次期キャビネット会計
三好 一敏
保健福祉環境保全委員長
月森 和弘
YCE委員長
野々村 一巳
青少年健全育成委員長
牛尾 尚義

地区名誉顧問 山根 健	地区名誉顧問 倉益 芳太	地区名誉顧問 組嶽 晶一	地区常任名誉顧問 光貞 正明	地区常任名誉顧問 大羽 義定	336複合地区 ガバナ―協議会元議長 永井 義夫	元国際理事 谷野 徹	地区ガバナ― 坂根 勝	地区ガバナ―エレクト 竹下 雅雄	次期第一副地区ガバナ― 矢野 敏明	次期第二副地区ガバナ― 藤本 幸嗣	次期国際関係委員長 大野 美雄	PR・情報委員長 小田 隆弘	次期キャビネット副幹事 阿合 孝徳	司会 次期キャビネット幹事 齋藤 幸男
----------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	--------------------------------	---------------	----------------	---------------------	----------------------	----------------------	--------------------	-------------------	----------------------	---------------------------

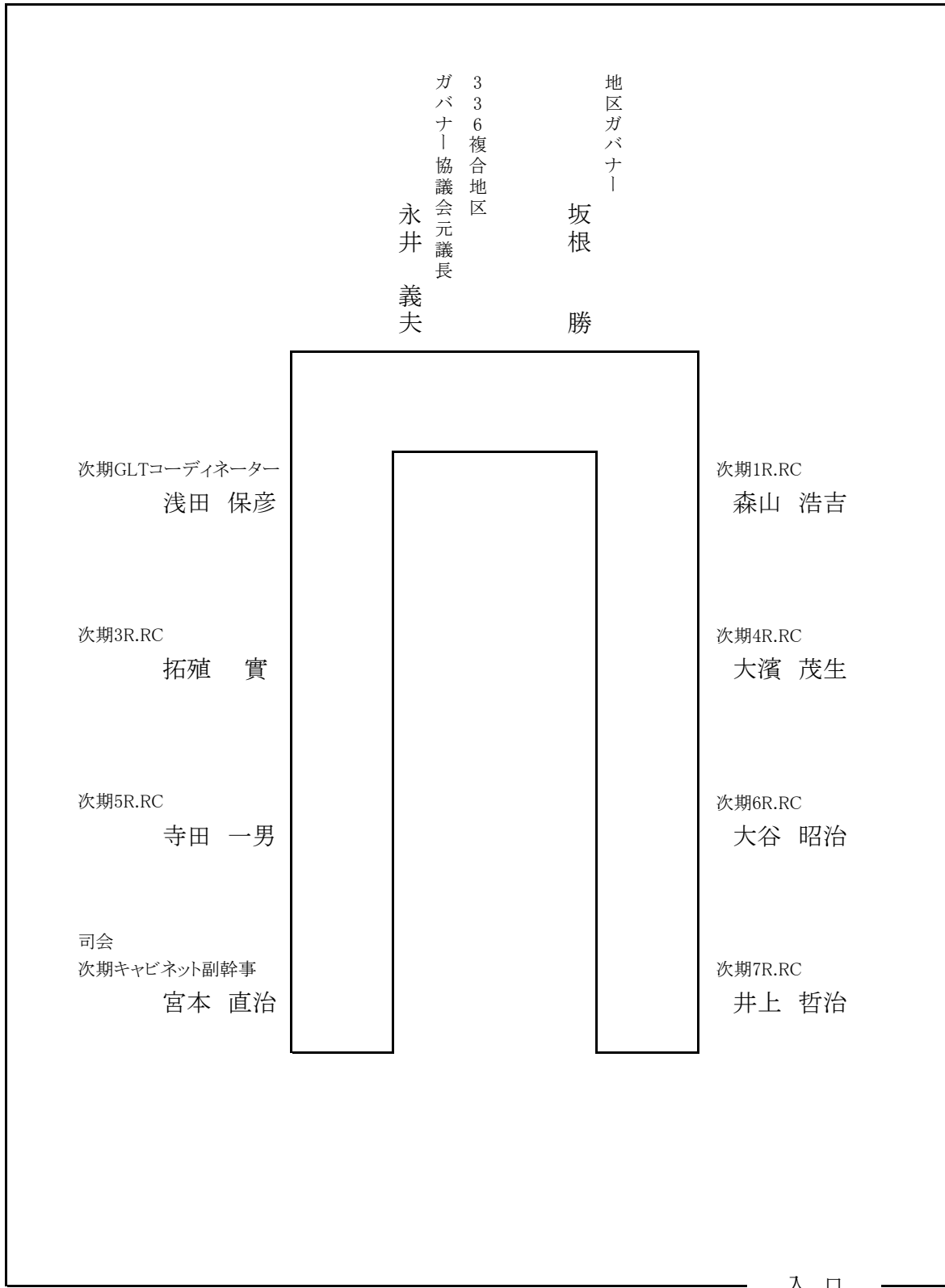
演 台

増山 健治	浅田 保彦	土江 陽治	三好 昇	前村きみこ	武波 博行	森山 浩吉	拓殖 實
大濱 茂生	寺田 一男	大谷 昭治	井上 哲治	足立 守	陰山 洋二	後藤 英夫	竹辺 正人
小谷 典弘	野田 勝人	田村 敬治	中林 嘉明	渡邊 弘信	松本 豊	仲田 眞一	田辺 敏彦
小田 芳男	田上 登	渡辺 順一	前田 清行	後山 宏昌	伊藤 秀行	佐貫 龍平	織田 学
野村 明	田中 篤治	渡邊 輝明	米村 仁治	小畑 猛	景山登美男	村田 正明	廣畑 雅弘
宮本 直治	岡田 和好	下井 克己	森田 哲弘	富川 芳人	川原謙一郎		

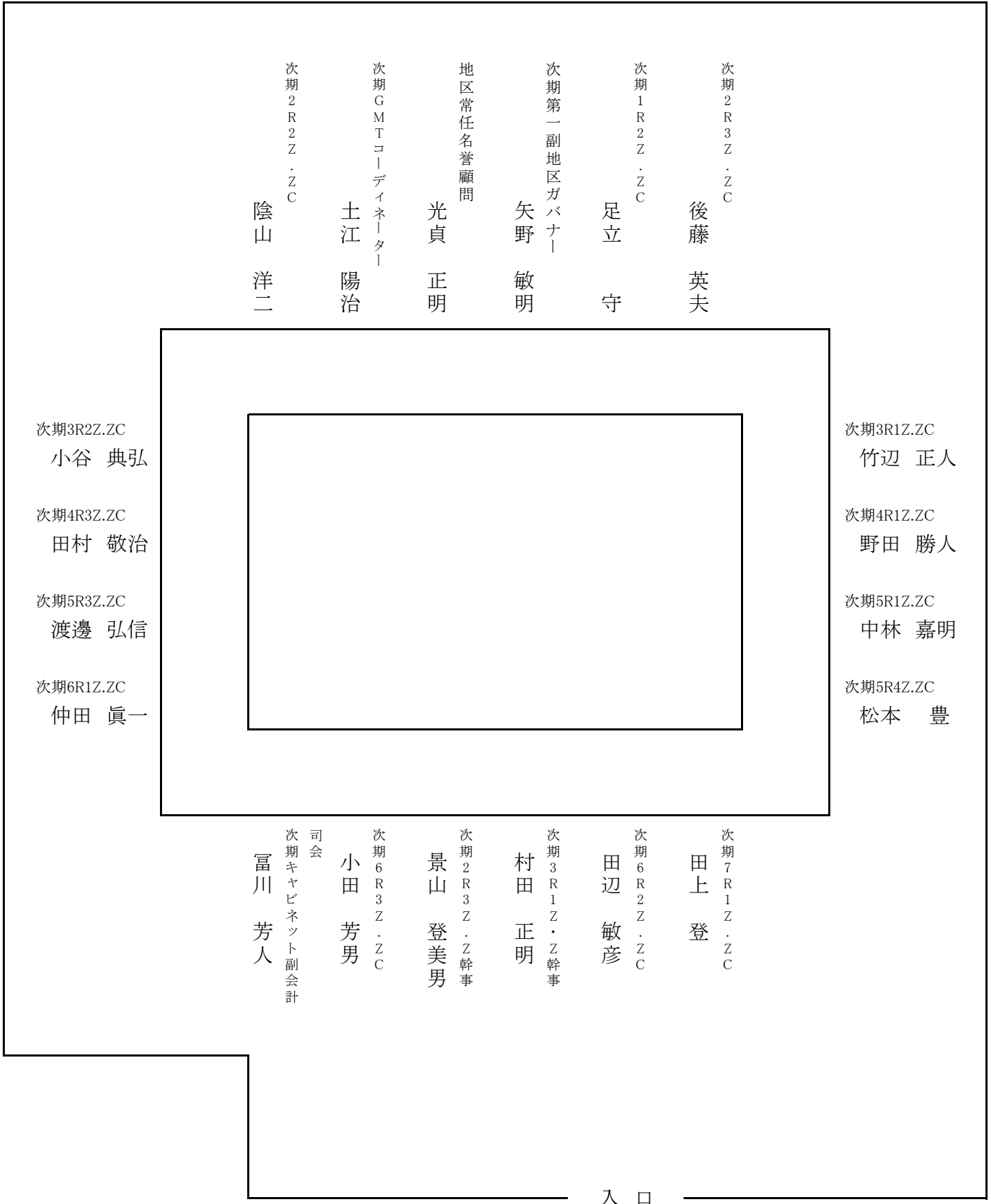
国際関係委員会、PR・情報委員会研修会(於:風の間)



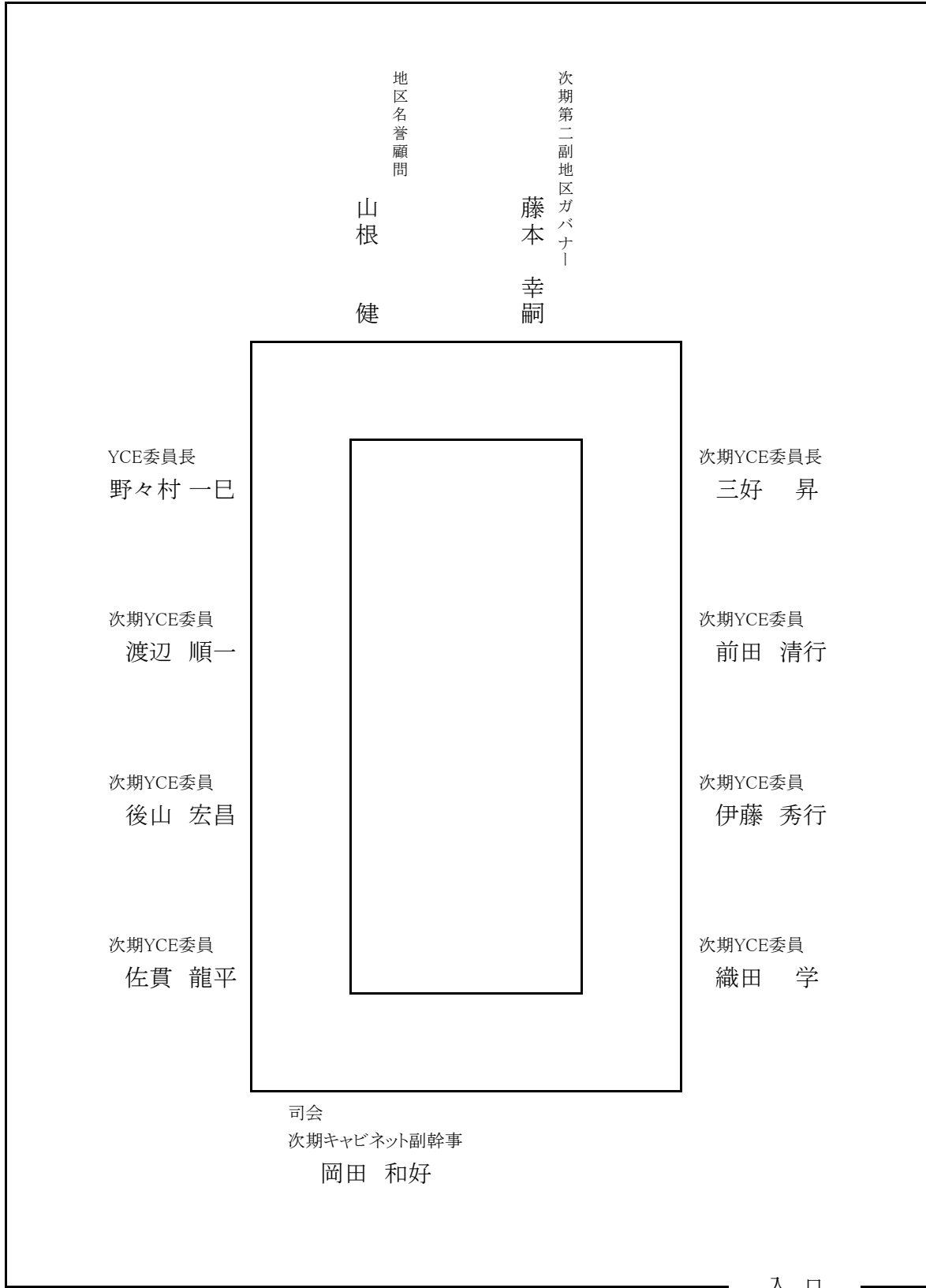
GLT委員研修会(於:竹の間)



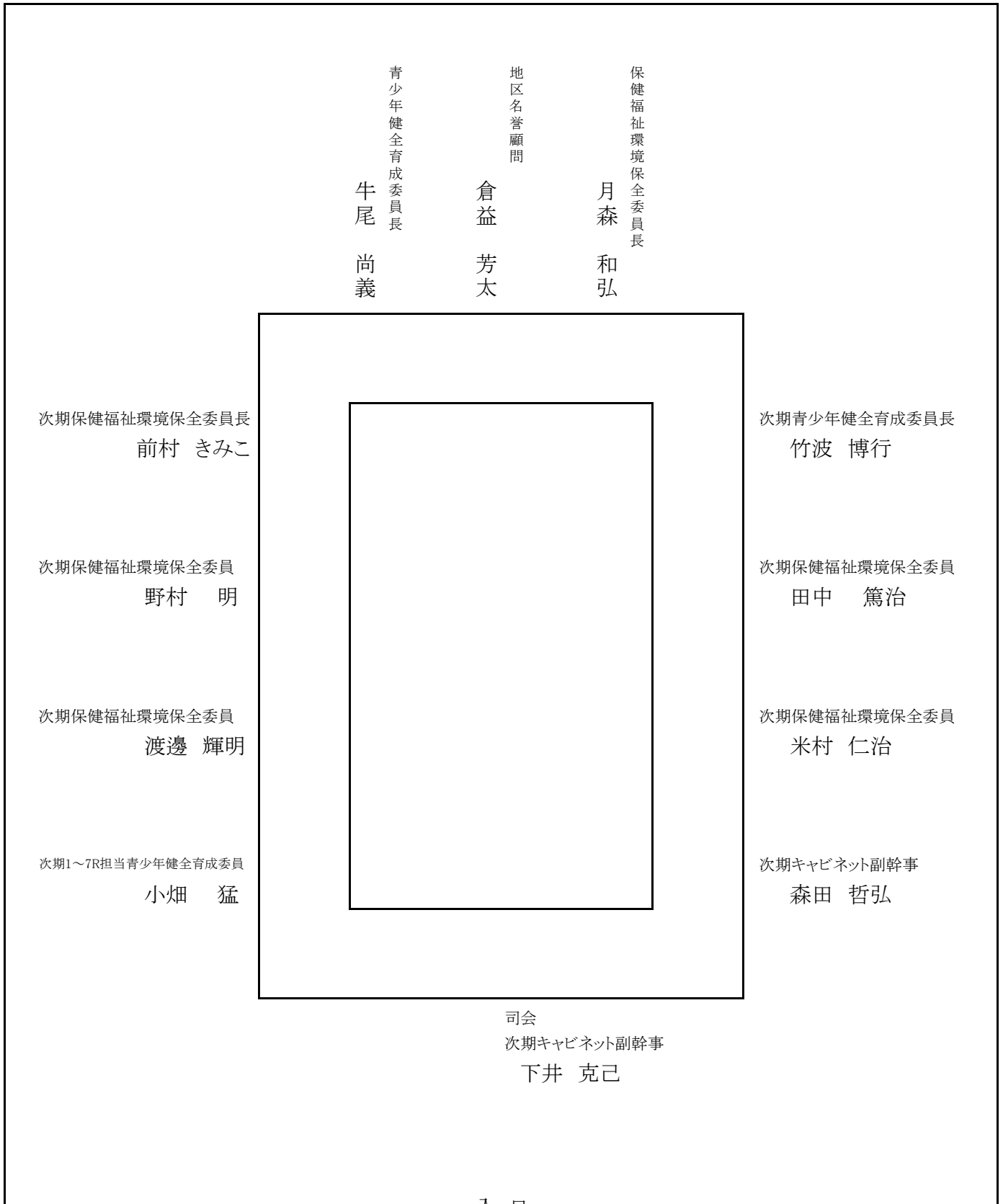
GMT委員研修会(於:花の間)



YCE委員研修会(於:蘭の間)



保健福祉環境保全・青少年健全育成委員研修会(於:鳥の間)



青少年健全育成委員長

牛尾 尚義

地区名誉顧問

倉益 芳太

保健福祉環境保全委員長

月森 和弘

次期保健福祉環境保全委員長
前村 きみこ

次期保健福祉環境保全委員
野村 明

次期保健福祉環境保全委員
渡邊 輝明

次期1～7R担当青少年健全育成委員
小畑 猛

次期青少年健全育成委員長
竹波 博行

次期保健福祉環境保全委員
田中 篤治

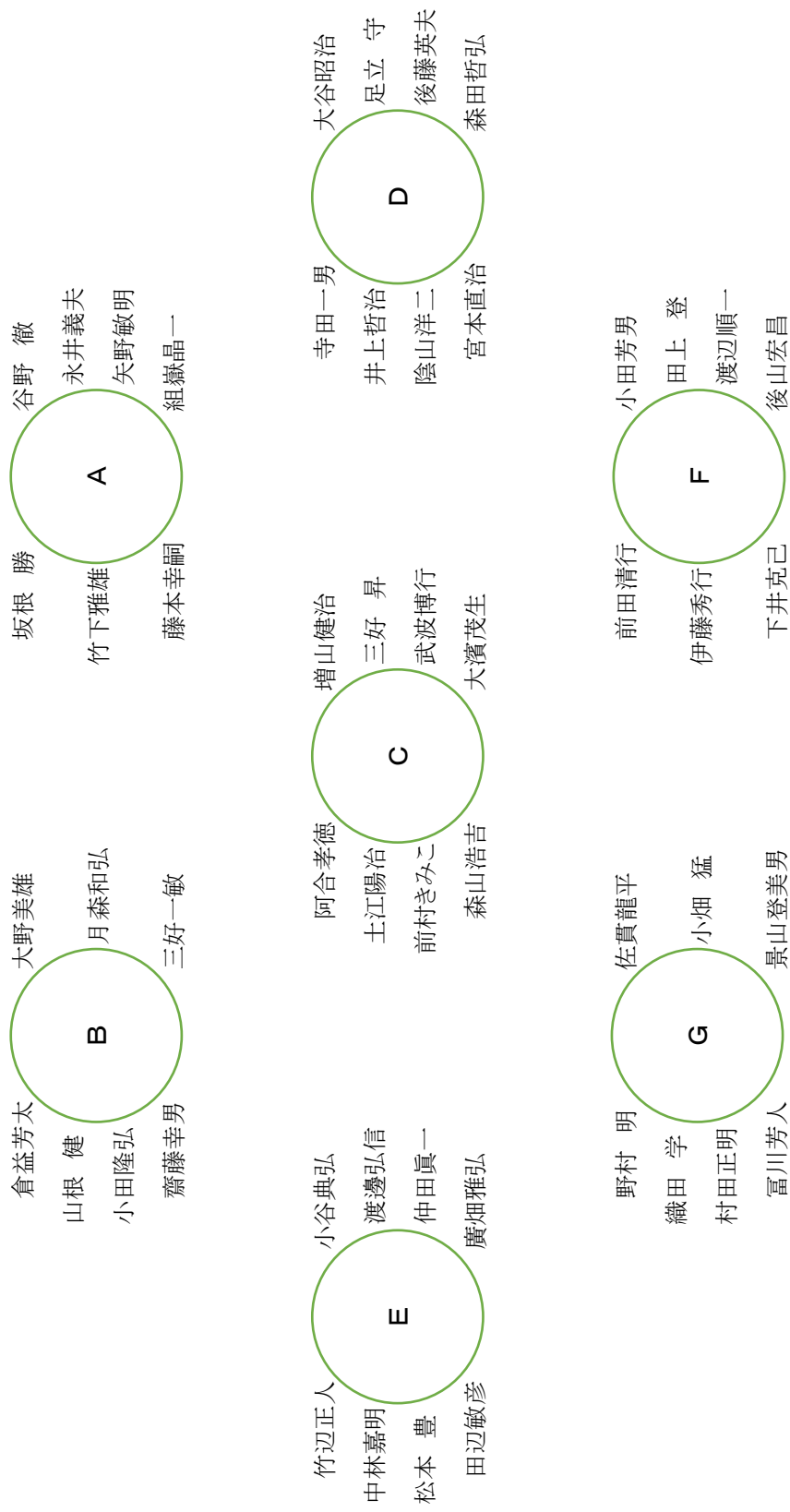
次期保健福祉環境保全委員
米村 仁治

次期キャビネット副幹事
森田 哲弘

司会
次期キャビネット副幹事
下井 克己

入口

懇親会 席次



次期地区役員・委員研修会

日 時 : 2014年5月24日(土) 12:30~19:45
場 所 : 萩焼の宿 千春楽

登録受付 12:00~12:30

準備会 12:30~13:30

司会 次期キャビネット会計 三好一敏

1. 開会ゴング 地区ガバナーエレクト 竹下雅雄
2. 国旗に敬礼
3. 国家斉唱
4. ライオンズクラブの歌斉唱
5. 来賓、講師、キャビネット構成員、出席者の紹介
6. 挨拶 次期キャビネット幹事 齋藤幸男
地区ガバナー 坂根 勝
地区ガバナーエレクト 竹下雅雄
次期第一副地区ガバナー 矢野敏明
次期第二副地区ガバナー 藤本幸嗣
7. 研修会の説明 次期キャビネット幹事 齋藤幸男

～休憩～

全員研修会 13:40~15:30

司会 次期キャビネット幹事 齋藤幸男

1. 次期地区役員に望む 地区ガバナー (15分) 坂根 勝
2. 次期地区運営の基本方針 地区ガバナーエレクト (30分) 竹下雅雄
3. ライオンズクラブ国際協会について 元国際理事 (15分) 谷野 徹
4. GMT・GLTについて 地区名常任誉顧問 (10分) 光貞正明
5. LCIFについて 地区常任名誉顧問 (10分) 大羽義定
6. YCEについて 地区名誉顧問 (10分) 山根 健
7. 質疑応答

分科研修会 15 : 40～16 : 40

国際関係委員研修会、PR・情報委員研修会		
	司会	次期キャビネット副幹事 廣畑雅弘
1. ご助言	元国際理事	谷野 徹
2. 講師	地区常任名誉顧問	大羽義定
	地区常任名誉顧問	組嶽晶一
	PR・情報委員長	小田隆弘
GLT 委員研修会		
	司会	次期キャビネット副幹事 宮本直治
1. 講師	地区ガバナー	坂根 勝
	336-複合地区ガバナー協議会元議長	永井義夫
GMT 委員研修会		
	司会	次期キャビネット副会計 富川芳人
1. 講師	地区常任名誉顧問	光貞正明
	次期第一副地区ガバナー	矢野敏明
YCE 委員研修会		
	司会	次期キャビネット副会計 岡田和好
1. 講師	地区名誉顧問	山根 健
	YCE 委員長	野々村一巳
保健福祉環境保全委員研修会		
青少年健全育成委員研修会		
	司会	次期キャビネット副幹事 下井克己
1. 講師	地区名誉顧問	倉益芳太
	青少年健全育成委員長	牛尾尚義
	保健福祉環境保全委員長	月森和弘

休 憩 16 : 40～17 : 00

全員研修会 17:00~18:00

司会 次期キャビネット幹事 齋藤幸男

1. 次期地区役員委員長の抱負(各5分)

次期 PR・情報委員長	増山健治
次期 GMT コーディネーター	土江陽治
次期 GLT コーディネーター	浅田保彦
次期国際関係委員長	大野美雄
次期 YCE 委員長	三好 昇
次期保健福祉環境保全委員長	前村きみこ
次期青少年健全育成委員長	武波博行
第61回地区年次大会について 次期地区年次大会委員長	井町 實

2. ご指導・ご助言(各7分)

336 複合地区ガバナー協議会元議長	永井義夫
地区常任名誉顧問	光貞正明
地区常任名誉顧問	組嶽晶一

3. 閉会のゴング

地区ガバナーエレクト 竹下雅雄

懇親会 18:15~19:45

司会 次期キャビネット副幹事 廣畑雅弘
次期キャビネット副幹事 宮本直治

1. 開宴の言葉	次期キャビネット会計	三好一敏
2. 挨拶	地区ガバナーエレクト	竹下雅雄
3. 乾杯	地区常任名誉顧問	大羽義定
4. ライオンズ・ローア	地区ガバナー	坂根 勝
5. 閉会の言葉	次期キャビネット幹事	齋藤幸男

国際関係委員会・PR 情報委員会 研修会

次 第

司会 次期キャビネット副幹事 廣畑雅弘

- | | | |
|------------|----------|------|
| 1. 開会のあいさつ | | 廣畑雅弘 |
| 2. 出席者紹介 | | 廣畑雅弘 |
| 3. ご助言 | 元国際理事 | 谷野 徹 |
| 4. 講師 | 地区常任名誉顧問 | 大羽義定 |
| | 地区常任名誉顧問 | 組嶽晶一 |
| | PR・情報委員長 | 小田隆弘 |
| 5. 質疑応答 | | |
| 6. 閉会のことば | | |

講師及び出席者

講師			
元国際理事	谷野 徹	地区常任名誉顧問	大羽義貞
地区常任名誉顧問	組嶽晶一	PR・情報委員長	小田隆弘
出席者			
ガバナーエレクト	竹下雅雄	次期国際関係委員長 (現キャビネット幹事)	大野美雄
次期キャビネット幹事	齋藤幸男	次期キャビネット会計	三好一敏
次期 PR・情報委員長	増山健治	次期キャビネット副幹事	阿合孝徳
次期年次大会副委員長	川原謙一郎	次期キャビネット副幹事	廣畑雅弘

国際協会について

会長 Barry J.Palmer (オーストラリア)

第一副会長 Joseph Preston (米国)

第二副会長 山田 實 元国際理事 第二副会長に立候補、ハンブルグにて開催された第96回国際大会において投票、信任を受け就任
今年(2014年7月)カナダ、トロントの国際大会において投票、信任を経て第一副会長 来年(2015年7月)米国ハワイ州ホノルルにおいて投票、信任を経て会長就任

ライオンズ国または領域 208

総クラブ数 46,562 クラブ

総会員数 1,389,905 名 2014年5月2日現在

執行役員 会長、前会長、第一、第二副会長、国際理事 1名

会則地域	国際理事数	会員数
アメリカおよびその周辺+カナダ	15	334,867+37,677 (カナダ)
メキシコ、中南米、カリブ海諸島	3	101,949
ヨーロッパ	5	262,248
インド、南アジア、アフリカ、中東	4	311,658
東洋・東南アジア	6	291,890
オセアニア (オーストラリア他)	1	45,568
合計	34名	1,389,905名

アポイントイ (委員会に所属し理事会での議決権はない)

会長の指名による7~8名 (会長の出身国及び地域が多い)

* 国際理事会委員会

第一副会長担当 大会委員会/財務及び本部運営委員会/長期計画委員会
PR委員会

第二副会長担当 会則及び付則委員会/地区及びクラブサービス委員会
指導力育成委員会/会員増強委員会/奉仕事業委員会

前国際会長担当 LCIF 執行委員会

* GMT, GLT

* 日本からの国際理事

2012～2014年7月の国際大会まで 武久 一郎理事（西日本）会則及び付
則委員会

2013～2015年 清水 英徳 333D 地区名誉顧問

2014～2016年 西川 義規 335MD 元ガバナー協議会議長
（トロントにて信任予定）

2015年 東日本 1 西日本 1 計3名 2016年 東日本 1 計3名

2017年 計2名 2018年 計2名 2019年 計3名

2020年 計3名 2021年

* 国際大会

第97回 カナダ トロント

第98回 米国ハワイ州ホノルル（山田 實紘会長就任）

第99回 日本 福岡

第100回 米国イリノイ州シカゴ

* 東洋・東南アジアフォーラム

第53回 仁川（インチョン） 2014年11月13日～16日

* 日本ライオンズの歴史

1952. 3.15. フィリッピン、マニラLCのスポンサーで東京LCが誕生

1981年 村上国際会長誕生

1987年 小川第三副会長就任（台北大会）89年9月逝去（第一）

1993年 会員数 168,236名 2014年4月1日 112,080名 約40%減
+11,310

336D地区 3,207名 +141名

（米国 1980年 569,000名、2014/05/02 338,915名 約40%減）

参考：韓国 79,873名 台湾 44,768名 インド 236,056名

日本ライオンズさらには国際協会の発展を期して

若い後継者の育成 → 日本からの国際会長の誕生

* LCIFについて（330～337複合地区）

2013年2月実績 525,338,765円

2013年7月～2013年12月 累計 523,825,323円

*** 家族会員について**

2013年10月6日－9日オーストラリア、ポートダグラス理事会の決定事項
(2013年10月9日より3年間)

家族会員の招請に際しての条件の緩和及び会費の減額

義務及び権利

一番大切なことはクラブにとって何か

MEMO

2014～2015 次期地区役員・委員研修会
2014年5. 24

LCIF 組織と現状

MDコーディネーター 大羽 義定

(献金関係)

- 3-5 献金と交付金の関係 献金の種類
- 6-8 日本の100%MJFクラブリスト
- 8 献金手続き (送金方法)
- 9 献金フォーム
- 10-12 日本の地区別献金額推移 (2008/9-2011/12)
- 13 世界地区別献金額 (上位25位)
- 14 国別献金額の推移

(交付金関係)

- 15 地区別交付金実績
- 16-21 LCIF 交付金の種類 (誰が申請できるのか)
 - 1. 一般交付金
 - 2. 国際援助交付金
 - 3. 緊急援助交付金
 - 4. 四大事業 (コア フォー)
- 21 2008-2012年理事会承認交付金国別件数
- 22 申請から承認までの流れ, 申請書作成のポイント
- 23 交付金の適・不適リスト
- 24 日本への交付金件数、金額推移(2001-2012)
- 24-28 対日交付金リスト (過去3年)
- 28 国際協会のウェブサイトの利用
- 29-30 一般交付金申請書新フォーム

LCIFの交付金の種類

(誰が申請できるのか)

- A. 1. 一般交付金 (地区、または2クラブ以上の合同)
- 2. 国際援助交付金 (クラブまたは地区)
- 3. 緊急援助交付金 (地区ガバナー、複合議長)
- 4. 四大事業交付金 (地区)
- 5. 大災害交付金 (国際本部)
- 6. 用途指定交付金 (指定の内容に基づく)
- B. 7. 視力ファースト交付金 (国単位、複合地区)

1. 一般交付金 (基準に基づく交付金が源意)

LCIFの規定は: 次の3つの分野で申請できる

(この分野に入らない事業は一般交付金では申請できない)

(地球環境問題, 地球温暖化問題関連事業は下記分野に入らないので申請出来ません)

1. (直接的な) 人道主義的奉仕
 - a. 医療サービスの拡張。
 - b. 老人、ホームレス、危機に置かれた子供達に恩恵をもたらす事業。
 - c. 発展途上国における学校設立。
2. 盲人及び障害者奉仕
 - d. リハビリ、生活訓練センター
 - e. 職業訓練施設
3. 災害復興

私の経験から:

(基本条件)

(判り易く言い換えると)

- 1) 人道主義的奉仕とは: (その事業をすると困っている人が助かるのか?)
- 2) 事業の成果が永続的 (物として残ること)
- 3) クラブの関与が十分 (単にお金を提供)
- 4) 奉仕を受ける人の数が多い事 (受益者は不特定多数)
- 5) 直接的な人道奉仕事業であること (広報 PR 事業は対象外)

(誰が申請できるのか)

- a) 二つ以上のクラブ、又は地区が申請できる。(単一クラブの申請は出来ない)

(何件申請できるのか)

- b) 地区として常に2件、金額上限で15万ドルの枠がある。
* 2008年6月理事会より3年間は臨時に5件でしたが、この措置は終了。

(申請金額は)

- c) 事業予算の50%まで申請可、金額の上限は\$75,000

一般交付金の申請金額の下限は約1万ドル程度と考えてください。

(申請金額が50万円を断ったというケースがあります)

* 予算の中に会議費等を入れてはいけません。交付金の原資は皆様の献金ですので会議費に使うわけにはいかないのです。

(申請の時期は)

d) 理事会の 60 日前が申請の締め切り、キャビネット会議の承認が必要。

2012-2013 年の締め切り日

理事会開催日	申請書締切日
2012 年 10 月 30 日	8 月 31 日
2013 年 4 月 15 日	2 月 15 日
6 月 30 日	4 月 30 日
10 月 6 日	8 月 6 日

e) 毎回必ず期日に間に合わない申請があります。仮書類で受け付けし、ガバナー署名の正式な書類は遅れてでも手続きしますので事前に相談してください。

頻繁に起こる事例：新年度 10 月－4 月に事業の場合は 7 月の第一回キャビネット会議にかけないと間に合いません。

f) 終了した事業は対象になりませんので事業のスケジュールは理事会承認後着工/開始と書いてないと受領できません。

g) クラブ、地区申請の場合、必要なサインは地区ガバナーのサインのみです。フォームにある複合議長のサインは複合地区申請の場合に使用のためです。

申請を断った事例（基本的な理由は前述の 3 つの分野に入らないため）

1) 人道主義的奉仕事業に当たるのか？

（それが無いと言って困っている人が本当にいるのですか？）

1. 明治時代に輸入された機関車の保存事業
2. ライオンズカップジュニアテニストーナメント
3. 青少年吹奏演奏会に伴う学校への楽器の贈呈
4. 聾学校の和太鼓の米国までの空送費用
5. 日韓子ども記者交換事業
5. 献眼者顕彰・慰霊碑建立
6. 市から要請の公園整備事業
8. 身障者孤児たちの癒しのモニュメント
9. 桜の木、松の木の植林
10. 小学生の一輪車大会及び講習会
11. 養護施設へのソーラーパネルの設置
12. 盲人用のタンデム自転車
13. イベントの見学に身障者を招待
14. AED（自動体外式除細動器）
15. 既存の身障者用トイレへの音声ガイド及びビジュアルガイドの設置
16. 野外の老人用リハビリ施設
17. 老人用運動器具
18. 骨髄移植推進運動のための観劇とビデオ、感想冊子作成

2) 事業の成果が永続的であること（物として残らなければ駄目）

1. 手話コンクール開催費用
2. 眼科学会の開催費用
3. 糖尿病予防キャンペーン（視力ファースト事業なら申請出来る）

3) クラブの関与が十分であること（単にお金を渡すのは駄目）

1. 第三者に委託して海外に学校を建てる。

4) 奉仕を受ける人の数が多い事（受益者は不特定多数。1対1型は駄目）

1. 盲導犬の購入寄贈
2. アイバンク向けのマイクロケラトロン(利用度が極端に少ない)
3. 特定人数への手術の提供
4. 特定人数への車椅子の提供
5. AED（自動体外式除細動器）の購入（実際に使用した例がない）

5) 直接的な人道奉仕事業であること（広報PR事業は対象外）

1. 額入りの市民憲章の作成、配付
2. 電光掲示版設置による広報啓発運動

その他の理由から 断った事例

1. パプアニューギニアへのソーミルの寄贈
2. 広域消防組合への救急車寄贈
3. 申請内容では理事会用申請書を書けないため
4. 前年度と全く同じ内容の申請
5. 廃校の机、椅子、ピアノ等をフィリピンに送付寄贈
6. タイ北部の視力事業につき専門家の合意が得られなかった
7. 小型の水力発電所設置
8. ネパールの住民のための多目的施設

申請が棚上げになった例

1. 寄贈先に既にLCIFの交付金対象事業がある場合、事業完了報告書がLCIFに届いてから同一受益者への申請は1年の期間を置かなければならない。

今後5年間は同種の申請は認められないと言う条件がつけられた案件

1. 長野日赤に対する血液輸送車の寄贈

2.国際援助交付金（IAG） {海外で何かをしてあげる}

- A. 自分のクラブと途上国のクラブ（或いは地区と地区）との共同の事業。事業のねらいは自立を促す実践的な事業を通じて、貧しい地域社会の生活水準を高める事。

注意： 建物の建設はIAGでは認められません。

一般交付金と異なりキャビネット会議の承認は必要ありません。

(どのような事業が対象となるのか)

給水事業 (井戸を掘る)
保健サービス (眼鏡の配布, 村の保健員の訓練, 医療センターへの備品,
老人のための医療サービス)
地方の開発 (農業訓練, 食料生産、作業所の設置)
貧困地帯での職業訓練などの経済開発
教育及び識字 (途上国の学校に書籍, コンピューターの提供)
障害者援助 (リハビリ、自立の助力)
環境保全 (植林、衛生施設)
ライオンズ医療使節団、眼鏡再生活動

(誰が申請できるのか)

地区、クラブの何れも年間1回だけ申請できる。

(申請金額は)

予算の50%まで、金額は\$5,000 - \$30,000の範囲で、

(申請の時期は)

\$10,000以内の申請は随時申請可。

理事会にかけず、課長、部長、国際本部長、LCIF理事長の4名の承認のため

\$10,001以上の申請は一般交付金と同じく理事会にかけますので、理事会の60日前までに出して下さい。

- B. 認められない事業 → 学校の校舎を含む建物の新築(一般交付金で申請してください) ただ校舎の修理、備品はOKです。
- C. 申請書にはホスト、スポンサーのクラブ会長、地区ガバナーの合計4つのサインが必要です。

注意事項：海外で事業をする場合は一般交付金でも現地のライオンズクラブの関与が必須となります。

2. 緊急援助交付金 (\$10,000)

対象となるのは地震、台風、大雨による洪水など自然災害であり、旱魃、害虫の発生、疾病、伝染病、人災に対しては交付されない。

災害の規模としては100人以上の人々が避難せざるを得ない規模

- A. 災害発生後30日以内が規定ですが、1週間程度内に出して下さい。
(発生から40日/60日後の申請で断った例が2件あります。)
- B. ガバナー名で、被災状況を簡単に個条書で、及び新聞記事を添付してメールかファックスして下さい。フォームは問いません。

- C. ライオンズの救援活動計画と交付金の用途(下記)を述べてください。
申請金額は\$ 10,000 まで、24 時間以内に承認。(本部経理から日本事務所への
支払い の指示は週 1 回、毎水曜日に出されます。)

用途は、食料品、水、衣類、寝具、薬品、商品券、皆様の判断で使っていただ
いて結構ですが行政への現金の寄贈は認められません。あくまでライオンズが行
う災 害救助事業用です。

復旧のために資金が必要な場合は一般交付金で申請してください。

4. 四大事業 (コアフォー)

一般援助金よりも焦点を絞ったプログラムで指定された特定事業に限る。
LCIF が 75%を交付、地区が 25%を調達する。(LCIF の上限は \$ 200,000)

(I. 視力保護)

従来あった 1. 弱視治療奉仕と 2. 幼児の光学視力検査は SF 事業と
独立の事業となったため現在視力保護の分野はオープン

(II. 障害者援助)

3. ハビタットヒューマニティと障害者住居建設
4. 障害者運動選手に眼科治療を施すため、
スペシャル オリンピックスとのオープニングアイズ事業

(III. 健康推進)

5. 糖尿病予防と治療

(VI. 青少年奉仕)

6. ライオンズクエスト
単独地区申請の場合の上限は\$25,000
2 地区以上の共同申請の上限は\$100,000

日本におけるライオンズクエストの担当は青少年育成支援フォーラム (JIYD)
Tel: 03-3440-4486 ホームページ(www.LQJP.org) で勉強してからコンタクトして下
さい。

5. 大災害 (これは申請でなく本部判断によります)

東日本大震災、神戸地震、スマトラ沖地震、四川省地震のような
大災害の際に適用。2012 年 7 月の九州の水害にも適用されました。

- 6 用途指定: 献金を受けた際に指定されている 用途に基づいて交付される。

7. 視力ファースト 途上国における失明の防止のための事業

申請から承認に至るまでの流れ

1. 申請が基準にあっているかどうかをチェック
 - a. 基準に合わないケースはこの段階で断ります。
 - b. 基準に合えば、受け付け、英訳に回します。
2. 出来た英訳を基にして担当者が1ページの英文の申請書サマリーを作成します。
このサマリーはA.問題点, B.その解決策, C.その他情報, D.予算という構成
ですので和文の申請書にこれら情報がありませんと、英文申請書が書けません。
(日本からの申請は問題点の指摘が弱い)
3. LCIF 部内の会議で、前例から問題なしと思われる申請はA。
執行委員で検討して欲しいと思われる申請はBに分類します。
ライオンズが存在しない国での事業は全てB分類に入る。
4. 理事会の2週間くらい前に議題として整へ、執行委員会のメンバー
が内容を検討して会議に望みます。
5. A分類については一括承認で、B分類の申請については平均して1件
につき5分ほどの討議がなされます。 以上が承認までの流れです。
6. 交付金承認の連絡がキャビネットに行きます。国際協会の東京事務所（五反田の用品販売事務所）に本部より振込の指示が行き(週1回、水曜日に指示が出ます)、振込口座情報に関し五反田の事務所よりキャビネット、クラブにコンタクトがあります。もし海外の事業で為替問題を避けるためにドルによる送金を希望の場合は予め銀行にドル口座を設置しておくことをお奨めします。(334-A、333-C、330-Bは実施)

申請書作成のポイント

- 本文は2-3ページで、論理的、簡潔に。お願い調でなく、良い事業である旨を述べ、本部を説得する。
- 情に訴える書き方は駄目。使用を避けて欲しい表現：当方の事情をご賢察、伏してお願い、趣旨ご理解賜りますこと 等。
- 役所に出す書類という意識でなく普通の人に説明するような意識で、基本は①現在これがなくて困っている②この申請事業でこの問題を解決する③これによって何名くらいの方が助かると言う風な流れで書いてください。
- 事業名は一見して内容がわかるように、何々整備事業という風な役所の予算项目的なタイトルは駄目です。例 青少年自立支援事業、東日本大震災心の支援事業
- なお海外の事業の場合土地名等は英文のスペルを必ず入れて下さい。（翻訳者が一つの地名の英文表示を探すのに1時間もかかることがある。）

LCIFの交付金申請について、その適、不適例

一般交付金としての申請に適した事業

- ▶ 医療施設の拡張, 医療機器の寄贈
- ▶ 障害者援助
- ▶ 発展途上国における学校の建設
- ▶ 巡回検診車
- ▶ 身障者用輸送車両の寄贈

一般交付金申請の対象にならない事業

- ▶ 人道主義的奉仕と見なされない事業
- ▶ 事業の成果が永続的でないもの— (1, 2日で事業が終了する)
- ▶ 政府 又は他の組織が資金援助すべき事業
- ▶ 環境問題への取り組み
- ▶ 文化的事業
- ▶ 奨学金
- ▶ 地域社会の改善—図書館、公園、遊技場、運動場など
- ▶ スポーツ大会の開催
- ▶ 集会所、コミュニティーセンターの建設
- ▶ 職業訓練所の建設 (身障者用は対象となります)
- ▶ 単一クラブの事業—最低二つ以上のクラブの関与が必要
- ▶ 既存施設の運営経費及び給与
- ▶ ローンの返済のため、又は積立基金
- ▶ 個人の科学研究
- ▶ ライオンズ又はその家族が直接職業上の利益を受けるような事業。

国際援助交付金として申請に適した事業

- ▶ 給水事業 (井戸を掘る)
- ▶ 保健サービス (眼鏡の配布, 村の保健員の訓練, 医療センターへの備品, 老人のための医療サービス)
- ▶ 地方の開発 (農業訓練, 食料生産、作業所の設置、
貧困地帯での職業訓練などの経済開発)
- ▶ 教育及び識字 (途上国の学校に書籍, コンピューターの提供)
- ▶ 障害者援助 (リハビリ、自立の助力)
- ▶ 環境保全 (植林、衛生施設)
- ▶ ライオンズ医療使節団、眼鏡再生活動

日本への交付金件数、金額、推移

年度	件数	金額
<u>2010年-2011年</u>		
12015/330-A 緊急援助(水害)		\$10,000

12150/330-A*	フィリピンの小学校に備品の寄贈	\$ 7,500
11803/330-B	ラオス、カンボジアにおける地雷除去	\$45,354
12311/330-B	児童の簡易視力検査機器	\$18,293
12324/330-B	老人施設用介護車	\$24,146
12310/330-B	身障児用機能訓練機器	\$13,170
12312/330-C	身障者運搬車両	\$ 9,756
12325/332-A	市民病院に移動式人口呼吸器の寄贈	\$15,854
12373/332-A	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12364/332-B	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12029/332-C	ライオンズクエスト	\$25,000
12365/332-C	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12366/332-D	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12386/332-E	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12308/332-E	血液輸送車の寄贈	\$12,195
12382/332-F	緊急援助（大雪）	\$10,000
12378/MD332	大災害	\$500,000
12388/MD332	東日本大震災	\$100,000
12390/MD332	東日本大震災	\$170,000
12368/MD332	東日本大震災	\$500,000
12406/MD332	東日本大震災	\$500,000
12407/MD332	東日本大震災(テント)	\$20,066
12423/MD332	東日本大震災	\$500,000
12428/MD332	東日本大震災	\$45,000
12433/MD332	東日本大震災	\$1,500,000
12500/MD332	東日本大震災	\$12,000
12511/MD332	東日本大震災	\$1,000,000
12367/333-B	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12042/333-B	インドの病院に眼科医療機器の寄贈	\$33,537
12175/333-C	ライオンズクエスト	\$50,000
12519/333-C	ライオンズクエスト(第二部)	\$50,000
12370/333-C	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12369/333-E	緊急援助（地震、津波）	\$10,000
12379/MD333	大災害	\$500,000
12424/MD334	東日本大災害用途指定	\$500,000
12023/334-A	児童養護施設の設備改良	\$14,625
11947/334-A*	フィリピンの学校における井戸掘削	\$ 7,000
12413/334-A	カンボジアにおける図書館の建設	\$11,000
12259/334-A	フィリピン、バギオの小学校の拡張	\$65,000
12313/334-A	スリランカの保育園の拡張	\$18,300
12084/334-B	緊急援助(水害)	\$10,000
12166/334-B	特別支援学校のキッチンの改良	\$ 9,756
12167/334-B	身障者、老人用運搬車両（2台）	\$30,488
12462/334-B*	ケニアの学校にスクールバスの寄贈	\$ 7,500
12168/334-C	カンボジアにおける小学校の建設	\$25,000
12118/334-C	緊急援助(水害)	\$10,000
12030/334-D	ライオンズクエスト	\$25,000

12043/334-E*	フィリピンにおける医療ミッション	\$30,000
12044/334-E*	フィリピンにおける歯科ミッション	\$30,000
12383/334-E	緊急援助(地震)	\$10,000
12172/335-B	シードプロジェクト日本ライトハウス	\$10,000
12333/335-B	盲導犬訓練センター用機器	\$18,293
12027/335-D	ネパールにおける歯科クリニックの設置	\$11,546
12466/335-D	身体障害者施設用用具	\$15,000
12189/336-B	ライオンズクエスト	\$25,000
12309/336-B	ネパールにおける診療所の改築	\$15,000
12174/336-C	ライオンズクエスト	\$25,000
12022/336-D	緊急援助(水害)	\$10,000
12190/336-D	ライオンズクエスト	\$25,000
11809/337-A	アイバンクにマイクロスコープの寄贈	\$17,607
12326/337-A	アイバンクにマイクロケラトロン <small>の寄贈</small>	\$35,976
12296/337-B	緊急援助(火山活動による)	\$10,000
12031/337-C	ライオンズクエスト	\$25,000
12090/337-C*	バングラデシュにおけるアイキャンプ	\$10,000
12089/337-D	緊急援助(水害)	\$10,000
12033/337-E	ライオンズクエスト	\$25,000

合計 67 件

\$6,853,962

2011年-2012年

12734/330-A	マニラのデイケアセンターの増設	\$10,000
12806/330-B	ベトナムにおけるクリニックの改善	\$32,467
12533/330-C	ライオンズクエスト	\$25,000
12535/332-B	ライオンズクエスト	\$25,000
12743/332-B	緊急用ラジオ	\$311,688
12744/332-B	屋台村	\$1,246,382
12745/332-C	コインランドリー	\$397,403
12746/332-D	汚染除去用クリーナー	\$1,006,494
12778/332-D	ライオンズクエスト	\$25,000
12560/MD332	東日本大震災	\$100,000
12634/MD332	東日本大震災	\$1,000,000
12750/MD332	東日本大震災	\$1,000,000
12948/MD332	東日本大震災	\$1,000,000
12985/MD332	東日本大震災	\$3,188,859
13019 MD332	東日本大震災	\$1,000,000
13059 MD332	東日本大震災	\$2,214,327
12524/333-A	ライオンズクエスト	\$25,000
12869/333-C	フィリピン向け消防自動車の寄贈	\$ 9,740
12530/333-D	ライオンズクエスト	\$25,000
13008/333-E	緊急援助(竜巻)	\$10,000

12569/334-A	カンボジアの小学校5校の井戸掘削	\$21,559
12717/334-A	北部タイへの車椅子の寄贈	\$15,244
12805/334-A	カンボジアの小学校の浄水施設とトイレ	\$ 9,868
12833/334-A	ベトナムの病院に医療機器の寄贈	\$15,585
12834/334-A	児童擁護施設の改修	\$27,273
12970/334-A	北部タイにおける浄水事業	\$12,805
12485/334-B	ライオンズクエスト	\$100,000
12724/334-B	緊急援助 (台風)	\$10,000
12568/334-B	眼科機器の寄贈	\$44,817
12972/334-B	福祉車両の寄贈	\$11,585
12487/334-C	ライオンズクエスト	\$25,000
12567/334-D	眼科機器の寄贈	\$16,098
12998/334-D	アイバンク用マイクロケラトロン	\$22,500
12602/334-E	フィリピンへの医療ミッション	\$30,000
12603/334-E	フィリピンへの歯科ミッション	\$30,000
12848/334-E	フィリピンへの歯科ミッション	\$10,000
12720/335-A	緊急援助 (台風)	\$10,000
12691/335-B	緊急援助 (台風)	\$10,000
12701/335-C	緊急援助 (台風)	\$10,000
12486/335-C	ライオンズクエスト	\$100,000
12979/335-C	血液輸送車の寄贈	\$29,927
12536/335-D	ライオンズクエスト	\$100,000
12584/335-D	点字用機器の寄贈	\$10,000
12729/MD335	緊急援助(台風)	\$10,000
12532/336-A	ライオンズクエスト	\$25,000
12971 /336-B	タイにおける植林	\$10,000
12779/336-C	ライオンズクエスト	\$25,000
12814/336-C	身障者用車両の寄贈	\$18,000
12816/336-C	眼科機器の寄贈	\$47,923
12836/337-A	フィリピン向け消防自動車の寄贈	\$16,500
12780/337-B	ライオンズクエスト	\$25,000
12531/337-D	ライオンズクエスト	\$25,000
12592/337-D	カンボジアにおけるエイズ患者用施設の建設	\$25,000
合計	53 件	<u>\$13,552,044</u>

MD336— D地区 LCIF3年間の献金目標(5% アップ)

単位:千円

地区	R	Z	クラブ名	A	B	C	D	E	F	G	H	備考
				2009~12年実績		2012~15年目標		2012~13年度		13~14年度(10月現在)		
				総額	年平均	総額	年平均	実績	達成率 %	実績	達成率 %	
336—D	1	1	安来 来	398	133	418	140	149	106.4%	0	0.0%	
			出雲 広瀬	100	33	105	35	0	0.0%	0	0.0%	
			東出雲	884	295	928	310	314	101.3%	196	63.2%	
			安来十神	399	133	419	140	78	55.7%	155	110.7%	
			伯太	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	
			八雲	190	63	200	66	30	45.5%	0	0.0%	
		計	1,971	657	2,070	690	571	82.8%	351	50.9%		
		2	松江 江	884	295	928	310	417	134.5%	1,223	394.5%	
			松江 湖城	919	306	965	321	206	64.2%	174	54.2%	
			大東	514	171	540	180	142	78.9%	0	0.0%	
			宍道	818	273	859	287	78	27.2%	100	34.8%	
			鹿島島根	249	83	261	87	82	94.3%	0	0.0%	
			美保 関	163	54	171	57	32	56.1%	0	0.0%	
		松江 葵	1,156	385	1,214	404	438	108.4%	402	99.5%		
	隠岐 海士	32	11	34	12	32	266.7%	34	283.3%			
	計	4,735	1,578	4,972	1,657	1,427	86.1%	1,933	116.6%			
	1R	6,706	2,235	7,042	2,347	1,998	85.1%	2,284	97.3%			
	2	1	出雲	529	176	555	185	222	120.0%	297	160.5%	
			平田	885	295	930	310	131	42.3%	158	51.0%	
			大社	206	69	216	72	31	43.1%	40	55.6%	
			佐田	2	1	2	1	0	0.0%	0	0.0%	
			多伎 町	143	48	150	50	28	56.0%	0	0.0%	
		計	1,765	588	1,853	618	412	66.7%	495	80.1%		
		2	出雲 中央	583	194	612	204	73	35.8%	197	96.6%	
			斐川	1,038	346	1,090	363	171	47.1%	109	30.0%	
			出雲 南	830	277	872	291	214	73.5%	0	0.0%	
			出雲レークヒル	235	78	247	82	114	139.0%	0	0.0%	
		計	2,686	895	2,821	940	572	60.8%	306	32.5%		
		3	木次	249	83	261	87	48	55.2%	61	70.1%	
			三刀 屋	140	47	147	49	0	0.0%	0	0.0%	
			加茂 島根	45	15	47	16	0	0.0%	0	0.0%	
	仁多		720	240	756	252	121	48.0%	0	0.0%		
	掛合		2	1	2	1	8	800.0%	0	0.0%		
赤来	185		62	194	65	46	70.8%	0	0.0%			
頓原	23		8	24	8	8	100.0%	0	0.0%			
横田	155	52	163	55	86	156.4%	0	0.0%				
計	1,519	506	1,594	531	317	59.7%	61	11.5%				
2R	5,970	1,990	6,268	2,089	1,301	62.3%	862	41.3%				
3	1	大田	411	137	432	144	135	93.8%	0	0.0%		
		石見	61	20	64	21	0	0.0%	0	0.0%		
		邑智 大和	198	66	208	69	10	14.5%	0	0.0%		
		瑞穂	86	29	90	30	10	33.3%	0	0.0%		
	計	756	252	794	265	155	58.6%	0	0.0%			
	2	浜田	761	254	799	267	166	62.2%	0	0.0%		
		江津	899	300	944	315	140	44.4%	471	149.5%		
		益田	1,492	497	1,567	522	156	29.9%	198	37.9%		
		浜田 亀山	472	157	496	165	289	175.2%	186	112.7%		
		益田 あげぼ	872	291	916	306	285	93.1%	153	50.0%		
		金城 抱月	304	101	319	106	124	117.0%	0	0.0%		
		桜江	277	92	291	97	129	133.0%	0	0.0%		
	浜田 マリン	521	174	547	183	50	27.3%	136	74.3%			
	計	5,598	1,866	5,879	1,960	1,339	68.3%	1,144	58.4%			
3R	6,354	2,118	6,673	2,224	1,494	67.2%	1,144	51.4%				
4	1	岩国	436	145	458	152	137	90.1%	170	111.8%		
		岩国 錦	690	230	725	242	228	94.2%	284	117.4%		
		岩国 桜	688	229	722	240	136	56.7%	168	70.0%		
		由宇	261	87	274	91	51	56.0%	0	0.0%		
		計	2,075	692	2,179	726	552	76.0%	622	85.6%		
	2	柳井	190	63	200	66	92	139.4%	0	0.0%		
		大島	136	45	143	47	34	72.3%	0	0.0%		
		田布 施	294	98	309	103	35	34.0%	0	0.0%		
		計	620	206	652	216	161	74.5%	0	0.0%		
		4R	1,255	416	1,301	438	313	71.3%	0	0.0%		

3	柳井中央	78	26	82	27	19	70.4%	24	88.9%
	大島オレンジ	100	33	105	35	0	0.0%	0	0.0%
	平生	190	63	200	66	19	28.8%	0	0.0%
	大島中央	29	10	30	11	0	0.0%	0	0.0%
	計	1,017	339	1,069	356	199	55.8%	24	6.7%
4R		3,092	1,031	3,248	1,083	751	69.4%	646	59.7%
1	下松	535	178	562	187	41	21.9%	0	0.0%
	徳山	135	45	142	47	56	119.1%	0	0.0%
	光	659	220	692	231	86	37.2%	98	42.4%
	新南陽	349	116	366	122	91	74.6%	0	0.0%
	徳山東	115	38	121	40	52	130.0%	0	0.0%
	徳山中央	763	254	801	267	521	195.1%	0	0.0%
	下松中央	169	56	178	59	30	50.8%	0	0.0%
	周南	193	64	203	67	41	61.2%	0	0.0%
	新南陽若山	118	39	124	41	38	92.7%	0	0.0%
	計	3,036	1,012	3,189	1,063	956	89.9%	98	9.2%
3	防府	663	221	696	232	306	131.9%	95	40.9%
	防府中央	472	157	496	165	279	169.1%	69	41.8%
	防府ゴールデン	270	90	284	95	183	192.6%	32	33.7%
計	1,405	468	1,476	492	768	156.1%	196	39.8%	
4	山口	758	253	796	266	198	74.4%	214	80.5%
	山口西京	563	188	591	197	50	25.4%	0	0.0%
	山口中央	291	97	306	102	375	367.6%	0	0.0%
計	1,612	537	1,693	564	623	110.4%	214	37.9%	
5R		6,053	2,018	6,358	2,119	2,347	110.7%	508	24.0%
1	宇部	783	261	822	274	342	124.8%	0	0.0%
	宇部ときわ	326	109	342	114	139	121.9%	39	34.2%
	宇部新川	764	255	802	268	154	57.5%	99	36.9%
	宇部かたばみ	1,362	454	1,430	477	800	167.7%	82	17.2%
	宇部サルビア	824	275	865	289	308	106.6%	198	68.5%
	宇部ハーモニー	264	88	277	92	328	356.5%	98	106.5%
計	4,323	1,441	4,538	1,513	2,071	136.9%	516	34.1%	
2	小野田	467	156	490	164	283	172.6%	0	0.0%
	美祿	555	185	583	194	145	74.7%	0	0.0%
	山陽	173	58	182	61	177	290.2%	0	0.0%
	楠	407	136	427	143	0	0.0%	0	0.0%
計	1,602	534	1,682	561	605	107.9%	0	0.0%	
3	萩	680	227	714	238	287	120.6%	127	53.4%
	長門	519	173	545	182	170	93.4%	0	0.0%
	秋芳	77	26	81	27	0	0.0%	0	0.0%
	田万川	144	48	151	50	0	0.0%	0	0.0%
計	1,420	473	1,491	497	457	92.0%	127	25.6%	
6R		7,345	2,448	7,711	2,570	3,133	121.9%	643	25.0%
1	下関	828	276	869	290	340	117.2%	98	33.8%
	下関東	101	34	106	36	46	127.8%	0	0.0%
	下関西	392	131	412	138	297	215.2%	0	0.0%
	下関長府	196	65	206	68	39	57.4%	0	0.0%
	下関北	1,800	600	1,890	630	314	49.8%	197	31.3%
	下関響灘	599	200	629	210	91	43.3%	0	0.0%
	下関新下関	729	243	765	255	58	22.7%	0	0.0%
下関維新	0	0	0	0	0	0.0%	5	0.0%	
計	4,645	1,548	4,877	1,626	1,185	72.9%	300	18.5%	
2	豊浦	105	35	110	37	32	86.5%	0	0.0%
	豊田山口	260	87	273	91	43	47.3%	0	0.0%
	菊川	171	57	180	60	32	53.3%	0	0.0%
	豊北	357	119	375	125	115	92.0%	0	0.0%
下関中央	124	41	130	43	34	79.1%	0	0.0%	
計	1,017	339	1,068	356	256	71.9%	0	0.0%	
7R		5,662	1,887	5,945	1,982	1,441	72.7%	300	15.1%
336D地区		41,182	13,727	43,245	14,415	12,465	86.5%	6,387	44.3%

凡例 ※ A、B :3年間トータル・年平均 ※ F=E/D、∴E=285(実績)、D∴271(目標)

※ C :2012~15年 3年間目標値 ※ 13年~14年(10月末現在)

※ E :2012~13年度(1年)実績 ※ 13年~14年(達成率)

例:安来LC・09~12の年平均133,000円に対して、12~15年5%UP目標が達成したかについて、12~15年平均140,000円 ∴140,00/133,000=106.4%で5%達成できた。次に13~14年についても12~15年平均に対して5%UPを達成目標とする。

GLT 委員会 研修会

次 第

司会 次期キャビネット副幹事 宮本直治

1. 開会のあいさつ 宮本直治
2. 出席者紹介 宮本直治
3. 講師 地区ガバナー 坂根 勝
336 複合地区ガバナー協議会元議長 永井義夫
4. 質疑応答
5. 閉会のことば

講師及び出席者

講師			
地区ガバナー	坂根 勝	336 複合地区ガバナー協議会 元議長	永井義夫
出席者			
次期 GLT コーディネーター	浅田保彦	次期 1R・RC (GLT 委員兼任)	森山浩吉
次期 3R・RC (GLT 委員兼任)	拓殖 實	次期 4R・RC (GLT 委員兼任)	大濱茂生
次期 5R・RC (GLT 委員兼任)	寺田一男	次期 6R・RC (GLT 委員兼任)	大谷昭治
次期 7R・RC (GLT 委員兼任)	井上哲治	次期キャビネット副幹事	宮本直治

クラブ支部を作るのは何故？

少人数でもライオンズクラブが結成でき、いち早く地域に変化をもたらすのを可能にしてくれるのがクラブ支部です。支部会員は既存の「親」クラブの一員となりますが、独立した例会を開き、独自の奉仕事業や活動に取り組みます。クラブ支部の編成は、20人未満の会員しか集まらず、新しいライオンズクラブを結成することが不可能な場合でもクラブの奉仕を広げる機会を作り出してくれます。クラブ支部の編成には、最低5人の支部会員が必要です。

クラブ支部が編成されるとクラブ支部バナーパッチとクラブ支部ピン（支部連絡員用）が親クラブ会長に送付されます。

クラブ支部編成のステップ

ステップ1：支部結成の可能性がある地域を見極める

クラブ支部は、親クラブの所属地区内、なるべくなら現在ライオンズクラブの奉仕が行われていない地域で編成することができます。一つまたはそれ以上の既存クラブが奉仕を行っている地域に支部を編成する予定の場合、親クラブは既存クラブから文書による許可を得なければなりません。支部クラブの編成は1か所につき1つのみ認められます。ただし一つのクラブが複数の支部を編成することは可能です。とりわけ重要なのは、地域のニーズが支部編成に際して検討されることであり、以下を考慮する必要があります。

- その地域の人口
- 現在ある奉仕クラブおよび地域団体
- 地元における奉仕事業実施の可能性および地域にもたらせる恩恵
- 現存のライオンズクラブからまだ招請されていない人々
- 若い専門職従事者、女性、特定の民族が密集している地域、その他ライオンズにおいて占める割合が少ない集団など

共通の関心事に取り組むスペシャル・クラブ支部またはキャンパスクラブ支部も編成の可能性を探るとよいユニークな分野です。

ステップ2：会員を勧誘する

支部会員となりそうな候補者リストを作成する際には、地区ガバナー、キャビネット構成員、元地区役員、地元の業者、さらにはライオンズ会員が支部編成地域において交流のある他の人に相談するとよいでしょう。支部の奉仕活動に関心がありそうな地域社会およびビジネス界のリーダーも候補者リストに加えてください。親クラブは、会員勧誘を本格的に始める前に、クラブの支部編成の意図を地区ガバナーに知らせる必要があります。 会員候補者のリストが作成されたら、親クラブは説明会を開催することができます。

クラブ支部編成に対する抗議

正ライオンズクラブの結成抗議と同じ規則および手順に従って、地区ガバナーまたは正ライオンズクラブは支部編成に対し抗議することができます。

ステップ3：説明会を開催する

説明会は、ライオンズ会員が入会しそうな人々と会い、支部編成について話し合うために行われます。説明会はライオンとなることへの興味を抱かせるのに役立つはずですが、説明会では次のような話題について討議できるでしょう。

- 支部が地域社会の役に立つ方法
- 親クラブが行っている事業の例や支部が取り組むことのできる事業
- 親クラブ、地区、複合地区、国際本部から得られる支援についての説明
- ライオンであることによりどういったメリットを得たかについての親クラブ会員の体験談
- 「新会員招請及び申請書」（ME-6B）を作成

説明会の後、参加者に連絡して会合出席への感謝を示し、支部編成への関心を確認した上で、支部編成会議に招待します。支部入会に関心のありそうな友人、家族、職場の同僚、その他の人を誘って来るよう奨励してください。

説明会開催についての詳細は、「新クラブ結成の手引き」（TK-1）に掲載されています。

ステップ4： 支部編成会議を開催する
編成会議は、編成が予定されるクラブ支部の最初の会議です。出席者は支部入会予定者、親クラブ代表、地区ガバナー、キャビネット構成員、関心のあるその他の人々です。親クラブ会長、支部連絡員、地区エクステンション委員長、元役員あるいはその他適任のライオンが、支部編成会議の進行に当たることができます。親クラブは地元の報道機関を通じて、クラブ支部の編成と支部が取り組みたいと望んでいる奉仕事業を発表してもよいでしょう。

編成会議での話し合いのトピックには次のようなものを含めます。

- 支部の運営に関する情報
- 会員としての責任
- ライオンズクラブ国際協会の組織機構と歴史
- 各役職についての詳細にわたる説明
- クラブ支部会費の内訳
- クラブ支部の呼称

編成会議でクラブ支部役員が選出されるべきです。クラブ支部はその先頭に立つ会長、幹事、会計を選出します。親クラブは、クラブ支部との橋渡し役を務める支部連絡員を一人任命します。

編成会議開催についての詳細は、「新クラブ結成の手引き」(TK-1)を参照してください。

ステップ5： クラブ支部通知書を提出する

支部編成会議の後、支部役員は「クラブ支部通知書」(CB-1)に必要な事項を漏れなく記入する必要があります。そして国際本部に提出してもらうために親クラブに提出しなければなりません。

「クラブ支部通知書」は、支部を編成するためには提出されなければならない書式であり、その内容を基に、国際本部の親クラブの記録に支部の存在が登録されます。

支部役員は「クラブ支部会員報告書」(CB-2)に情報を記入し、署名をした上で親クラブに提出します。親クラブは報告書に記載されている支部会員をeMMR ServannAで報告し、さらにこの報告書と「クラブ支部通知書」を国際本部に送付する必要があります。

クラブ支部名

支部名には、支部所在地名と「支部」という言葉を含める必要があります。また、商標登録されている名称を付けてはならず、ライオンズクラブ国際協会が設定した基準に従わなければなりません。ライオンズクラブ国際協会では、支部には親クラブとは異なる名称を付けることを勧めています。支部名は、正規のクラブになる場合にクラブ名として付ける名称であることが理想的です。詳細はライオンズクラブ国際協会理事会方針書を参照してください。

親クラブの役割および責任

クラブ支部が高いレベルの献身、活動、熱意を維持できるよう援助するのは、親クラブの役目です。支部の成功は親クラブが絶えず連絡を取り、関心を示し、相談に乗り、アドバイスを行うといったことにかかっています。親クラブには以下が義務付けられています。

- 支部編成に助力する
- 支部連絡員となるべき経験豊富なライオンを推薦する
- 「クラブ支部通知書」(CB-1)を国際本部に提出する
- eMMR ServannAで支部会員を報告した後、「支部会員報告書」(CB-2)を「クラブ支部通知書」(CB-1)と一緒に国際本部に提出する
- 会員招請及び申請書を処理し、各申請書がきちんと承認され、国際本部に報告されたことを確認する
- 会員維持および会員増強の計画考案に助力する
- 支部役員が適切なオリエンテーション、支援、研修を受けることを確認する
- 支部役員の選挙が毎年きちんと行われることを確認する
- 親クラブおよび地区の活動に参加するよう支部会員に奨励する
- 支部用品を品川のライオンズクラブ国際協会日本事務所に注文する
- 「クラブ支部通知書」(CB-1)を用いて役員名をライオンズクラブ国際協会に報告する

クラブ支部執行委員会

クラブ支部執行委員会は、クラブ支部役員（支部会長、支部幹事、支部会計）および支部連絡員で構成されます。支部役員は編成初会計年度が終了するまでその役職を務めます。ライオンズクラブ国際協会およびすべてのクラブの会計年度は、7月1日に始まり6月30日に終了します。新しく編成された支部の役員の任期が丸一年に及ばない場合には、同じ役員が2年目の年度も続けて役職を務めることができますが、会員による再選が必要です。[支部会長職を務めても、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区ガバナーを含む、地区役職に就くための条件の一つを満たしたとはみなされません。]

執行委員会には親クラブが承認した方針施行のほかに、以下の責任があります。

クラブ支部会長

- 支部の指導者を務める
- 親クラブの理事会のメンバーを務める
- 親クラブの理事会および（または）例会に出席する
- 親クラブの会則及び付則ならびに他の重要な慣例について熟知する
- 親クラブと定期的に連絡を取り合い、報告書など必要なものをすべて受け取る
- 年間の計画を策定する*
- 支部の運営を支援する委員会を設置する*
- すべての会議を招集する
- 親クラブに毎月財務報告書を提出する
- 地域社会奉仕活動を計画・選択する**

* 詳細は、「クラブ役員必携」(LA-15)を参照する

** 「地域社会奉仕ニーズ調査」(MK-9)の利用を検討する

クラブ支部幹事

- 支部の運営管理者を務める
- 議事録、出欠表、選挙結果、会員名簿など、クラブの一般的な記録を保管する

- 「クラブ支部会員報告書」(CB-2)を用いて、新会員、退会者、転籍会員、会員に関するその他の変動を親クラブに報告する
- 支部役員の報告には「クラブ支部通知書」(CB-1)を使い、これを親クラブに提出する
- 「月例支部アクティビティ報告書」を用いて支部の活動を親クラブに報告する
- 会費を集め、クラブ支部会計に引き渡す
- 会費および親クラブに支払わなければならないその他の納入金の請求書を各会員に配付する
- 支部ニュースレターの編集者を務める、もしくは編集者と定期的に連絡を取り合う
- 支部に寄せられた問い合わせおよび要求に対応する

クラブ支部会計

- 支部会長と協力し合って支部予算を組む
- 支部の支払いおよび預金を記録するとともに、支部予算を管理する
- 「支部出納記録簿」を用いて月々の財務報告書を作成し、クラブ支部に提出する
- 集まった会費を支部幹事から受け取り、親クラブ会計に引き渡す
- 親クラブ理事会によって承認された支部の負債を支払う

支部連絡員

- 支部執行委員会の役員を務める
- 親クラブとクラブ支部が率直にコミュニケーションを交わせる状態を維持する
- 支部に支援を提供する（ガイディング・ライオンが行うのと同様の支援）
- 支部の会員と良好な関係を築く
- 「月例支部アクティビティ報告書」の作成において支部会長に助力する
- 親クラブの活動および支部に影響する方針についてすべて支部に常時知らせておく
- 支部例会に出席する

クラブ支部の会員

支部会員

善良な特性をもち、地域社会において声望のある成人は誰でも、招請を受けてクラブ支部の会員になることができます。支部の会員になるためには親クラブの承認がなければなりません。

支部会員は、親クラブの例会に出席するよう奨励されます。支部会員は、親クラブの会合に出席している時には、親クラブ会員として投票することができます。支部会員は、親クラブの会合に自ら出席している場合にのみ、定足数の数に入れられます。支部会員はさらに、支部の委員会メンバーを務めることもできます。いかなる支部会員も、選ばれた場合には親クラブの理事会メンバーを務めることができます。

会費

支部入会費は一人25ドルです。他のクラブの現会員、または12か月以内にライオンズクラブをグッドスタンディングで退会した元会員は、入会費を支払うことなく支部に転入することができます。有資格の家族会員、学生、レオ修了者、若年成人は、会費割引の対象となります。支部会員は、親クラブの会員が支払わなければならないのと同額の会費を支払います。会費および入会費を小切手で支払う場合には、支払い金の受取人を親クラブとする必要があります。

保険

支部は、親クラブの一部として、ライオンズクラブ国際協会が提供する賠償責任保険の被保険者となります。この保険による補償内容が説明されている資料は、親クラブ幹事が保管しています。

新会員を追加

クラブ支部に新会員を加える際、「新会員招請及び申請書」(ME-6B)を親クラブの理事会に提出して承認を受けなければなりません。承認されたら、親クラブが支部会員の入会をeMMR Servannaで報告するとともに、「クラブ支部会員報告書」(CB-2)を国際本部に報告します。

新会員キットは品川のライオンズクラブ国際協会日本事務所から取り寄せることができ、入会した各新支部会員のために親クラブの幹事が注文する必要があります。各キットには、新入会員ウェルカムブック、会員証書、ライオンズ紋章ピンおよびシールが含まれています。

会員変動

退会者を報告する場合や会員に関する情報を更新する場合には、「クラブ支部会員報告書」(CB-2)に必要な事項を記入し、親クラブの幹事に提出します。

支部運営

会議

ライオンズクラブは月に最低2回例会を開催するよう奨励されており、クラブ支部も同様のことを行うことが奨励されています。支部例会への出席は、親クラブ例会出席の義務を果たしたことになります。支部によっては、例会を1回、執行委員会会議を1回開いています。時間を厳守した用意周到な会議を行うことは極めて重要であり、会議での審議事項を準備して行われなければなりません。「クラブ役員必携」(LA-15)が会議を計画する際の参考となるでしょう。

会則及び付則

支部は、親クラブの一部であることから親クラブの会則及び付則に基づき運営されます。標準版クラブ会則及び付則(LA-2)の採択がライオンズクラブ国際協会により奨励されています。親クラブの会則及び付則に加えて、国際協会、複合地区、地区の会則及び付則、ならびに国際理事会によって採択された方針がライオンズの活動を統治します。

ニュースレター

各支部が独自のニュースレターを発行することは重要です。支部幹事は最も情報に通じている支部会員の一人であることが多いことから、ニュースレターの編集者としての責務も任されることが一般的です。支部幹事以外の方がニュースレターの編集者として選ばれた場合には、編集者は支部幹事と連絡を密に保ち、支部にかかわる重要な知らせや情報がすべて記載されることを確実にする必要があります。

勧誘

地域に効果的に奉仕するには、支部に活発な会員がいなければなりません。可能であれば、会員勧誘を監督する会員を任命するか、あるいは会員委員会を設置します。クラブ支部入会者を勧誘する方法は、従来型クラブの勧誘方法と非常によく似ています。会員の勧誘方法について支部連絡員および親クラブ役員に相談するとよいでしょう。クラブ支部に関するパンフレット（CB-17）を利用して、クラブ支部の目的を入会しそうな人に説明することができます。また、クラブのパンフレット作成用テンプレート（MK-20-K）を活用することで、自分たちのクラブ支部専用のパンフレットを作成することも可能です。

支部の財務

予算

大半の支部は、特定期間における支部の収入と支出をあらかじめ予想した上で予算を作成するといった予算作成法を用いています。予算は、支出しなければならぬものであるとか支出が承認されたとみなされるべきものではなく、むしろガイドラインとして考える必要があります。支払いのための小切手や預金引き出しなどにはすべて、親クラブの会計と、親クラブ理事会が決定した支部役員が連署しなければなりません。

支部は以下の2種類の予算を会計年度（7月～翌6月）のために作成する必要があります。

1. **運営予算**：運営予算で支部の運営が賄われます。会費がその主な収入源ですが、それには福引、食事代の増額、ファイン、オークション等も含まれます。
2. **活動予算**：活動予算で支部の奉仕活動や事業が賄われます。その収入源となるのは、地域で支部が行う特別な資金獲得運動などです。

資金獲得運動

親クラブは、支部が集めた資金を保管する口座を設ける必要があります。この資金は支部が行う奉仕活動用に使われなければなりません。いかなる場合にも、支部の資金獲得運動で得られた収入は一切、支部の運営費用を賄うために使われてはなりません。ただし、資金獲得運動に直接関係する正当な経費は控除することができます。

クラブ用品の注文

ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトでクラブ用品カタログを閲覧することができます。個人名などを記すものを含め、用品の注文については、品川のライオンズクラブ国際協会日本事務所に連絡してください。支部クラブ名を記し親クラブ名を含める品物の注文は、親クラブを通じて行われなければなりません。親クラブの幹事のみが、会計口座を利用して用品の注文をすることができます。

支部の変換およびチャーター申請

クラブ支部の会員数が20人に達したら、支部は正規のクラブへの変換を検討することができます。その際に役立つ「新クラブ結成キット」

（KITEXT）を利用するとよいでしょう。さらに、親クラブ幹事の署名のついた「正クラブに変換するクラブ支部の会員報告書」（CB-21）が、新クラブ・チャーター申請書と一緒に提出されなければなりません。そうすることによりチャーター転籍費が免除されるほか、支部が解散したことをライオンズクラブ国際協会に知らせたこととなります。

支部の解散

親クラブ理事会の3分の2の票決により、支部を解散させることができます。支部が解散した場合には、支部会員は親クラブの正会員となり、正会員として親クラブの活動参加が奨励されます。クラブ支部が解散した場合には、親クラブ役員または地区ガバナーは文書で国際本部に通知しなければなりません。Eメール：clubbranch@lionsclubs.org

クラブ支部に関する情報・資料

以下の資料や情報はライオンズクラブ国際協会ウェブサイト (www.lionsclubs.org) で検索することにより、あるいは国際本部の会員プログラム及び新クラブ・マーケティング課に連絡すれば手に入れることができます。

クラブ支部キット

- クラブ支部ガイド (CB-4)
- クラブ支部に関するパンフレット (CB-17)
- クラブ支部通知書 (CB-1)
- クラブ支部会員報告書 (CB-2)
- クラブ役員必携 (LA-15)
- 新会員招請及び申請書 (ME-6B)
- 標準版クラブ会則及び付則 (LA-2)
- 正クラブに変換するクラブ支部の会員報告書 (CB-21)

その他の情報・資料

- 新クラブ結成キット (KITEXT)
- 新クラブ結成の手引き (TK-1)
- チャーターナイト計画の手引 (TK-26)
- 地域社会奉仕ニーズ調査 (MK-9)
- クラブのパンフレット作成用テンプレート (MK-20A)
- クラブのパンフレット作成用テンプレートを使用する際の説明書 (MK-21B)

会員プログラム及び新クラブ・マーケティング課

電話：630-571-5466 内線番号 522

FAX：(630) 571-1691

Eメール：clubbranch@lionsclubs.org

Lions Clubs International

300 W 22ND ST

Oak Brook IL 60523-8842 USA

GMT 委員会 研修会

次 第

司会 次期キャビネット副会計 富川芳人

- | | | |
|----|-------------|------|
| 1. | 開会のあいさつ | 富川芳人 |
| 2. | 出席者紹介 | 富川芳人 |
| 3. | 講師 | 光貞正明 |
| | 地区常任名誉顧問 | |
| | 次期第一副地区ガバナー | 矢野敏明 |
| 4. | 質疑応答 | |
| 5. | 閉会のことば | |

講師及び出席者

講師			
次期第一副地区ガバナー	矢野敏明	地区常任名誉顧問	光貞正明
出席者			
次期 GMT コーディネーター	土江陽治	次期 1R2Z・ZC (GMT 兼任)	足立 守
次期 2R2Z・ZC (GMT 兼任)	陰山洋二	次期 2R3Z・ZC (GMT 兼任)	後藤英夫
次期 3R1Z・ZC (GMT 兼任)	竹辺正人	次期 3R2Z・ZC (GMT 兼任)	小谷典弘
次期 4R1Z・ZC (GMT 兼任)	野田勝人	次期 4R3Z・ZC (GMT 兼任)	田村敬治
次期 5R1Z・ZC (GMT 兼任)	中林嘉明	次期 5R3Z・ZC (GMT 兼任)	渡邊弘信
次期 5R4Z・ZC (GMT 兼任)	松本 豊	次期 6R1Z・ZC (GMT 兼任)	仲田眞一
次期 6R2Z・ZC (GMT 兼任)	田辺敏彦	次期 6R3Z・ZC (GMT 兼任)	小田芳男
次期 7R1Z・ZC (GMT 兼任)	田上 登		
次期キャビネット副会計	富川芳人		
オブザーバー			
次期 3R1Z・Z 幹事	村田正明	次期 2R3Z・Z 幹事	景山登美男

1、家族会員について

①国際協会には正会員として登録するが、単一クラブとしては各クラブの自主的な判断に委ねる。

②今期(2014 年～2015 年)の会員増強アワードについては、家族会員は正会員としてカウントしない。

家族会員プログラム Q&A

① 家族会員プログラムの目的は何ですか

家族と共にボランティア活動を地域社会に広め、奉仕の精神を涵養することに有ります。世界ではこのプログラムが広く認知され、実施され、成功しています。

② 日本家族会員プログラムとは何ですか

山田国際第二副会長が提案し、国際協会に認められた日本独自の会員増強(日本のメンバーを10万人から20万人)プログラムです。

③ 日本家族会員プログラムは決定事項ですか

2013.10.6～10 オーストラリア・ポートダグラス国際理事会で承認され、2013.10.9 から即日施行された国際協会の決定事項です。

④ なぜ家族会員による倍増計画が立案されたのですか

世界中で会員が減少しています。特にアメリカ、日本でその傾向が顕著です。山田国際第二副会長は“My Family My Club” “家族で会員倍増を”をテーマに掲げ、減少傾向に歯止めを掛けようとしています。ライオンズクラブ国際協会が4年後に100周年を迎えるに当たり、今後も世界に冠たる奉仕団体であるためには、是が非でも日本でも家族会員プログラムによる会員増強が必要であるとの認識から立案されました。

⑤ 何時までに実行するのですか

計画達成期限は2014.6.30と定められています。

⑥ この倍増計画に取り組まなかったらペナルティーがありますか

ペナルティーはありませんが、キャビネットとしては積極的に取り組んで頂くことを強く希望します。

⑦ 家族会員になれる人はどんな人ですか

非常に広義になりますが「親」「子供」「配偶者」「叔父」「叔母」「従兄」等々です。現実的には「子供」「配偶者」でしょうか。何れも成人と定められています。同一世帯でなくても、隣の町内、隣の市町村、隣の県に居住していてもOKです。

⑧ 家族会員は何人までは入れますか

4名まで入会できます。従って現在在籍中の正会員を含めて最大5名まで可能です。

⑨ 家族会員のメリットは何ですか

一例として、奥様のライオンズクラブに対する理解と関心は必ずや深まることによ

うし、共通の話題もできます。家族のきずなを深めることにも繋がります。現在家族会員でなくても「家族例会」等の特別例会に出席していることと思いますが、家族会員になれば一層の参加意欲も高まることでしょう。

⑩家族会員のデメリットは何ですか

その心配はゼロだと確信しています。例会やアクティビティの参加は都合の良い時だけで良いのですから負担に感じることも無いでしょう。

⑪単なる「数合わせ」ではないでしょうか

当初はそのようなことも危惧しましたが、家族を入れて何か困ることがあるのでしょうか。ライオンズに全く無関係無関心な人を入れれば単なる「数合わせ」という批判も甘受しなければなりません。しかし、家族を入れるのですから「数合わせ」と批判するよりも、その良さや利点を理解すべきでありましょう。

⑫日本全体はどのような取り組みをしていますか

330～337の8複合地区ガバナー協議会議長連絡会議では、国際協会の方針に沿って進めることを申し合わせています。既に積極的に取り組み、会員増強を果している複合地区も有ります。

⑬他地区はどのような取り組みをしていますか

336-A～C地区其々温度差はありますが、336複合地区としては国際協会の決定に従い、このプログラムを推進しなければならないとの認識で一致しています。

⑭336-D地区としての取り組みはどのようになりますか

10/30に地区名誉顧問会を開催し協議して頂きました。さまざまな意見がある中で、やはり国際協会及び336複合地区の決定事項であり、方針に沿って推進して行くのも止むなしとの答申をいただきました。坂根カバナーの思いでもあります。これに基づき各クラブで「日本家族会員プログラム」による倍增計画に積極的に取り組んで頂くことを強く希望しますが、最終的には各クラブの自主判断に委ねます。

⑮家族会員の会員種別はどのようになりますか

正会員になります。

⑯家族会員も正会員としてガバナー等の地区役員にも就任できますか

正会員としての権利を全て有します。従って投票権も有りますし、条件を満たせば地区役員にも就任できます。しかし、如何に権利を有するとしても、例えば家族会員である奥様がクラブ役員を、地区役員を、地区ガバナーをと案ずるのは日本に於いては現実的では無く、むしろ杞憂でありましょう。

⑰家族会員の権利は一般会員と同様でも、義務は殆ど無いと言うのは矛盾があるのではないのでしょうか

その通りだと思います。家族会員は正会員であるので条件を満たせば地区役員にも就任できますし、投票権も有ります。一方、例会やアクティビティには年1回の参加でも良いのですから矛盾しているのは明らかです。しかし、その矛盾を糾弾するよりも、いろいろな利点を尊重した柔軟な制度が家族会員プログラムだと肯定的にとらえた方が現実的でありましょう。

⑱家族会員の支払うべき経費にはどのようなものがありますか

- ・国際協会入会金・・・・・・・・・・25ドル(一般正会員と同じ 但し入会時のみ)
- ・国際協会年会費・・・・・・・・・・年額21.5ドル(一般正会員43ドルの半額)
(2013.11のレート1ドル=98円)
- ・336複合地区費・・・・・・・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・336複合地区年次大会費・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・336-D地区費・・・・・・・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・336-D地区年次大会費・・・・2014.1.1～2016.12.31まで徴収しない。
- ・クラブ入会金・・・・・・・・・・家族会員の負担を軽減するために徴収しないのがベストですが、各クラブの自主判断に委ねます。
- ・クラブ会費・・・・・・・・・・上に同じ

⑲家族会員の例会出席はどのようになりますか

標準版クラブ付則第1条第8項で定期的な参加を奨励していますが、今日ではインターネットで例会を行なうサイバークラブの誕生等クラブのあり方も多様化し、国際協会では「定期的な参加」の定義を定めていません。其々のクラブで現在行っておられるであろう「忘年例会」「花見例会」「納涼例会」「最終年次例会」「月見例会」等々への参加も「定期的な参加」と見なされます。要は年一回の出席でもOKと言うことになります。

⑳家族会員のアクティビティ参加はどのようになりますか

クラブ主催のアクティビティに参加をしていただきますが、例会と同じく「定期的な参加」の定義を定めていません。要は年一回の参加でもOKと言うことになります。しかし、せめて年一回程度の奉仕活動への参加は是非して頂きたいものです。

㉑例会出席時及びアクティビティ参加時の経費はどうなりますか

クラブ独自で家族会員から会費を徴収しない場合は、その都度徴収するという方法も有ります。

㉒「獅子吼」「ライオン誌」「クラブ会報」等の配布はどうなりますか

「獅子吼」「ライオン誌」については一世帯に一冊お渡しします。
「クラブ会報」については各クラブのご自由です。

㉓現在は会員の招請方式をとっていますが、家族会員はどうなりますか

招請とまでは行かなくても少なくとも各クラブで会員委員会、理事会等での協議は必要

ではないでしょうか。現時点においてキャビネットとしても検討中です。

②④家族会員の入会式はどうすればよいのですか

各クラブで決めれば結構ですが、可能であるならば入会式を行った方が、自覚を促すという点から見てもより効果的でありましょう。

②⑤クラブ支部会員の支払うべき経費にはどのようなものがありますか

【支部会員=家族会員の場合】

- ・ 上記⑱に同じ(但し下記下線の通り文言の相違あり)
- ・ クラブ支部入会金・・・・・・・・各クラブ支部の自主判断に委ねます。
- ・ クラブ支部会費・・・・・・・・上に同じ

【支部会員が家族会員ではない場合】

- ・ 国際協会入会金・・・・・・・・25 ドル(一般正会員と同じ 但し入会時のみ)
- ・ 国際協会年会費・・・・・・・・年額 21.5 ドル(一般正会員と同じ)
(2013.11 のレート 1 ドル=98 円)
- ・ 336 複合地区費・・・・・・・・月額 150 円
- ・ 336 複合地区年次大会費・・・・月額 80 円
- ・ 336-D 地区費・・・・・・・・月額 900 円
- ・ 336-D 地区年次大会費・・・・月額 180 円
- ・ クラブ支部入会金・・・・・・・・各クラブ支部の自主判断に委ねます。
- ・ クラブ支部会費・・・・・・・・上に同じ

次期（2014年7月～2015年6月）会員増強計画

ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区

DGE 竹下雅雄

年	月	新入 会員	家族 会員	計	行動計画
2014	7	10人	0人	10人	国際大会帰国後各 LC に書類で要請
	8	5人	5人	10人	1R～3R 各 Z 公式訪問にて要請
	9	10人	5人	15人	4R～7R 各 Z 公式訪問にて要請
	10	10人	20人	30人	G チーム（GMT・GLT 会議）
	11	10人	20人	30人	
	12	10人	10人	20人	
2015	1	5人	10人	15人	各 LC 書簡にて再要請
	2	10人	20人	30人	G チーム（GMT・GLT 会議）
	3	10人	20人	30人	
	4	10人	20人	30人	目標達成 LC 年次大会にて表彰
	5	10人	20人	30人	最終要請
	6	0人	0人	0人	退会者防止 最終確認
合計		100人	150人	250人	

【重点目標】

期首（7月）に地区内全 LC に会員増強目標及び行動計画の提出をお願いする。
各 LC より毎月の増員数の実績報告を求める。

336-D 地区では各ライオンズクラブとも家族会員の増強には否定的で有るので
公式訪問時に充分説明し話し合い、理解を求め、協力をお願いする。

増強の具体的な方法を考え、実践して貰う。

疑問点やトラブルの情報には現地（各 LC）へ足を運び話し合い解決する。

6月には毎年 100 人以上の退会者が出るので、退会防止に全力を注ぐ。

何があっても目標を達成したいと思っております。

会員増強計画最新版 2014年3月31日作成

期首からの会員動静 2014年 5月度

2013年7月～2014年5月				入会			退会				
R	Z	クラブ名	期首	転入	再入	新入	転出	死亡	退会	5月末	増減
1	1	安来	40	0	0	1	0	0	2	39	-1
		出雲広瀬	22	0	0	1	0	0	1	22	0
		東出雲	49	0	0	2	0	0	2	49	0
		安来十神	57	0	0	1	0	0	1	57	0
		伯太	9	0	0	0	0	0	0	9	0
		八雲	15	0	0	2	0	0	2	15	0
	Z小計		192	0	0	7	0	0	8	191	-1
	2	松江	77	0	1	62	0	0	3	137	60
		松江湖城	79	0	0	16	0	1	4	90	11
		大東	24	0	0	1	0	0	0	25	1
		宍道	47	0	0	7	0	0	2	52	5
		鹿島島根	26	0	0	0	0	0	1	25	-1
		美保関	23	0	0	1	0	0	6	18	-5
		松江葵	64	0	0	5	0	0	3	66	2
隠岐海士	16	0	0	3	0	0	2	17	1		
Z小計		356	0	1	95	0	1	21	430	74	
R合計			548	0	1	102	0	1	29	621	73
2	1	出雲	43	0	0	4	0	0	2	45	2
		平田	30	0	0	6	0	0	1	35	5
		大社	40	0	0	5	0	1	1	43	3
		佐田	23	0	0	1	0	0	0	24	1
		多伎町	16	0	0	1	0	0	0	17	1
	Z小計		152	0	0	17	0	1	4	164	12
	2	出雲中央	47	0	0	4	0	0	2	49	2
		斐川	55	0	0	15	0	1	4	65	10
		出雲南	36	0	0	3	0	0	3	36	0
		出雲レークヒル	17	0	0	6	0	0	3	20	3
	Z小計		155	0	0	28	0	1	12	170	15
	3	木次	31	0	0	0	0	0	0	31	0
		三刀屋	24	0	0	2	0	0	2	24	0
		加茂島根	18	0	0	3	0	0	0	21	3
仁多		43	0	0	0	0	0	0	43	0	
掛合		26	0	0	0	0	1	1	24	-2	
赤来		24	0	0	4	0	2	1	25	1	
頓原		26	0	0	1	0	0	2	25	-1	
横田	41	0	0	1	0	0	0	42	1		
Z小計		233	0	0	11	0	3	6	235	2	
R合計			540	0	0	56	0	5	22	569	29
1	大田	39	0	0	3	0	0	5	37	-2	
	石見	38	0	0	2	0	0	1	39	1	

3	1	邑智大和	16	0	0	1	0	2	0	15	-1
		瑞穂	31	0	0	2	0	0	0	33	2
		Z小計	124	0	0	8	0	2	6	124	0
	2	浜田	50	0	0	3	0	1	5	47	-3
		江津	46	0	0	32	0	2	4	72	26
		浜田亀山	43	0	0	10	0	0	2	51	8
		金城抱月	24	0	0	0	0	0	2	22	-2
		桜江	17	0	0	1	0	1	1	16	-1
		浜田マリン	16	0	0	0	0	0	1	15	-1
	Z小計	196	0	0	46	0	4	15	223	27	
	3	益田	51	0	0	5	0	0	1	55	4
		益田あけぼの	27	0	0	1	0	0	0	28	1
		Z小計	78	0	0	6	0	0	1	83	5
R合計		398	0	0	60	0	6	22	430	32	
4	1	岩国	35	0	0	4	0	0	1	38	3
		岩国錦	44	1	0	0	0	0	0	45	1
		岩国桜	35	1	0	1	0	0	1	36	1
		由宇	31	0	0	3	0	1	0	33	2
	Z小計	145	2	0	8	0	1	2	152	7	
	3	柳井	28	0	1	1	0	0	0	30	2
		大島	19	0	0	3	0	1	0	21	2
		田布施	22	0	0	6	0	0	1	27	5
		柳井中央	12	0	0	0	0	0	0	12	0
		大島オレンジ	19	0	0	3	0	0	1	21	2
		平生	12	0	0	3	0	0	2	13	1
	Z小計	126	0	1	16	0	1	4	138	12	
	R合計		271	2	1	24	0	2	6	290	19
5	1	下松	24	0	0	1	0	0	1	24	0
		徳山	35	0	0	2	0	0	2	35	0
		光	45	0	0	4	0	0	3	46	1
		徳山中央	35	1	0	1	0	0	2	35	0
		下松中央	19	0	0	2	0	0	0	21	2
		周南	19	0	0	0	0	0	1	18	-1
	Z小計	177	1	0	10	0	0	9	179	2	
	2	新南陽	30	0	0	5	0	0	6	29	-1
		徳山イースト	30	0	0	0	0	1	8	21	-9
		新南陽若山	20	0	0	1	0	0	0	21	1
	Z小計	80	0	0	6	0	1	14	71	-9	
	3	防府	44	0	0	13	0	0	6	51	7
		防府中央	35	0	0	1	0	1	0	35	0
防府ゴールデン		15	0	0	1	0	0	1	15	0	
Z小計	94	0	0	15	0	1	7	101	7		

4	山口	62	1	0	0	0	0	1	62	0	
	山口西京	32	0	1	1	0	0	2	32	0	
	山口中央	31	0	0	2	0	1	0	32	1	
	Z小計	125	1	1	3	0	1	3	126	1	
R合計		476	2	1	34	0	3	33	477	1	
6	1	宇部	48	0	0	3	0	0	3	48	0
		宇部ときわ	20	0	0	0	0	0	0	20	0
		宇部新川	28	0	1	0	0	0	0	29	1
		宇部かたばみ	41	0	0	1	0	1	1	40	-1
		宇部サルビア	30	0	0	1	0	0	0	31	1
		宇部ハーモニー	22	0	0	0	0	0	0	22	0
	Z小計	189	0	1	5	0	1	4	190	1	
	2	小野田	36	0	0	5	0	0	2	39	3
		美祢	40	0	0	3	0	0	5	38	-2
		山陽	34	0	0	2	0	0	2	34	0
		楠	19	0	0	1	0	0	0	20	1
	Z小計	129	0	0	11	0	0	9	131	2	
	3	萩	66	0	0	2	0	2	3	63	-3
		長門	56	0	0	0	0	0	5	51	-5
		秋芳	15	0	0	0	0	0	2	13	-2
		田万川	16	0	0	0	0	0	0	16	0
	Z小計	153	0	0	2	0	2	10	143	-10	
	R合計		471	0	1	18	0	3	23	464	-7
	7	1	下関	39	0	0	2	1	0	0	40
下関イースト			26	1	0	3	0	0	3	27	1
下関ウエスト			35	0	1	5	0	0	1	40	5
下関長府			22	0	0	2	0	0	3	21	-1
下関ノース			48	0	0	2	0	1	1	48	0
下関響灘			26	0	0	1	0	1	0	26	0
下関新下関			32	0	0	2	0	1	2	31	-1
下関維新			33	0	1	5	0	0	7	32	-1
Z小計		261	1	2	22	1	3	17	265	4	
2		豊浦	19	0	0	0	0	0	0	19	0
		豊田山口	17	0	0	1	0	0	4	14	-3
		菊川	19	0	0	1	0	0	0	20	1
		豊北	23	0	0	2	0	1	2	22	-1
		下関中央	23	0	0	10	0	0	3	30	7
Z小計	101	0	0	14	0	1	9	105	4		
R合計		362	1	2	36	1	4	26	370	8	
地区合計		3,066	5	6	330	1	24	161	3,221	155	



グローバル会員増強チームの概要と構造

背景

あらゆる奉仕組織にとって、全体的な成功のためには会員増強が不可欠です。優れた会員増強チームは、ライオンズクラブ国際協会が国際社会に質の高い有意義な奉仕を提供し、その使命を果たし続けていくために必要なビジョン、指針、意欲を与えてくれます。

2008年にGMTが設置されたことにより、従来の会員増強プログラムに欠けていた継続性と柔軟性が確保され、地域別の計画を伴う国際目標の設定、実証済みのインフラに基づく新たな構造、GMT・複合地区・地区・クラブ間のコミュニケーションの円滑化が実現しました。会員増強が達成されていることから、この手法は成功と目されています。

2009～2010年度には、従来のMERLプログラムに代わる新しいコンセプトが形成されました。つまり指導力育成(L)の機能を、既存クラブの会員増強(M)・新クラブの結成(E)・会員維持(R)の機能から分離する、というコンセプトです。この新たな構造の目的は、会員増強への各地域の取り組みとGMTの取り組みの一貫性を高められるようにすることで、成功の機会を最大化することにあります。

このコンセプトの重要な要素がGLTであり、GMTと並行して相互に支援しながら活動する専門チームとして想定されています。指導力育成は国際協会のあらゆるプログラムの成功と全体的な将来にとって不可欠であり、GLTはそのためのより重点的な取り組みと支援を提供します。

GMTとGLTのメンバーは、現在と将来のライオンズ指導者のために協力して機会を特定・開発・奨励し、奉仕を通じた会員増強に取り組んでいくことになります。

GMTの概要

GMTは複合地区および地区レベルの代表と地区ガバナー・チームを含めて構成され、ライオンズの奉仕への取り組みを支援するため、クラブレベルから上のレベルへと会員増強の包括的でグローバルな基盤を提供します。

GMTのメンバーは、過去のデータと地理的・文化的な特徴を考慮し、国際協会の資料と取り組みを活用することで以下を支援する態勢を整えています。

- 地区とクラブの奉仕機会の特定
- 会員増強目標の設定と達成
- 弱体クラブの特定とその支援

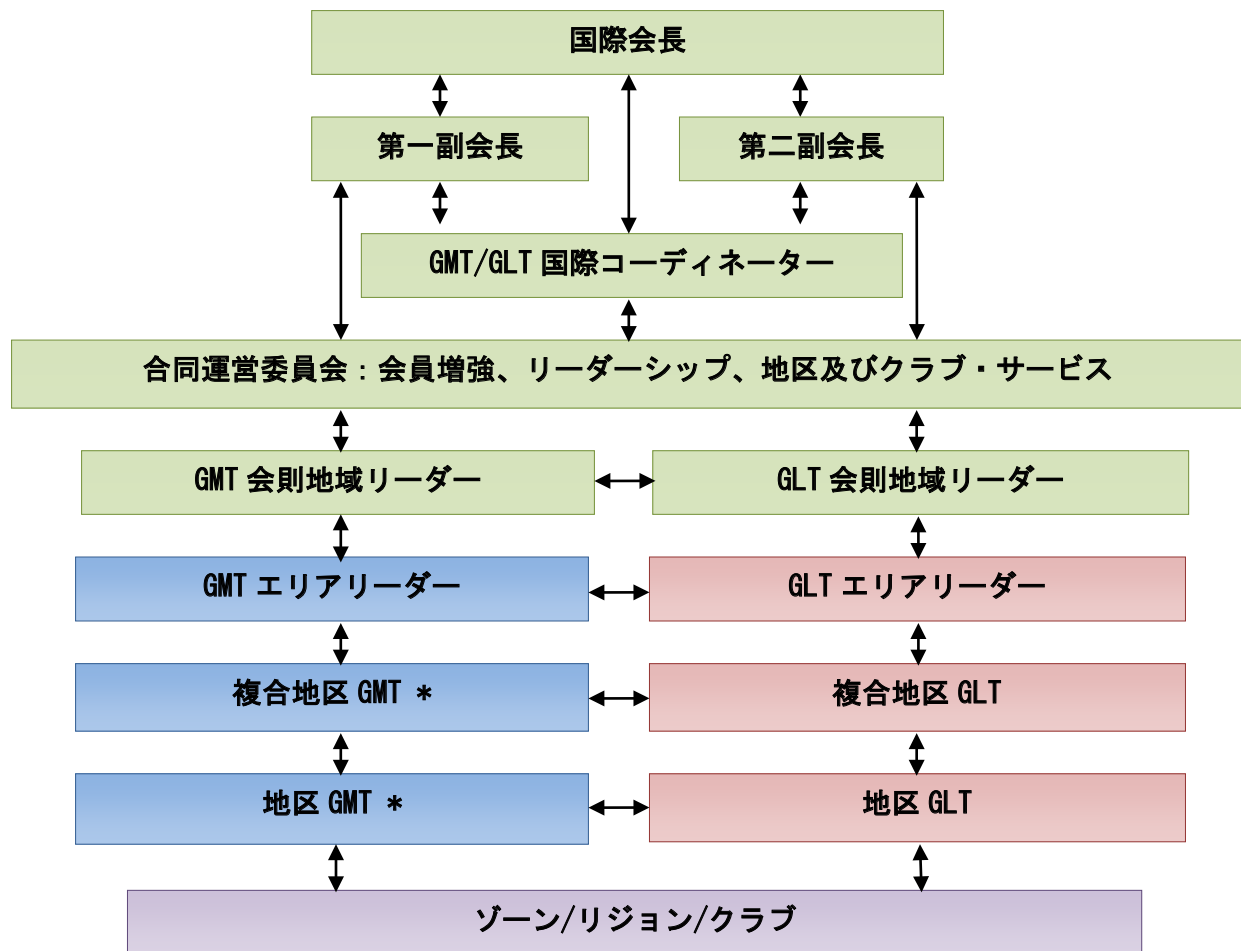
GMTはコミュニケーションと意欲喚起の媒体であると同時に、ビジョン、計画、継続を促す存在なのです。

GMT/GLT の構造：国際レベルから地区レベルまで

GMT と GLT は、会員増強と指導力育成の強化に向けて並行して機能します。二つの組織は執行協議会により国際レベルで結びつき、かつ調整されます。

GMT は特定の会則地域または地理的地域を担当します。GMT/GLT のメンバーは、地域のニーズを十分に分析した上でそれに基づくプログラムを開発・実施できるよう、3年の任期で任命されます。GMT/GLT リーダーは1年ごとに全員が評価を受け、実績に基づき再任または解任が決定されます。

GMT の構造は一般に GLT の構造と対をなしており、効果的な協力を可能にしています。地域によっては、一人の有資格のライオンが GLT と GMT の代表を兼務することもあります。



*地域の会員増強ニーズに基づき、複合地区 GMT と地区 GMT 双方のクラブサクセス委員会と会員増強・EXT 委員会にそれぞれ 3~4 人のスペシャリストが任命されます。

執行協議会

GMT/GLT 執行協議会は以下によって構成されます。

- 議長として国際会長
- GMT リエゾンとして第一国際副会長
- GLT リエゾンとして第二国際副会長
- 会員増強委員会、リーダーシップ委員会、地区及びクラブ・サービス委員会の委員長
- 任命された GMT 国際コーディネーター
- 任命された GLT 国際コーディネーター
- ライオンズクラブ国際協会事務総長

国際コーディネーター

GMT 国際コーディネーターは GMT/GLT 執行協議会の任命されたメンバーであり、第一副会長と GMT の世界的な組織との連絡窓口として機能します。また、執行役員に報告を行い、GMT 会則地域リーダーを支援し、地域のニーズを調査して優先順位を設定し、GMT エリアリーダーおよびアドバイザーを励まし、世界各地で行われる多様な会員増強会議や行事で GMT の代表を務めます。さらに、国際本部エクステンション及び会員部のスタッフと協力し、GMT の目標と目的の達成を促します。

会則地域リーダー

協調と協力によって最大の効果が得られるよう、GMT と GLT では同じ割り当て区域に同じ人数の会則地域リーダーが配置されます。GMT 会則地域リーダーの任命は、国際会長が第一および第二国際副会長と相談して行います。

エリアリーダー

GMT と GLT のエリアリーダーは、割り当てられた数の複合地区/地区/単一地区を支援します。同じ地域を担当する GLT と GMT それぞれのエリアリーダーは継続的に連絡を取り合い、地域のニーズと機会に効果的に対応します。GMT エリアリーダーの任命は、国際会長が第一・第二国際副会長および会則地域リーダーと相談して行います。

特別エリア・アドバイザー

一部の会則地域では、遠隔地や特殊な地域の会員増強/指導力育成の取り組みを支援する GMT/GLT 特別エリア・アドバイザーが任命されています。アドバイザーはエリアリーダーと協力し、具体的な動向やニーズを伝えるとともに、各地域に支援を提供します。

複合地区 GMT

複合地区 GMT は、複合地区 GMT コーディネーター、協議会議長、3~4 人のクラブサクセス委員会メンバー、および 3~4 人の会員増強・EXT 委員会メンバーで構成されます。複合地区 GMT は複合地区 GLT と協力して活動します。クラブサクセス委員会と会員増強・EXT 委員会については、「目標、目的、責任」のセクションで詳しく説明します。

複合地区 GMT コーディネーターその他のチームメンバーは、ガバナー協議会が GMT エリアリーダーおよび協議会議長と相談して 3 年任期で任命します。

地区/単一地区 GMT

地区 GMT は、地区 GMT コーディネーター、地区ガバナー・チーム、3～4 人のクラブサクセス委員会スペシャリスト、および 3～4 人の会員増強・EXT 委員会スペシャリストで構成されます。地区 GMT は地区 GLT と協力して活動します。クラブサクセス委員会と会員増強・EXT 委員会については、「目標、目的、責任」のセクションで詳しく説明します。

地区/単一地区 GMT コーディネーターその他のチームメンバーは、地区ガバナー・チームが GMT エリアリーダー、複合地区 GMT コーディネーター（該当する場合）と相談して 3 年任期で任命します。

リジョン、ゾーン、クラブ

GMT の会員増強・EXT 委員会とクラブサクセス委員会の双方には、3～4 人のスペシャリストの他に毎年地区ガバナーが任命するゾーン・チェアパーソン（該当する場合にはリジョン・チェアパーソン）も加わり、担当のクラブと直接協力していくことになります。



目標、目的、責任

GMT は会員増強、会員の参加、新クラブの結成を集中的に強化していくことを可能にします。結果的に、会員が増加し参加が高まるだけでなく、地域的・世界的な人道奉仕への取り組みが強化され、国際協会に利益がもたらされることになるでしょう。

GMT は複数レベルの指導者によって構成されていますが、以下の目標と目的は常に一貫しています。

- 会員のデータと動向、および地理的/文化的な特徴に関する知識と理解を維持する
- 新クラブ結成の候補地を特定する
- 会員増強目標および戦略計画の立案と実施に支援を提供する
- 弱体クラブを特定し、支援する
- 奉仕の機会を見極め、促進する
- 成功している会員増強戦略を認識し、共有する
- 会員増強に関する国際協会の資料と取り組みを認識し、推奨する
- コミュニケーション、ビジョン、計画、協力を強調する

GMT の各レベルの具体的な責任は以下の通りです。

GMT 国際コーディネーター

- GMT 会則地域リーダーを監督および支援し、意欲を喚起する
- 会員増強、満足度向上、クラブの成功の必要性に対する認識と理解を国際協会の全レベルで高め、すべての地区による新クラブの結成を奨励する
- 複合地区、地区、クラブによる会員増強目標の達成を支援するよう、GMT エリアリーダーに奨励する
- GMT リーダーおよびコーディネーターの報告に基づき、退会者、新クラブ結成、既存クラブへの新会員の招請に取り組むための戦略を策定する
- GMT リーダーおよびコーディネーターの報告に基づき、各会則地域における会員の現状と動向、会員増強のニーズと進捗状況について、GMT/GLT 執行協議会に助言を提供する
- 適性、経験、関心に基づきライオンズ指導者候補を発掘し、指導力向上を奨励する

GMT 会則地域リーダー

- GMT エリアリーダーを監督および支援し、意欲を喚起する
- エリアフォーラムの重点が確実に会員増強に置かれるようにする
- 会員増強と満足度向上の必要性に対する認識と理解を国際協会の全レベルで高める
- GMT エリアリーダーの報告に基づき、会則地域のニーズを評価する
- 会員増強のニーズと進捗状況について、執行協議会とエクステンション及び会員部に助言を提供する
- 同位の GLT メンバーと協力してニーズと機会を見極め、戦略を提案する
- 適性、経験、関心に基づき会員増強の指導者候補を発掘し、指導力向上を奨励する

GMT エリアリーダー/GMT 特別エリア・アドバイザー

- 複合地区または地区 GMT を監督および支援し、意欲を喚起する
- 複合地区 GMT の報告に基づき、エリアのニーズを評価する
- 複合地区および地区と協力し、会員増強と満足度向上に関する目標と計画を立案する
- 会員増強と満足度向上がエリア全域で確実に促進されるようにする
- 会員増強のニーズと進捗状況について、会則地域リーダー（特別エリア・アドバイザーの場合にはエリアリーダー）とエクステンション及び会員部に助言を提供する
- 同位の GLT メンバーと協力してニーズと機会を見極め、戦略を提案する
- 適性、経験、関心に基づき会員増強の指導者候補を発掘し、指導力向上を奨励する
- 会員関係の各種報告書を監視し、地区と情報を交換して問題の解決を支援または成果を表彰する
- 複合地区および地区の報告について意見を提供する
- GMT 会則地域リーダーおよび国際協会本部に四半期会員増強報告書を提出する

言語、地理、その他特有の事情によって必要とされる場合には、GMT 特別エリア・アドバイザーが任命され、GMT の責任を遂行することになります。GMT エリアリーダーと GMT 特別エリア・アドバイザーは常に率直に情報を交換し、アドバイザーはエリアの最新情報を継続的に GMT エリアリーダーに提供します。

複合地区 GMT

- 地区 GMT を支援し、意欲を喚起する
- 複合地区 GMT およびエリアリーダーと協力して以下に取り組む：
 - 複合地区の会員増強ニーズ
 - 複合地区の会員増強目標および行動計画
 - 会員を増強し奉仕活動を拡大するための[会員増強・EXT 委員会およびクラブサクセス委員会](#)の任命
- [会員増強](#)と[満足度向上](#)が複合地区全域で確実に促進されるようにする
- 地域を特定し、各地区に[毎年最低 1 つの新クラブを結成する](#)よう奨励する（[該当地域では新クラブの結成を支援できる新クラブ結成コンサルタントの活用を奨励する](#)）
- [クラブ向上プロセス（CEP）](#)を奨励する
- 国際協会の[会員増強ツールおよび資料](#)を推奨する
- 適性、経験、関心に基づき[会員増強の指導者](#)候補を発掘し、指導力向上を奨励する
- 会員関係の各種報告書を監視し、地区と情報を交換して問題の解決を支援または成果を表彰する
- [国際協会が提供する会員統計](#)およびまたは地区が公表する会員関係の各種報告書を役立てて、会員のデータと動向を分析する
- 国際協会に四半期会員増強報告書を提出する
- 会員増強計画の資金を確保するため、ガバナー協議会に[予算案を提出する](#)

地区 GMT

- リジョン、ゾーン、クラブの指導者を支援し、意欲を喚起する
- 地区および複合地区 GMT と協力して以下に取り組む：
 - 地区の会員増強ニーズ
 - 地区の会員増強目標および行動計画
 - 会員を増強し奉仕活動を拡大するための[会員増強・EXT 委員会およびクラブサクセス委員会](#)の任命
- [会員増強](#)と[満足度向上](#)が地区全域で確実に促進されるようにする
- 地域を特定し、[毎年最低 1 つの新クラブを結成する](#)ための計画を立てる。新クラブ結成コンサルタントに支援を要請する（[該当地域で](#)）
- 新クラブを支援する研修、すなわち[公認ガイディング・ライオンおよびクラブ役員研修](#)に関して同位の GLT メンバーと協力する
- [クラブ向上プロセス（CEP）](#)を奨励し、参加するクラブを特定する。同位の GLT メンバーと協力し、参加クラブによる目標の達成を支援する
- 国際協会の[会員増強ツールおよび資料](#)をリジョン、ゾーン、クラブの指導者に推奨する
- 適性、経験、関心に基づき[会員増強の指導者](#)候補を発掘し、指導力向上を奨励する
- [会員関係の各種報告書を監視し](#)、動向を見極めて戦略を立案する。リジョン、ゾーン、クラブの指導者と情報を交換して問題の解決を支援または成果を表彰する
- 毎月または四半期ごとに会員増強の成果を予想・目標と比較し、必要に応じて戦略を調整する
- 国際協会に四半期会員増強報告書を提出する
- 会員増強計画の資金を確保するため、地区キャビネットに[予算案を提出する](#)
- 会員増強スキルの強化・向上に向けてライオンズの意欲を喚起する
- 会員増強に大きく貢献した地区と会員を対象とする[表彰計画](#)を立案して推進する

GMT 会員増強・EXT 委員会とクラブサクセス委員会

複合地区および地区 GMT コーディネーターは、それぞれ 3～4 人の会員で構成される[会員増強・EXT 委員会およびクラブサクセス委員会](#)を編成します。

この二つの委員会は 3 年の任期で任命されます。複合地区委員会の任命は、ガバナー協議会が複合地区 GMT コーディネーターおよび GMT エリアリーダーと相談して行います。地区委員会の任命は、地区ガバナー・チームが複合地区 GMT コーディネーターおよび地区 GMT コーディネーターと相談して行います。サクセス委員会のスペシャリストは複合地区および地区により、**My LCI** を通して登録されます。

会員増強・EXT 委員会

責任：

- [新クラブ結成](#)の機会を見極める
- [新会員の勧誘](#)を奨励する
- [クラブ向上プロセス \(CEP\)](#) の対象となるクラブを特定する

会員増強・EXT 委員会のスペシャリストの例：

- [キャンパスクラブ・スペシャリスト](#)
- [CEP 推進スペシャリスト](#)
- [新クラブ結成スペシャリスト](#)
- [家族及び女性会員スペシャリスト](#)
- [スペシャル・インタレスト・クラブ・スペシャリスト](#)
- [若手会員スペシャリスト](#)

クラブサクセス委員会

責任：

- 会員を[地域社会奉仕事業に参加させ、新たな奉仕の機会を見極める](#)ことに集中的に取り組む
- [アクティビティ報告](#)を奨励する
- [会員の満足度向上](#)を奨励する
- [クラブ向上プロセス \(CEP\)](#) に参加したクラブを支援する
- クラブの健康を高めて会員を維持および参加させ、弱体化したクラブの再建を支援する

クラブサクセス委員会のスペシャリストの例：

- [CEP フォローアップ・スペシャリスト](#)
- 地域奉仕スペシャリスト
- 会員サービス・スペシャリスト
- メンタリング・スペシャリスト
- 出版物スペシャリスト
- 再建スペシャリスト
- アクティビティ報告スペシャリスト
- 技術スペシャリスト

リジョンおよびゾーン・チェアパーソン – 地区 GMT

- [会員増強資料をクラブに推奨](#)する
- [クラブ向上プロセス \(CEP\)](#) を奨励し、参加するクラブを特定する
- [クラブ会員委員長](#)にその役割と責任を確実に認識させる
- [新クラブ結成](#)の対象となる地域社会を特定する
- [新規または既存の奉仕事業](#)への会員の参加に重点を置く
- [会員増強計画](#)を実行し、地域社会での活動を宣伝するようクラブに奨励する
- 会員増強ニーズと[成功している戦略](#)について仲間の地区 GMT メンバーに伝達する

YCE 委員会 研修会

次 第

司会 次期キャビネット副幹事 岡田和好

- | | | |
|----|---------|---------------|
| 1. | 開会のあいさつ | 岡田和好 |
| 2. | 出席者紹介 | 岡田和好 |
| 3. | 講師 | 地区名誉顧問 山根 健 |
| | | YCE 委員長 野々村一巳 |
| 4. | 質疑応答 | |
| 5. | 閉会のことば | |

講師及び出席者

講師			
地区名誉顧問	山根 健	YCE 委員長	野々村一巳
出席者			
次期第二副地区ガバナー	藤本幸嗣	次期 YCE 委員長	三好 昇
次期 YCE 委員	渡辺順一	次期 YCE 委員	前田清行
次期 YCE 委員	後山宏昌	次期 YCE 委員	伊藤秀行
次期 YCE 委員	佐貫龍平	次期 YCE 委員	織田 学
次期キャビネット幹事	岡田和好		

(1) YCE事業の目的

ライオンズクラブ国際協会は「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」と言うライオニズムの第1目的を実現する為、様々な国際交流を行っています。そしてその中でも、次世代を担う青少年に対する最も効果的な活動として青少年交換事業(YCE…Yoyth Camp Exchange)を推進しています。

国際協会・国際理事が1962年に青少年交換プログラムの設立をしています。プログラムの目的は以下の通りです。

- ①ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進する。
- ②異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を体験させる。
- ③青少年に諸外国の同年代の青少年と交流する機会を与える。
- ④他国の人と接する機会を青少年に与える。

以上の事はすなわち、交換生、スポンサークラブ、ホストクラブ、家庭が全員心に留めておくもので、関係者は個人的利益を考えずにプログラムを実施するように、自らの行動に細心の注意を払わなければならない。

(2) YCE事業の歴史と今後の展望

国際交流YCE事業は1962年国際理事会で決議され、現在多くの国に於いて実施されています。その前年1961年に神戸とアメリカ・カルフォルニア州、ネバタ州との間に於いて行われた青少年の交換がその起源です。(日本ライオンズはYCE事業の先駆者)近年、一般家庭、学校などでも交流機会が増え、海外体験は日常的な出来事になって来ました。それと共にYCE事業を取り巻く環境が大きく変化し、派遣・受入れ共、減少傾向にあります。しかしながらライオンズクラブが行うYCE事業は単なる海外経験を積むだけのものではなく、「小さな親善大使」として文化を学ぶ機会を提供するものです。青少年にとって他国への旅、ホストファミリーでの生活、異文化体験は人生を変える程の大きな体験となり、この経験は青少年を大きく成長させます。そして、将来の国際間の理解増進、国際強調にも結びついて行くものです。YCE事業は派遣して終わり、受入れして終わりではなく、むしろその後、生涯に及ぶ国際交流にも発展して行きます。そうならなければなりません。

(3) YCE憲章…一部を抜粋

- ライオンズ活動の基本組織でもあるライオンズクラブが、自らの名誉と責任の下に選考し、決定したユースである。
- YCE活動の真意である「自らの日常生活をありのままに海外の家庭で示し、相互の友好はもとより、自分の人生向上に役立たせる」努力を素直に実行できる意志のあるユースである。

- 自国の優れた礼節を体得し、守る事の出来るユースである。
- 訪問国の法律を誠実に理解し、順守する意思のあるユースである。
- ホスト家庭に対して、いささかも不快、迷惑その他不都合な感情、行為を与えない事を誓約出来るユースである。
- 精神、身体 of 健康について、いささかも不安もないユースである。
- 派遣国のライオンズ Y C E 責任者が与えた、注意事項、指示事項を十分理解し忠実に順守出来るユースである。

(4)交換性の選考

- すべての応募者は交換に先立ってスポンサークラブの選考を受け、交換性及び保護者は、Y C E プログラム規定を理解し、プログラムの趣旨に従う事を誓約する同意書に署名し提出する。
- 年齢は原則として16～21歳(派遣時)とする。
- その他、学力・語学力・応募の動機等々はY C E プログラムマニュアル<第5版>記載の通り。

(5)種 類

- Y C E 事業では、現在 ①一般交換・・・Youth Exchange ②直接交換・・・Special Request
③国際ユースキャンプ・・・International Youth Camp の3種類で実施です。
- * 336-D地区では①に2泊3日程度のミニキャンプを実施しています。今期は委員長方針で、他準地区と共催と聞いています。
- * ②で、諸外国との姉妹或いは友好締結クラブと周年行事に併せて実施しています。

(6)運 営

Y C E 事業は国際協会のY C E プログラムに則って実施される、単一クラブのアクティビティです。Y C E 事業は「派遣」「受入」の2つの作業から成立する。こちらはどちらも不可欠な作業であるが、それぞれ独立した業務として捉えるものです。受入を不平に感じたり、派遣した事によって受入に義務を感じたりするのは、この原則に反しているだろう。各クラブは「派遣」と「受入」のそれぞれにおいて、優れた国際感覚を発揮することが必要です。

(7)地区 Y C E 委員会の任務

地区 Y C E 委員会は Y C E 委員長の招集によって、ガバナーの基本方針に沿って行われる委員会に委員は必ず出席すること。任務は以下の通り。

- ①地区内のYCE委員長に対し、YCEについての各種情報を提供する。情報は、YCEの意義、歴史、実施要領及び地区内の状況などが中心となる。
- ②単独でYCE実施しようとするクラブに対し、協力・援助を行う。
- ③地区内の単一クラブが連携してYCE事業を実施する場合は、その要領を準備する。
- ④他地区と連携してYCE事業を行う場合は、複合地区YCE委員会を通して、他地区との連携を行う。

(8)YCE事業のMD336・海外窓口

MD336ではアメリカ マサチューセッツ州、ミクロネシア、台湾との海外窓口になっていますが、現在は台湾のみとなっていて他はあまり交渉がなく休眠状態です。従って受入は毎年7月中旬よりおよそ3週間、35～40名程度受入、担当窓口としては、YCE生を到着空港に出迎えし、全国の受入先迄届ける任務があります。又、引率して来る台湾役員との交流があります。派遣については、毎年8月初旬よりおよそ3週間、ここ数年は多くても、10名程度の派遣で、派遣より受入の方が多く、今少し派遣を増員して派遣事業の更なる発展が望まれます。

(9)日本ライオンズ 8複合でのYCE海外窓口・略号一覧表…添付の通り。

*本資料はMD336・YCEプログラムマニュアル(第5版)を基に、過去の文献と、前回前々の資料を参考に加筆し、短時間に理解し易い研修資料として作成しました。
尚、不都合な部分があればご容赦願います。

文責 山根 健

YCE海外担当窓口・略号一覧表

2011年2月現在

国名	略号	窓口	国名	略号	窓口
アメリカ方面			カンサス	KS	337
MD4※1	CA	330	ミネソタ	MN	337
ハワイ(CAMP)	HICAMP	330	ウィスコンシン	WI	337
アラスカ	AK	331	ウエストバージニア	WV	337
メイン		331	中南米		
コロラド	CO	332	ペルー	Peru	335
オクラホマ	OK	332	メキシコ	MX	333
テキサス	TX	332	ブラジル	BZ	333
アーカンソー	AR	333	アルゼンチン	AG	333
ミズーリ	MO	333	カナダ		
ネブラスカ	NE	333	MD19※3	WA	335
サウスカロライナ	SC	333	アルバータ	AB	335
MD5※2	SD	333	アルバータ-(CAMP)	ABCAMP	335
ユタ	UT	333	マニトバ	MB	335
アイオワ(CAMP)	IA	335	ノーバスコシア	NS	335
イリノイ	IL	335	ケベック	QU	335
アリゾナ(CAMP)	AZCAMP	335	オンタリオ(CAMP)	ON	335
アリゾナ	AZ	335	ユーコン	YU	335
コネチカット	CT	335	オセアニア		
フロリダ	FL	335	オーストラリア	A	335
アイダホ	ID	335	オーストラリア(CAMP)	ACAMP	335
インディアナ	IN	335	ニュージーランド	NZ	335
ケンタッキー	KY	335	ヨーロッパ方面		
モンタナ	MT	335	フランス	F	334
ミシガン	MI	335	ドイツ	G	334
メリーランド	MD	335	オーストリア	AS	334
ノースカロライナ	NC	335	イギリス&アイルランド	E	334
ニューヨーク	NY	335	スイス	S	334
オレゴン	OR	335	デンマーク	D	334
ペンシルバニア(CAMP)	PACAMP	335	スウェーデン	SW	334
テネシー	TN	335	ノルウェー	N	334
バーモント	VT	335	フィンランド	FN	334
バージニア(camp)	VACAMP	335	アイスランド	IC	334
アラバマ		335	オランダ	H	334
ノースウエストテリトリー		335	ベルギー	B	334
マサチューセッツ	MA	336	イタリア	IT	334
ジョージア	GA	337	ルクセンブルク	LU	334

国名	略号	窓口		
ギリシャ	G R	3 3 4	※1 カルフォルニア	
スペイン	S P	3 3 4		
ポルトガル	P T	3 3 4		※2 ノースダコタ・サウスダコタ・ サスカチュワン
エストニア	E S	3 3 4		
チェコ&スロバキア	C S	3 3 4		
ロシア	R S	3 3 4		※3 ブリテッシュコロンビア・ ワシントンDC・コロンビア
ウクライナ	U K R	3 3 4		
ルーマニア	R O	3 3 4		
スロベニア	S L	3 3 4		
クロアチア	C R	3 3 4		
トルコ	T K	3 3 4		
イスラエル	I S	3 3 4		
マケドニア		3 3 4		
ポーランド	P O	3 3 3		
ハンガリー	H U	3 3 3		
アジア				
香港	H K	3 3 0		
モンゴル	M N	3 3 0		
タイ	T H	3 3 0		
カンボジア		3 3 2		
フィリッピン	P H	3 3 3		
インド	I N D I A.	3 3 3		
ネパール	N P	3 3 3		
マレーシア	M L	3 3 5		
韓国	K R	3 3 5		
インドネシア	I N D	3 3 5		
台湾	R C	3 3 6		
シンガポール	S Y	3 3 7		

保健福祉環境保全・青少年健全育成委員会 研修会

次 第

司会 次期キャビネット副幹事 下井克己

- | | | | |
|----|---------|-------------|------|
| 1. | 開会のあいさつ | | 下井克己 |
| 2. | 出席者紹介 | | 森田哲弘 |
| 3. | 講師 | 地区名誉顧問 | 倉益芳太 |
| | | 青少年健全育成委員長 | 牛尾尚義 |
| | | 保健福祉環境保全委員長 | 月森和弘 |
| 4. | 質疑応答 | | |
| 5. | 閉会のことば | | |

講師及び出席者

講師			
地区名誉顧問	倉益芳太	青少年健全育成委員長	牛尾尚義
保健福祉環境保全委員長	月森和弘		
出席者			
次期保健福祉環境保全委員長	前村きみこ	次期青少年健全育成委員長	武波博行
次期保健福祉環境保全委員	野村 明	次期保健福祉環境保全委員	田中篤治
次期保健福祉環境保全委員	渡辺輝明	次期保健福祉環境保全委員	米村仁治
次期1～7R 青少年健全育成委員	小畑 猛	次期キャビネット副幹事	下井克己
次期キャビネット副幹事	森田哲弘		

国際協会モットー

We Serve

地区アクティビティスローガン

光と愛を

2014~2015年度国際テーマのハイライト:誇りを高める

ライオンズクラブ国際協会会長 ジョセフ・プレストン



2014~2015年度、私たちライオンズは、家族である135万人の会員の絆をさらに強め、協調と相互理解の精神のもと奉仕に取り組むことにより「誇りを高める」ことができます。これは得意になって自慢するという意味の誇りではありません。より良い地域づくりに向け成し遂げたことへの誇り、有意義な奉仕を行っていることへの誇り、自力だけでは困難を切り抜けられない人々を助けることへの誇りのことです。この誇らしく思う気持ちが、私たちに他者への奉仕を決意させる基となるものを作るのであり、私たちを人道奉仕におけるグローバルリーダーにならしめているのです。これは、これからの1年にわたり、また協会創立100周年を通じて、更には今後100年に及び、成功を収めるための礎となるものです。

奉仕を通じて誇りを高めよう

1917年の創設以来、奉仕は本協会の基盤となってきました。そして2014年、私たちは3年間に及ぶ創立100周年祭を開始し、地域社会への奉仕に対する献身に敬意を表します。

- ・ **100周年記念奉仕チャレンジ**: この奉仕の祝祭は2014年7月に開始され、2017年12月に締めくくられます。100周年記念奉仕チャレンジには四つの要素が設けられ、グローバル奉仕実施キャンペーン・プログラムに沿った事業への参加を報告したクラブに対して、特別な表彰が行われることとなります。

これからの1年、クラブはまた、読み書き、飢え、虐待、貧困といった問題に対応する特別なプロジェクトに参加することにより、支援が受けられないでいる恵まれない子どもたちのニーズに対応するよう呼びかけられます。こういった活動に参加するよう、友人や家族を誘ってください。

会員増強を通じて誇りを高めよう

ライオンズの焦点は奉仕ですが、それを行う力は会員と直結しています。うれしいことに過去6年間会員が増えてきていますが、人道奉仕におけるグローバルリーダーとしての役割を維持しようとするのであれば、私たちは引き続き会員を増やしていく必要があります。次の方法で会員増強を推進することができます。

- ・ **アスク・ワン (一人誘おう)**: 2014~2015年度、会員一人ひとりが少なくとも一人の新会員を招請し、奉仕をしたいという強い気持ちを持っている人の勧誘に取り組むべきです。例えば「誘ってみよう」パンフレットなど、勧誘活動に役立つ資料が用意されています。

- **心構えをする** :クラブは新会員を迎え入れる準備を整える必要があります。それによりタイミングよくクラブの承認を得、意義深い入会式と緻密な新会員オリエンテーションを行うことができます。可能な限り入会式には国際会長、地区ガバナー、元役員、理事を含めることが求められます。
- **どんなクラブにも計画が必要** :クラブは、クラブと地域に合った会員増強および指導力育成計画を立てるべきです。
- **特定の対象に目を向ける** :私たちはあらゆる層における会員増強に努めている一方、女性や若者の入会招請に集中的に取り組むよう、会員に奨励することもできます。
- **クラブを増やそう** :ガイディング・ライオンから得られる支援などを含め、エクステンションに役立つツールや資料を活用し、新クラブを結成しましょう。
- **既存クラブの再建** :問題を抱えているクラブにガイディング・ライオンを割り当て、こうしたクラブの会員増強、運営改善、奉仕拡大において支援をしてください。

クラブを強化することにより、誇りを高めよう

基本に戻り、クラブを強化することにより協会を強化する時が来ました。各クラブには、クラブが行っていることを調べ、クラブの活性化を図るために新たな管理運営方法やテクニックを導入することが奨励されます。目標は、より明確な焦点、進路、意欲、目的をクラブに持たせることです。クラブは、以下のようなさまざまな方法を用いてこれを達成することが可能です。

- 地域社会奉仕ニーズ調査を行って、どうすれば最適な方法で自分たちの地域に奉仕できるかを見極める
- 新会員とのつながりを築くことに力を入れ、そして彼らに家族のように接する
- クラブ向上プロセス（CEP）に参加し、クラブの充実化を図り、クラブにおける会員の経験を良いものにする
- すべての会員がクラブの活動や運営に積極的に参加していることを確実にする
- レオクラブをスポンサーする

リーダーシップを通じて誇りを高めよう

優れたクラブ指導者を育てることでクラブの強化を図ることが可能です。優れたリーダーの育成は、有意義な入会式と適切なオリエンテーションから始まります。それをした上で、クラブは下記の方法でクラブのリーダー育成を促すことができます。

- 新会員が入会したら委員会に配属し、その会員の指導力を伸ばす
- クラブ役員研修を行い、その職務を全うできるようにする
- 会員オリエンテーション、メンタリング、ゾーン会議参加、その他の指導力育成研修についての目標を含む指導力育成計画を策定する

パートナーシップを通じて誇りを高めよう

同じ志を持った人々や企業・団体と協力し合うことにより、私たちはより多くのことに取り組み、より多くのことを達成することができます。クラブは、相互に利をもたらし、地域の改善につながり、恵まれない人々により良い奉仕を提供できる時には、他との協力関係を結ぶことが奨励されます。

決意刷新を通じて誇りを高めよう

ライオンズ創設者メルビン・ジョーンズは、創設時当初の会員たちに奉仕を誇らしく思う気持ちを植え付けました。100周年を記念する準備を整えるにあたり、ライオンズ創始者に敬意を表し1月13日のメルビン・ジョーンズの誕生日を祝う予定を立て、国際協会の地域および人道支援の方針、目的、原則に対する決意を新たにしてください。

分け与えることを通じて誇りを高めよう

寄付をすればするほど、分け与えられるものが増大します。今年度、すべてのクラブに、私たちの協会の慈善部門であるLCIFへの寄付が呼び掛けられます。

独創力を通じて誇りを高めよう

新たな課題を受け入れ取り組む能力は、ライオンズがこれまでに収めた成功に重要な役割を果たしてきました。私たちの今後の発展を確実なものとするためには、テクノロジーを独創的な形でうまく利用する必要があります。国際協会では強力なオンライン・ネットワークとソーシャルメディアを構築しており、私たちはこれらを活用し、下記のようにして誇りを高めることができます。

- Facebook、Twitter、YouTube、国際協会のブログ、その他のサイトを使う
- クラブ・地区のウェブサイトやソーシャルメディアのページ（Facebookなど）開設を推進する
- クラブが活動を報告し、情報を見つけ出し、誇りを分かち合うことを容易にしてくれるアクティビティ報告やMyLCIといったツールを使用・推進する
- ソーシャルメディアについての知識を増やす機会を利用したり、地区や複合地区の大会、エリアフォーラム、あるいは国際大会でセミナーや研修に出席したりする

勇気と信念を通じて誇りを高めよう

ライオンズの会員は勇気と信念の両方を持っています。ライオンズとして私たちは、声を高らかにしてその存在を知らせる必要があります。私たちがどういった団体であるかということ、つまり、やるべき奉仕があるゆえに、ライオンズはどんな課題があろうともそれを提供しようとする努力を絶対にやめたりしない人々の集まりであることを世界に伝える必要があるのです。

地区ガバナーエレクトの皆さん、奉仕、会員増強、クラブ結成、パートナーシップ、指導力育成、決意刷新、独創力、勇気、そして信念をもって全力を注ぐことにより、私たちにはこれまでにまして大声で「ライオンズのローア」をあげる機会があるのです。ご自分の取り組みを調整し、チームと協力し、入手可能な資源を活用して誇りを高めることへの決意をしてください。



2014-2016年 国際理事候補者経歴書

にし かわ よし のり
西川 義規

- 所属クラブ ライオンズクラブ国際協会 335-D 地区
1R3Z 姫路白鷺ライオンズクラブ
- 生年月日 昭和13年10月22日
- 住 所 〒671-0253 姫路市花田町一本松字上邸 208
- 勤 務 先 〒671-0253 姫路市花田町一本松字上邸 208
医療法人社団 こうのとり会 西川産婦人科 理事長
- ライオン暦
- | | |
|-------------|--|
| 1975年 | 姫路白鷺LC 入会 |
| 1995年～1996年 | 姫路白鷺LC 会長 |
| 1997年～1998年 | 335-D地区 YE・レオ・ライオネス委員長 |
| 1998年～1999年 | 335-D地区 1R3Z ゾーン・チェアマン |
| 1999年～2000年 | 335-D地区 1R リジョン・チェアマン |
| 2002年～2003年 | 335-D地区 副地区ガバナー |
| 2003年～2004年 | 335-D地区 ガバナー
335複合地区ガバナー協議会議長 |
| 2004年～2005年 | 国際理事候補者選挙管理委員
335-D地区 名誉顧問会議長 |
| 2005年～2006年 | 335複合地区長期計画・リサーチ委員長 |
| 2005年～ | 335-D地区 名誉顧問 |
| 2006年～2007年 | 国際理事候補者選挙管理委員 |
| 2007年～2008年 | 335複合地区視力ファースト・献血推進委員長
※ライオンズ・リーダーシップ研究会受講 (1999年 シンガポール) |
- ライオン関係受賞歴
- 小国博之賞 (1997-1998年)
 - 国際会長感謝状 (1998-1999年)
 - 国際貢献賞 (2004-2005年)
 - C S F II 「奉仕の騎士」賞 (2007-2008年)
 - メルビン・ジョーンズ・フェロー 120回
 - 会員25人キー賞 (シニア・マスター)
 - ヒューマニタリアンパートナーズ賞
 - LCIF 感謝状

地区名誉顧問会議承認事項

副地区ガバナーの選出について

(2011年12月6日)

94年度より副地区ガバナーの選出が規定され、次年度副地区ガバナーがガバナーに立候補するときは、他の者は立候補できないので、地区としては副地区ガバナーの選出をする事になる。また、2009年より、第二副地区ガバナー選出がタイ・バンコク国際大会で決議された。

(1) 第1、第2副地区ガバナーに立候補者がある場合は、第2回キャビネット会議までに、クラブの推薦ゾーン及びリジョンの理解を求め、チーフゾーンチェアパーソンを通じて、地区ガバナーまで届け出ることとする。

(2) リジョンのローテーションによる選出をする場合は、地区名誉顧問会議での申し合わせの通り、リジョンによるローテーションに従い、第2回キャビネット会議までに、チーフゾーンチェアパーソンから地区ガバナーに届け出ることとする。

(3) 立候補者及びローテーションによるリジョンからの推薦が共にあった場合は、ローテーションによる副地区ガバナー候補者を優先する。

(4) リジョンによるローテーションでなく、立候補者が複数となった場合の手続きについては、慎重かつ早急に考慮すべき事項であるとの合意を得た。

(5) 第2回キャビネット会議までに、立候補者及びローテーション通りのリジョンから副地区ガバナーの推薦が共にない場合は、そのリジョンが属する県の他のリジョンにおいて選出の交代をお願いする。

(6) ローテーションによる選出ができなかったリジョンは、正規のローテーションの順番に至るまで副地区ガバナーの推薦を行うことはできない。但し、交代したリジョンの賛同が得られ、且つ推薦できる場合はその限りではない。

(7) 選出にあたっては、地区名誉顧問の方々ともご相談をし、ご協力を頂くとの合意を得た。

寛容の

心で

We Serve

以前ライオンズの誓いは“われわれは知性を高め、友愛と寛容の精神を養い・・・”
でした。だが最近では“友愛と相互理解の精神・・・”となりました。

寛容と相互理解では多少意味合いが違うし、我々日本人には
寛容の方が向いている様に思います。

近年、人間関係が希薄になり、世の中が冷たくなった様に思います。

トラブルも多発しております、ライオンズクラブでも同様です。

人間の心には色々と難しいものが存在しますが、中でも特に

“他人におおらかになる・相手を許す”は不可能とも思える程です。

もし、我々が少しでも寛容の心が持てたら、ライオンズクラブは

もとより、社会からもトラブルを減らす事が出来ると思います。

明るい未来が望めない現在だからこそ、“**寛容の心**”で

少しでも、楽しいクラブライフ、優しい社会を目指したいと思います。

そうすれば、今のクラブも今住んでいる街も、そして今の人生も

そんなに悪くないと・・・気付くかも知れません。

ガバナー基本方針

ガバナースローガン

“寛容の心で We Serve”

足もとを見据えたクラブ運営を目指し、下記の通り基本方針とする。

- ① 国際会長の方針を尊重し行動します。
- ② 会員維持に努力し、会員（正会員）の増強を目指し、
たとえ1クラブでもエクステンションを実現したい。
- ③ 会員層の幅を広げる為、若年層、女性会員の獲得に力を注ぎ
クラブの活性化を計る。
- ④ 労働奉仕に重点を置き、献眼・献血活動を更に拡大し、社会奉仕
に貢献する。
- ⑤ YCE 活動を活発に行い、青少年の健全育成に努め
グローバルな青少年を育成し、国際協調に貢献する。

ロゴマーク



夏みかん・白壁・美しい海・椿の花、そして吉田松陰

もし萩の字が無くても誰もが萩をイメージします。

明治維新発祥の地、素晴らしい萩・・・・・・・・。

松陰先生の教えを守り、ライオンズ維新を目指します。

地区運営及び奉仕活動の重点

1、地区キャビネットのあり方

地区内ライオンズクラブの融和強調を図るとともに、ライオニズムの高揚のために、ライオンズクラブ国際協会の理念を基に、336複合地区ガバナー協議会の基本方針に従い、336-D地区各クラブの要望に応えるべく、積極的な情報収集に努め、円滑なクラブ運営となるよう指導していく。

2、キャビネットの合理化の進化

- 1) キャビネット運営の合理化を継続し、経費の節減を図る。
- 2) 各種会議を見直し、簡素化を図る。
- 3) 各種会議の議事録を作成する。
- 4) 地区名誉顧問会議については、次年度キャビネット開局後、またガバナーの要望に応じて開催する。

3、事務の合理化 IT の活用

ITを活用し、事務の簡素化を進める。

- 1) キャビネットHPを活用し情報収集及びPRを実行する。
- 2) サバンナを活用しマンスリーを報告。
- 3) ペーパーレス化を進める。
 - ・キャビネット役員名簿をIT情報に替える。クラブ会員が情報を共有する。
- 4) キャビネット会議議案等もIT情報に替え、各クラブで印刷し、情報を共有する

- RC・ZC・各委員長の活動費は定額支給とし、活動計画を立案して必要経費を請求する。
- 地区名誉顧問会議はキャビネット方針審査時と、適宜必要とした時に開催する（交通費・宿泊費支給）
- 地区名誉顧問の方々にキャビネット会議のご案内は致します（第1回・第4回のみ交通費・宿泊費支給）がリジョン・ゾーンで会議等を開催するときは出席要請する（交通費は不支給）
- キャビネット会議後の地区常任名誉顧問会議は必要に応じて開催する。
- ペーパーレス化を推進し会議資料等は事前に各クラブ宛てにメール送信する

- キャビネットフラッグ・バッジは作成せず、キャビネット便箋も市販で対応する
 - 獅子吠は年4回発行し、そのカバーは336-D HPで随時アクティビティ等を掲載する
 - キャビネット役員の名刺は委員長以上作成する
 - キャビネット役員、クラブ3役の写真は各自提出のものを使用する
-

4、ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問をゾーン単位の合同訪問とし、ゾーン内の融和を図り、各クラブの意見を聴取する

- 1) 節減のため、質素な形式にしながらも、共通の話題を語り合う。
- 2) 公式訪問前にクラブに対して質疑事項を送付し、訪問時口頭で回答する。
- 3) 公式訪問時に例会訪問を実施する。(希望)
- 4) 公式訪問の次第を事前に ZC へ伝達する。

5、奉仕活動の改革

地区内のライオンズクラブは年数を重ねたクラブが増えている半面、エクステンションが難しい状況にある今、寄付団体的な評価からの脱皮を図りアクティビティが単に継続されるだけでなく、新たな事業も探究して頂きたい。

6、PR・情報

広報活動とは、会員及び地域社会に対してライオンズクラブの奉仕事業や活動を推進し、ライオンズクラブ国際協会に関する情報を広め、協会のイメージの高揚に努めることでもあります。地区での任務に当たるのは、地区 PR・情報委員長です。PR・情報委員長はプログラムが正しく伝えられるように、各委員長と密接に情報交換し協力していかなければなりません。IT の固定化になり、インターネットを活用し、情報をインプットし収集できるようになっております。各クラブの事務局においてもクラブ員各位に広く活用していただくよう推進をお願いします。なお、普及してないクラブには、キャビネット事務局よりクラブ事務局を通して対応します。

7、GMT、GLT、

会員増強とドロップの防止（増やせども、減らさず）を継承します。

会員増強は困難ながら、クラブのマンネリ化を解消し、若い会員のパワーをクラブに持ち込み、そのクラブが新鮮で進化するためにも新会員の獲得は重要です。

なお、退会者が出ないことを望みますが、出るようであれば、事前に防止に向けて対処して頂くようお願いいたします。

1) GMT（グローバル・メンバーシップ・チーム）

1～7Rの委員長は地区委員と共にその責務を果たして下さい。

2) 家族会員については、地区として定着までに至ってないが、引き続きクラブにおいて研鑽して頂きたい。そして、若年者、女性会員を迎え入れ、なごやかな中にも、活性化を図って下さい。

3) GLT（グローバル・リーダーシップ・チーム）

GMTと共同で、未来のライオンズを担える人材を育成する為に、研修会を開催し、その推選をP・D・C・Aで検証して参ります。

4) 会員維持のためドロップをなくす努力をクラブ、GMT委員会で検討し、実行して下さい。

5) 会員純増目標

1クラブ純増1名以上を目標として下さい。

8、YCE 事業

ライオンズクラブ YCE 事業（交換学生）は、世界ライオンズとのネットワークで行われており、交流により国際的視野を深め、世界平和へ貢献できる青少年健全育成を目的としているものです。今年も積極的に推進して行きましょう。

9、保健福祉環境保全「献眼・献血」

地区アクティビティスローガン「光と愛を」にあるように、献眼運動はライオンズクラブの奉仕活動の主要テーマです。今年度も積極的に献眼登録を推進して行くと共に、献眼発生時には敏速正確な対処を図るよう、研修会の開催等で理解を深めてまいります。

献血運動は日本に限らず、世界においても有数な献血推進団体として協力し、素晴らしい成果を上げております。しかし、若年層の献血者が少ないとのデータが出ています。そうした状況を踏まえ、特に若年層への啓発を重点において、積極的に献血運動を展開していただきたい。今年も引き続き、献眼・献血0クラブをなくす努力をお願いいたします。

10、LCIF への寄付金推進

LCIF はライオンズ国際財団と称し、寄付を受けた基金を運用して、大災害や緊急事態の救済、その他世界的に人類の福祉に貢献することを目的とする財団です。

LCIF への寄付金は、一人当たり 20 ドルを目標に活動して下さい。

MJF への寄付金は、有志によりますが何かの記念に各クラブで努力願ひ、一人でも多くの方をお願いしたいと思います。寄付金は1回1,000ドルが単位です。

LCIF の交付金の活用については、クラブが理解を深めると共に、D 地区内から LCIF の助成金を獲得できるアクティビティを申請できるように取り計らって参ります。

11、青少年健全育成

(ライオンズクエスト)

○青少年にライフスキルを

この事業は LCIF の支援を受けて実施しております。336-D 地区の重点事業として取り組み、今年度で6年になります。教師と生徒がともに模索しながら考え、思春期の青少年少女に生きる力(ライフスキル)を身につけさせる教育のプログラムを支援することを目的にしています。われわれメンバーが教えるのではなく、特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラムの普及活動を通じて、その指導のための認定講師を派遣する活動の支援です。

(薬物乱用防止)

○薬物乱用の低年齢化防止

薬物乱用の低年齢化を防止するために、中学生、高校生を対象に「薬物乱用教室」を展開していきます。またその際、ライオンズクラブ会員による薬物乱用教室認定講師の派遣要請があった場合の対応に、認定講師の養成講座講習会を開催します。

◎青少年健全育成基金のお願い

各クラブの周年行事が展開されています。金額の多少を問わず周年行事アクティビティの一つとして、青少年健全育成基金への寄付をお願いします。

(スカウトジャンボリー)

1 2、平和ポスターコンテスト

国際平和ポスターコンテストは11歳～13歳の生徒を対象に、毎年ライオンズクラブ国際協会をスポンサーとし実施されます。各ライオンズクラブは、地元の学校又は、青少年組織団体でコンテストをスポンサーすることが出来ます。1つの学校につき、1点の入賞作品が選ばれます。各学校コンテストの入賞作品は次のレベルの審査（地区、複合地区、国際のレベル）に進みます。地区ガバナーは複合レベルでのコンテストに出品するために、地区の最優秀作品を複合地区協議会に提出します。国際入賞者はライオンズ誌及び国際協会のウェブサイトで発表されます。各学校へのPRを宜しくお願い致します。

1 3、奉仕デーの活用

10月8日は世界ライオンズ奉仕デー（World Lions Service Day）です。各クラブでは地域の方々（ボランティア団体等）と協議し、事業や奉仕活動を積極的に推進して下さい。

今年も、1クラブ\$100以上の献金を実施下さる様希望します。

1 4、東日本大震災の復旧・復興

昨年に引き続き、被災者の方々へのライオンズクラブとして支援の環を広げ、一日でも早く復興が可能になる様、地域ぐるみのチャリティー等のアクティビティを推進していただきたい。

1 5、336-D 地区緊急援助資金の補填について

昨年7月8月の二度の豪雨災害に336-D地区緊急援助資金の基金及び援助引当金から合計2,500,000円を取り崩し交付した。この結果、現在(2013年12月31日現在)の残高3,659,096円である。336-D地区緊急援助資金規定に「基金の額は最低500万円とする」と定められているので、補填が必要です。

クラブ周年記念について

MD336 運営マニュアルに、クラブ周年記念について提言があり、その趣旨として「クラブ運営の活性化と、会費の値上げ抑制を図ることを主眼」に、周年記念会合と周年記念事業の在り方について、5年刻みの記念式典は、チャーターナイトとは全く趣を異とするものであることから自粛すべきである、とあります。

しかし、多くのクラブで5年または10年区切りで周年記念大会が開催され、クラブ活性化に資する現状があることは周知の事実であります。

今年度も50周年を迎えるクラブが多数あります。

日本人の価値観が大変貌している現在、50周年を過ぎたクラブから率先して、提言に沿って運営されるのも一つの選択肢ではないでしょうか。

「チャーター・ナイト記念会を毎年開催し、ライオンズの目的・道徳綱領及び本クラブの歴史を特に強調する」とクラブ附則に定められています。

クラブ周年記念の会合を開催する本旨は、クラブが毎年開催すべきチャーター・ナイト記念の目的をいっそう強調することになるのではないかと思います。

25年・50年はシルバー・ゴールド・アニバーサリーであることから、国際会長を招待することもできる重要な式典ですので意義ある企画を行ってほしいと思います。

本年度のクラブ周年行事への地区ガバナーに対する出席要請につきましては、出来る限り対応して参りたいと思っております。各クラブのご理解を得たいと思います。

2014～2015年 委員会構成・略称表

委員会略	所属委員会
PR 情報委員会	PR・ライオンズ情報・獅子吼・IT 大会参加・プロトコール
GMT 委員会	会員・会則・エクステンション・ 運営マニュアル
GLT 委員会	指導力育成
国際関係委員会	国際関係・LCIF・MJF
YCE 委員会	YE・キャンプ
保健福祉環境保全委員会	献眼・献血・視聴覚言語障がい者福祉 環境保全・フォトコンテスト
青少年健全育成委員会	薬物乱用防止・児童福祉・レオ ライオンズクエスト・平和ポスター

※LCIF 委員会は作らず、LCIF コーデネーターを置く

地区の組織と役員・委員の任務について

(1)目的

地区内のライオンズクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。

(2)キャビネット構成員

- 1) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン
- 2) 地区ガバナーが必要と認めて任命した下記委員長
PR・情報委員長、GMT委員長、GLT委員長、国際関係委員長、YCE委員長、保健福祉環境保全委員長、青少年健全育成委員長
- 3) その他地区ガバナーの任命する委員長、副幹事、副会計
(注) 複合地区会則第17条・4により前年度の地区YCE委員長は、必要があれば8月31日まで、翌年度の地区ガバナーによって任命され実務に当たらせる。地区YCE委員についても同じ。

(A) 地区ガバナー候補者の資格 (国際付則第9条4項)

- (a) 所属単一地区または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブ、あるいは所属単一地区または準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 現在、所属地区の第1副地区ガバナーとして、その任に当たっている者でなければならない。
- (d) 現第1副地区ガバナーが地区ガバナー選挙に立候補しない場合にのみ、あるいは地区大会の時点で第1副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本附則または会則にさだめられている通り第2副地区ガバナーの条件を満たしている場合、更に地区キャビネット構成員として現在務めているかまたは1年を務めた場合は、本条(c)項の条件をみたしているものとする。

(注) 地区ガバナーの選挙については国際付則第9条6項(a)の規定による。(1997年国際大会において改訂)

(B) 副地区ガバナー候補者の資格 (国際付則9条6項b、c)

- (a) 所属単一または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一もしくは準地区内の過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 副地区ガバナー就任の時点で
 - (1) クラブ会長を全期、または半期以上、そして理事会構成員として2年以上を務め、かつ、
 - (2) ゾーン・チェアパーソンまたはリジョン・チェアパーソン、あ

- るいはキャビネット幹事および（または）会計としても全期または半期以上務めたものでなければならない。
- (3) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

(3)機 能

- 1) 地区キャビネットは前記 1) に示される構成員をもって構成される。
キャビネット構成員は地区役員となる。
前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。
地区委員は、必要に応じて地区ガバナーによって任命される。
- 2) キャビネットは地区運営方針を協議決定し、実行する。
- 3) キャビネットの会議は複合地区会則の規定によって開かれる。
- 4) 地区ガバナーは、キャビネット会議を主宰する。
定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議では、地区ガバナー、前地区ガバナー、第1第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネットと会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン及び地区委員長に投票権が与えられる。
336-D地区においては、第1回と第4回はキャビネット所在地、第2回は前キャビネット所在地、第3回は次期キャビネット候補地において開催する慣習となっている。
- 5) 地区名誉顧問会
従前の例により、地区ガバナーが委嘱した名誉顧問をもって構成する。
常任名誉顧問は原則として地区名誉顧問会議長を含め、直近地区ガバナーを務めた4名とする。
常任名誉顧問は主として、キャビネット会議の議事に関して地区ガバナーの諮問に答え、地区行政の円滑化を図るため、必要に応じて常任名誉顧問会を開催する。元国際理事は相談役として会議に出席する。
- 6) 地区ガバナーはキャビネット構成員以外の者を、必要に応じて会議に招集し諮問することができる。

①リジョン・チェアパーソン（国際附則第10条第2項）

リジョン・チェアパーソン（以下RCという）は地区ガバナーの指導監督のもとに、リジョンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- (イ) 本協会の目的を推進する。
- (ロ) リジョン内のゾーン・チェアパーソンの活動並びに地区ガバナーの任命する地区委員長の活動を監督する。
- (ハ) 地区内における新クラブ結成及びクラブ強化を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- (ニ) クラブ・レベルにおける指導者育成に積極的役割を果たす。
- (ホ) 地区役員必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

②ゾーン・チェアパーソン（国際附則第10条第2項）

ゾーン・チェアパーソン（以下ZCという）は地区ガバナー及びRCの指導監督のもとに、ゾーンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- (イ) 本協会の目的を推進する。
- (ロ) ゾーン内における地区ガバナー諮問委員会委員長を務め、同委員長として同委員会の定例会議を招集する。少なくとも3回主宰する。会議後5日以内に報告書を国際協会、地区ガバナー、RCに送付する。
- (ハ) 新クラブ結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。必要に応じ、ゾーン内クラブの会長等を集めた会議を開き、RCに報告し、地区ガバナーに報告書の写しを送る。
- (ニ) 新クラブの結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- (ホ) 地区役員必携及びその他指示に従い、国際理事会が要請するその他任務を遂行する。

③地区委員長

地区委員長はキャビネットの構成員として、地区ガバナーの指揮のもとに、担当分野の政策立案、推進に当たると共に、キャビネットにおける専門分野のスタッフとして、ガバナーを補佐する。

地区委員長の性格付に伴って、次の点が明確になります。

- (イ) 奉仕作業の実施主体は、単一クラブであり、キャビネットは指導、推進の立場にあります。
- (ロ) 単一クラブとキャビネットを結ぶラインは、リジョンの運営責任者であるRCとゾーンの運営責任者であるZCであります。
- (ハ) 各種委員会の施策推進に当たっては、地区委員長（含地区委員）とRC、ZCの連携によって行われます。

- (ニ) 従って単一クラブへの指導は、原則としてZ Cを通じて行われます。
- (ホ) 地区委員長は、自ら政策を立案し、キャビネット会議に提案します。決定した事項のクラブへの対応はR C、Z Cのルートを通じるのが本来のあり方です。お互いによく連携し、骨身を惜しまず行動することが大切でしょう。

④地区委員

地区委員は、キャビネット構成員に該当しないので、地区役員ではありませんが、地区委員会活動を活発にする重要な役割を担います。

- (イ) 地区委員は各種地区委員会を構成する委員です。従って地区委員長に直属し、その指示を受けます。
- (ロ) 地区委員は担当リジョンを定めて、そのリジョンから任命されるケースが多いようですが、その委員会の各リジョンを担当する役目だという考えは基本的になくした方がよいでしょう。

キャビネット・ローテーションについて

① 従来の実績

302-W-4

年度	64~65	65~66	67~68	69~70	70~71	73~74	74~75	76~77
クラブ	岩国	松江	下関	浜田	徳山	出雲	山口	萩
リジョン	4R	1R	7R	3R	5R	2R	5R	6R

336-D

年度	77~78	78~79	79~80	80~81	81~82	82~83	83~84	84~85	85~86	86~87	87~88
クラブ	下関東	江津	防府	柳井	松江	山陽	徳山東	益田	岩国	下関西	出雲
リジョン	7R	3R	5R	4R	1R	6R	5R	3R	4R	7R	2R

年度	88~89	89~90	90~91	91~92	92~93	93~94	94~95	95~96	96~97	97~98	98~99
クラブ	宇部	下松	松江 湖城	柳井	下関 響灘	浜田	宇部 新川	防府 ゴールデン	出雲 中央	岩国錦	松江葵
リジョン	6R	5R	1R	4R	7R	3R	6R	5R	2R	4R	1R

年度	99~00	00~01	01~02	02~03	03~04	04~05	05~06	06~07	07~08	08~09	09~10
クラブ	下関東	宇部 ときわ	山口	松江 湖城	防府 ゴールデン	浜田 亀山	下関	出雲	山陽	山口	東出雲
リジョン	7R	6R	5R	1R	5R	3R	7R	2R	6R	5R	1R

年度	10~11	11~12	12~13	13~14	14~15
クラブ	岩国錦	益田 あけぼの	下関北	松江	萩
リジョン	4R	3R	7R	1R	6R

当地区では従来はガバナー選出につき、県別を考慮し実施してきたが、リジョンによるローテーションがより合理的であるので、将来の予定を次の如く設定した。

☆リジョン・ローテーション

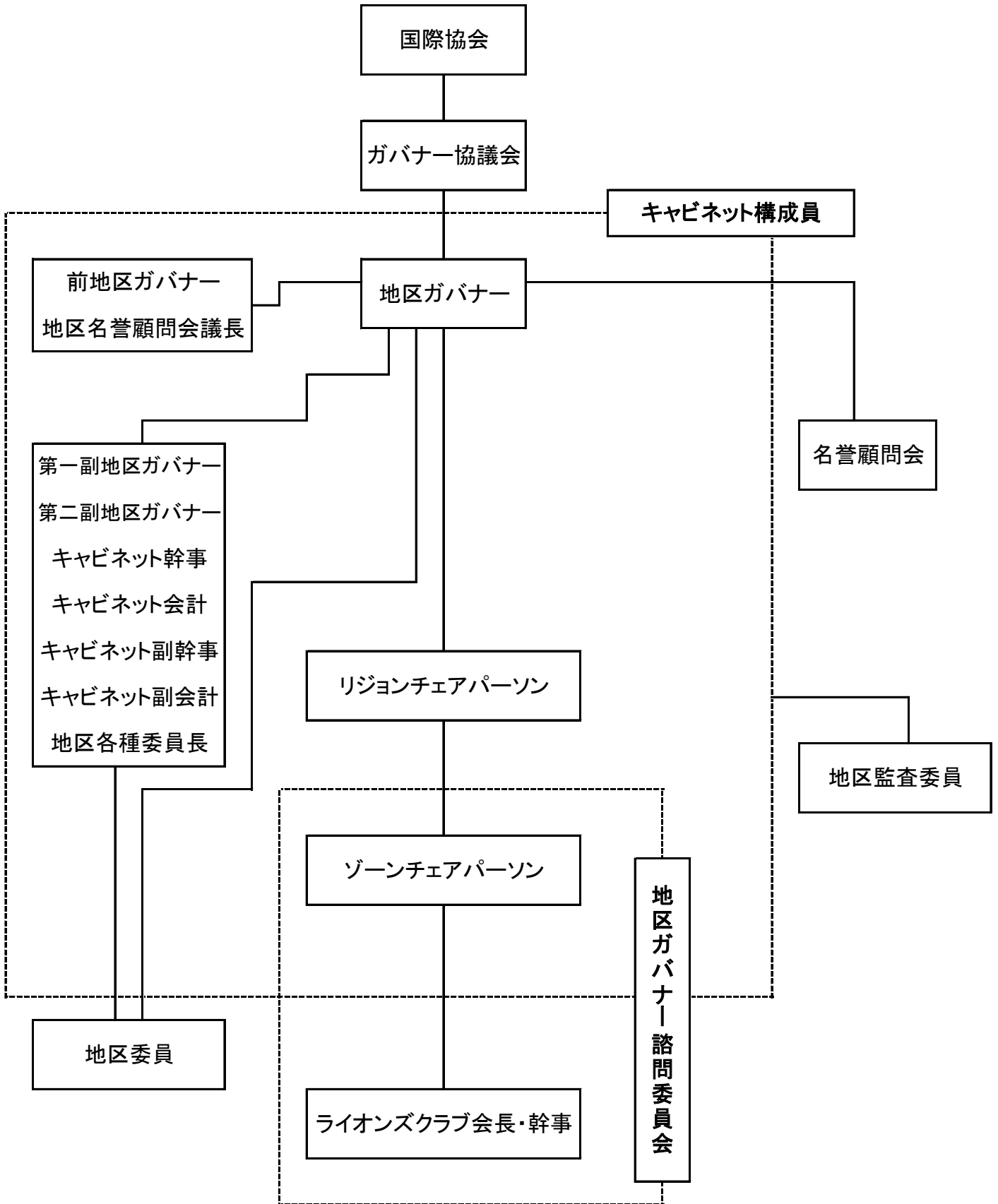
島根県	3R	2R	1R	3R
山口県	4R	7R	6R	5R

② 今後のローテーション

年度	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24
リジョン	1R	4R	3R	5R	2R	7R	1R	5R	3R

※この承認事項は2014年4月5日 地区名誉顧問会議において承認されたものである。

ライオンズクラブ組織



ライオンズクラブ国際協会 336-D地区組織表 (2014~2015)

地区名 著 顧問会議長	坂根 勝	松江
第1副地区 ガバナー	矢野 敏明	松江葵
第2副地区 ガバナー	藤本 幸嗣	平生
キャビネット 幹事	齋藤 幸男	萩
キャビネット 副幹事	阿合 孝徳	松江葵
	廣畑 雅弘	萩
	宮本 直治	萩
	岩川 宗和	萩
副幹事	岡田 和好	長門
	下井 克己	秋芳
キャビネット 会計	森田 哲弘	田万川
キャビネット 副会計	三好 一敏	萩
リジョン G L T メンバー 兼任 （兼任）	富川 芳人	萩
	1R 森山浩吉	松江湖城
	2R 牛尾 尚義	出雲南
	3R 拓壇 實	石見
	4R 大濱 茂生	大島オレンジ
	5R 寺田 一男	防府中央
	6R 大谷 昭治	楠
7R 井上 哲治	豊北	

地区ガバナー	竹下 雅雄	萩
--------	-------	---

元国際理事	下関西	常任
谷野 徹	松江	
地区名 著顧問会議長	松江	常任
坂根 勝	浜田亀山	
336複合地区ガバナー 兼顧問会議長	下関北	常任
永井 義夫	益田	常任
元地区ガバナー 地区名 著顧問	あけぼの	
岡村 聖樹	岩国錦	常任
元地区ガバナー 地区名 著顧問	東出雲	
大羽 義定	山口	
元地区ガバナー 地区名 著顧問	山陽	
光貞 正明	防府	
元地区ガバナー 地区名 著顧問	ゴールデン	
組 謙 一	山口	
元地区ガバナー 地区名 著顧問	宇部ときわ	
倉益 芳太	松江葵	
元地区ガバナー 地区名 著顧問	岩国錦	
村山 昭治	出雲中央	
元地区ガバナー 地区名 著顧問	宇部新川	
山根 健	浜田	
元地区ガバナー 地区名 著顧問		
山下 薫		
元地区ガバナー 地区名 著顧問		
前村 陸規		
元地区ガバナー 地区名 著顧問		
岩田 篤明		
元地区ガバナー 地区名 著顧問		
加藤 哲夫		
元地区ガバナー 地区名 著顧問		
緒方 正道		
元地区ガバナー 地区名 著顧問		
向 正美		

日本ライオンズ連絡事務所
〒104-0061
東京都中央区銀座4-12-19
日章興産ビル5階
TEL (03) 3547-7061 FAX (03) 3547-7076

336複合地区ガバナー協議会
〒700-0907
岡山県岡山市北区下石井2-1-18
O R I X 岡山下石井ビル9F
TEL (086) 234-0695 FAX (086) 234-0495

336-D地区キャビネット事務局
〒690-0886
島根県松江市母衣町83-5
母衣町ビル3F
TEL (0852) 60-1727 FAX (0852) 28-1077

ライオンズクラブ国際協会日本事務所
〒141-0031
東京都品川区西五反田7-22-17
T. O. Cビル6F16号 私書箱445
TEL (03) 3494-2931 FAX (03) 3494-2933

1R	小林 一夫	安来	安来：出雲広瀬・東出雲・安来十神・伯太・八雲 松江：松江湖城・大東・宍道・鹿島島根・美保関・松江葵・隠岐海士	6
2R	足立 守	松江		8
1Z	土江 陽治	平田	出雲：平田・大社・佐田・多伎町	5
2Z	陰山 洋二	出雲南	出雲中央：斐川・出雲南・出雲レークヒル	4
3Z	後藤 英夫	頓原	木次：三刀屋・加茂島根・仁多・掛合・赤来・頓原・横田	8
1Z	竹辺 正人	瑞穂	大田：石見・邑智大和・瑞穂	4
2Z	小谷 典弘	浜田	浜田：江津・益田・浜田亀山・益田あけぼの・金城砲月・松江・浜田マリン	8
1Z	野田 勝人	岩国	岩国：岩国錦・岩国桜・由宇	4
3Z	田村 敬治	柳井	柳井：大島・田布施・柳井中央・大島オレンジ・平生・大島中央	7
1Z	中林 嘉明	光	下松：徳山・光・新南陽・徳山東・徳山中央・下松中央・周南・新南陽若山	9
3Z	渡邊 弘信	防府	防府：防府中央・防府ゴールデン	3
4Z	松本 豊	山口中央	山口：山口西京・山口中央	3
1Z	仲田 真一	宇部 ときわ	宇部：宇部ときわ・宇部新川・宇部かたばみ・宇部サルビア・宇部ハーモニー	6
2Z	田辺 敏彦	楠	小野田：美弥・山陽・楠	4
3Z	小田 芳男	萩	萩：長門・秋芳・田万川	4
1Z	田上 登	下関新下関	下関：下関東・下関西・下関長府・下関北・下関豊雄・下関新下関・下関維新	8
2Z	林 透	豊浦	豊浦：豊田山口・菊川・豊北・下関中央	5

獅子吼編集員

1R	渡辺順一	松江葵
2R	前田 清行	斐川
3R	後山 宏昌	江津
4R	伊藤 秀行	大島
6R	佐貫 龍平	宇部サルビア
7R	織田 学	下関豊雄

1R	中村 進	安来
2R	野村 明	出雲
3R		
4R	田中 篤治	岩国
5R	渡邊 輝明	新南陽若山
7R	米村 仁治	豊田山口

青少年健全育成委員 1R~7R 小畑 猛 掛合

年次大会委員長	井町 實	萩
年次大会副委員長	黒瀬 正	長門
年次大会副委員長	川原謙一郎	萩

地区会計監査委員	上ヶ山慶市	益田 あけぼの
	田中 寿	下関北

PR・情報委員長	増山 健治	萩
GMTコーディネーター	土江 陽治	平田
GLTコーディネーター	浅田 保彦	下関中央
国際関係委員長	大野 美雄	松江
YCE委員長	三好 昇	山口西京
保健福祉環境保全委員長	前村きみこ	宇部 ハーモニー
青少年健全育成委員長	武波 博行	楠

ライオンズクラブ国際協会336複合地区組織表(2014~2015年度)

(2014/3/5現在)

336複合地区ガバナー協議会構成員			
議長	松前龍宗	A	高松玉藻
副議長	木内千春	A	板野
副議長	竹下雅雄	D	萩
幹事	松尾敏弘	C	福山中央
会計	別所清平	B	米子

336複合地区ガバナー協議会顧問			
武久一郎	A	徳島城山	
谷野徹	D	下関西	
藤井基博	C	福山東	
名越勉	B	倉吉	

336複合地区各委員長			
会則・運営マニュアル編集委員長	岡村聖爾	D	下関北
PR・ライオンズ情報・IT委員長	池田康彦	C	広島
YCE・国際関係委員長	宇高昭造	A	川之江
青少年・ライオンズクエスト委員長	金岡誠	B	高梁
大会参加・迎接・プロトコル委員長	福永栄一	C	広島ニュー
環境保全・保健福祉委員長	菅武廣	A	松山湯築

日本8複合地区各種委員会委員			
国際理事候補者選挙管理委員会			
委員	井上亮二	B	倉敷中央
ライオン誌日本語版委員会			
委員	寺越慎一	C	広島平和
日本ライオンズ連絡事務所監査委員			
ライオン誌日本語版監査委員			
委員	坂根勝	D	松江

G M T			
コーディネーター	渡部雅文	B	倉敷西
メンバー	橋本充好	A	高知柏
メンバー	尾崎博	B	岡山西
メンバー	片岡文彰	C	尾道
メンバー	矢野敏明	D	松江葵

G L T			
コーディネーター	井上亮二	B	倉敷中央
メンバー	真鍋隆	A	こんびら
メンバー	大谷博	B	岡山
メンバー	安田克樹	C	竹原
メンバー	藤本幸嗣	D	平生

運営マニュアル編集委員会			
副委員長	長谷川憲男	A	高知桂
委員	一井淳治	B	岡山後楽
委員	迫越正彦	C	呉うるめ

L C I F 委員会			
コーディネーター	大羽義定	D	益田あけぼの

創立100周年記念計画委員会			
委員長	井上亮二	B	倉敷中央

緊急援助資金委員会			
委員長	松前龍宗	A	高松玉藻
委員	木内千春	A	板野
委員	別所清平	B	米子
委員	松尾敏弘	C	福山中央
委員	竹下雅雄	D	萩

第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会			
常任委員	渡部雅文	B	倉敷西
監査委員	寺越慎一	C	広島平和

336複合地区監査委員			
委員	一井淳治	B	岡山後楽
委員	寺越慎一	C	広島平和
委員	光貞正明	D	岩国錦

東日本大震災支援委員会			
顧問	武久一郎	A	徳島城山
委員長	松前龍宗	A	高松玉藻

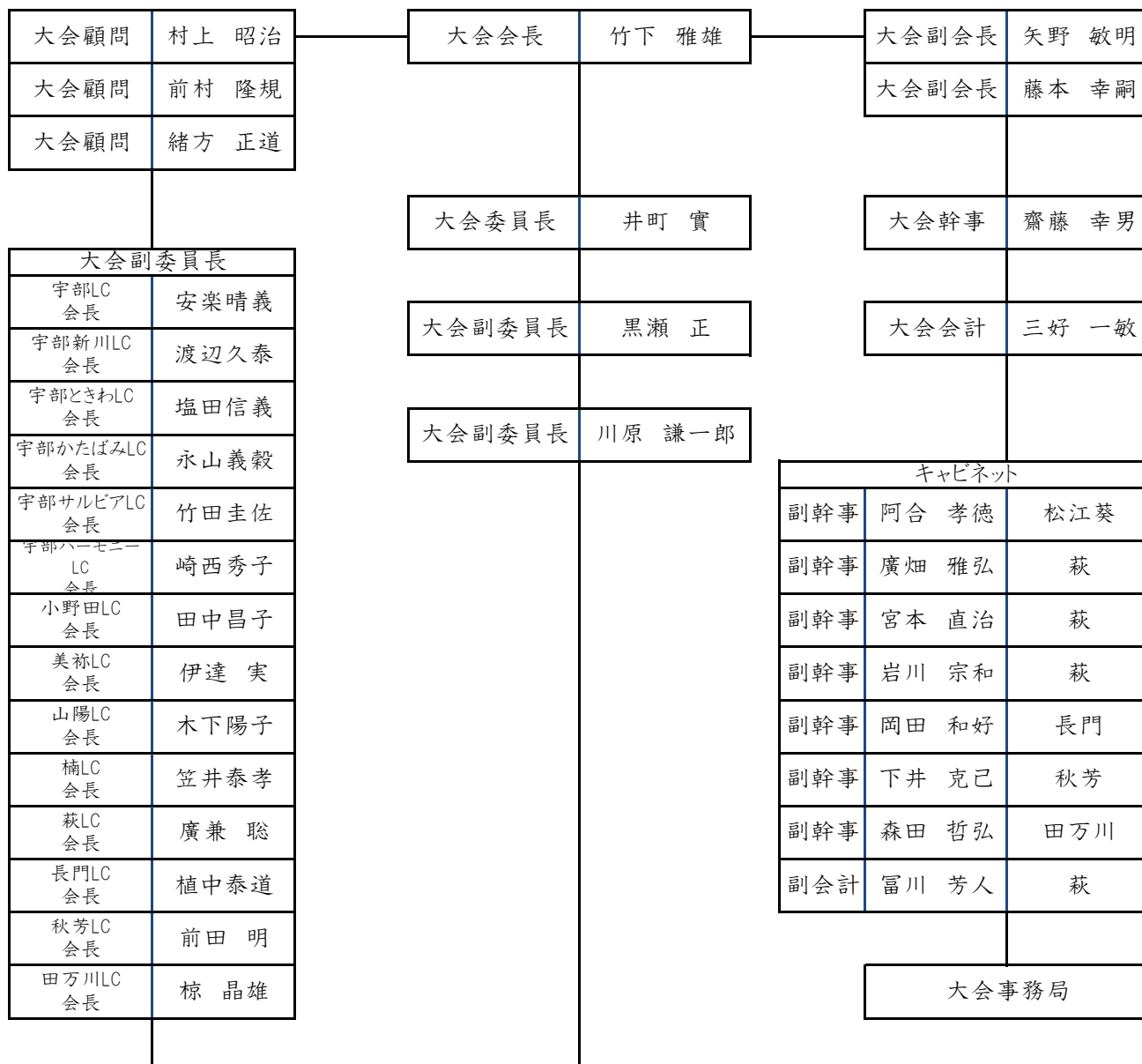
336複合地区第61回年次大会			
委員長	黒木福朋	A	高松玉藻

ガバナー協議会事務局運営委員会			
委員長	平賀将則	A	高松西
委員	岩佐典秀	A	藍住
委員	渡邊政則	B	米子
委員	占部裕	C	福山中央
委員	斉藤幸男	D	萩

8 M D I T 専門委員			
委員(正)	滝口広志	B	岡山せとうち
委員(副)	池原堅	C	福山久松

336複合地区ガバナー協議会事務局			
〒700-0907			
岡山市北区下石井2-1-18 ORIX岡山下石井ビル9F			
TEL : 086-234-0695 FAX : 086-234-0495			
E-mail : admin@lions-md336.org			

第61回地区年次大会運営組織表(案)



大会運営部会				
部会	部会長	副部会長	部員	担当クラブ

地区役員の連携活動について

(1) 新旧役員の引継ぎ

口頭の引継ぎはできるだけ避けて、資料による文書の形で引き継ぎを受けてください。

(2) 地区役員の年間活動計画（案）の提出

- 1) 各地区委員は、各リジョンが担当エリアであることを踏まえて 地区委員長の方針に沿って、各RC、ZCとの連携活動を重視して年間活動計画書（案）を、地区委員長と担当のZCに提出してください。

提出期限 6月15日

- 2) 地区委員長は、事業活動計画書（案）を、上記を踏まえて立案しCZCとガバナーに提出してください。

提出期限 6月25日

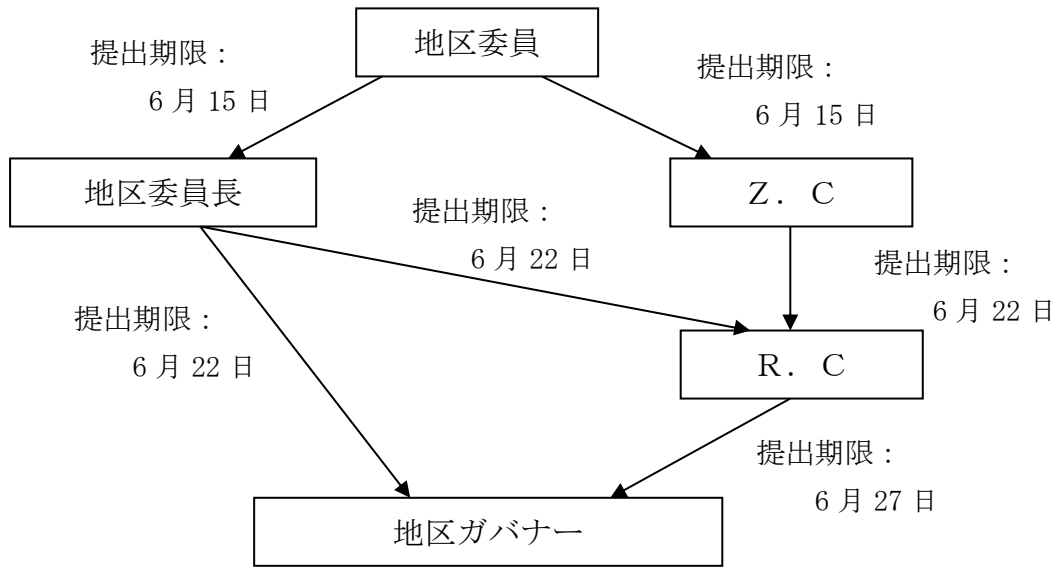
- 3) ZCは、地区委員と連携して、上記を踏まえた活動計画書（案）を担当のCZCとガバナーに提出して下さい。

提出期限 6月25日

- 4) CZCは上記を踏まえて活動計画書（案）をガバナーに提出してください。

提出期限 6月27日

年間事業・活動計画書（案）



提出期限 _____ 月 _____ 日 _____ 年間計画書（案）

R Z 役職： _____ 氏名： _____

月 日	事業活動計画（研修会も含む）	場 所	対 象
（ 摘 要 ）			

336-D地区 リジョン連絡会議ガイドライン

これまでも各リジョンでは、役員連絡会議等の名目で開催されていたとは思いますが、ここにモデルケースとしての、会議のガイドラインを提案いたしましたので内容をよくご理解の上、運営していただくようお願いいたします。

- (1) リジョン連絡会議の目的
リジョン連絡会議はガバナーの方針に則り、リジョン内の各クラブの円滑な運営と、地区委員会のそれぞれの方針、計画、実施を当リジョン内へ浸透させることを目的に、報告、連絡、活動報告の検討、決定等を行います。
- (2) 主催者
RCが主催する。
- (3) RCは各ZC、各地区委員会及びそれぞれの方針、計画等について、全員の報告、連絡を重視し、各々について全員が理解を深めるように努める。本会議は年間に4回は最低必要と考えられる。
- (4) 出席者
RC及び(当リジョン所属の)各ZC、地区委員長、各地区委員及びその他の関係者・・・地区名誉顧問及び地区役員の出席を特に求めてその助言を受ける。
- (5) 会議内容(参考例)
 - 新年度ガバナー地区運営基本方針の確認、並びに、年間活動計画(案)の作成、研修会準備、連携活動についての相互連絡、新・旧役員の引継ぎ会、その他。
 - ガバナー公式訪問準備、第1回諮問委員会準備、クラブ訪問計画、報告、相互連絡、連携活動等、その他。
 - 第2回諮問委員会準備、報告、相互連絡、連携活動、その他。
 - ガバナーズアワードについての準備、第3回諮問委員会準備、報告、相互連絡、連携活動等、その他。
 - 次回地区委員推薦決定会議、次期への引継ぎ資料の準備についての報告、相互連絡、連携活動等、その他。
 - 新・旧役員引継ぎ(引継ぎ、申し送り事項等を、文書資料で次期担当者へ引き渡す)
- (6) 各地区委員は委員会(委員長)の方針、計画に沿って、この実施を各クラブへ推進するよう、ガバナー公式訪問、諮問委員会、その他の方法(クラブ訪問の場合はRCまたはZCと一緒に、又は単独等)を活用して浸透をはかる為に、各担当リジョン内における年間活動計画(案)を作成し、6月26日までに所属委員長に提出してください。
- (7) 各ZC、委員長は所属RCのラインを尊重した活動方針計画を当リジョンの各

クラブに浸透させるために、各々の年間活動計画（案）を7月2日までにRC（委員長はガバナーへも）に提出して下さい。

- (8) 各RCは、各々の年間計画書（案）を7月9日までにガバナーに提出して下さい。

第 23 回世界スカウトジャンボリーへの支援に関して

第 23 回世界スカウトジャンボリーが、下記日程において開催されます。
世界スカウトジャンボリーは、4 年に 1 度開かれる世界スカウト機構主催の青少年大会で、世界 161 の国と地域から 3 万人が集まり、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共にします。

日本では、1971 年に静岡県朝霧高原で開催されて以来第 2 回目で、今回の第 23 回世界ジャンボリーは 2015 年に MD336-D 地区内の山口市きらら浜を主会場に開催されます。

大会総裁には、森 喜郎元首相、名誉会長 安部 晋三首相や、経団連会長・ボーイスカウト日本連盟理事長等、政官財の代表者が運営にあたっている、青少年(14~17 歳)を対象とした教育行事です。

この支援につき、前年度のキャビネット会議で提案審議し、先の第 59 回地区年次大会で、本年度に継続審議事項として引き継がれることになりました。

また、6 月 6 日の第 5 回 336 複合地区ガバナー協議会で、『336-D 地区で支援内容を検討した後、336 複合地区ガバナー協議会、8 複合地区議長連絡会議へ上程する予定である』ことが、今期の 336 複合地区ガバナー協議会に申し送りされました。

つきましては具体的方途として、一人当たりの支援金を、336-D 地区は 3,000 円、336-A~C 地区は 2,000 円、他 MD は 1,000 円をとし、約 1 億 1 千万円をライオンズクラブで集め、テント(1 億 845 万円)を寄贈したいと思います。オールライオンズにとりましても青少年健全育成活動の一環として協賛し、成功させたいと切に願い協力を要請するものです。

1. 会 期 平成 27 年(2015 年)7 月 28 日(火)~8 月 8 日(土) 12 日間
2. 会 場 山口県山口市きらら浜
3. テ ー マ 「和」: WA : a spirit of unity
4. 寄金募集案 今年度下期地区会費納入時から 1 回 1,000 円/一人を来期上・下期までの 3 回に分納する

尚、現在ボーイスカウト日本連盟より、国税当局に「指定特別寄付金」の指定要望が提出される予定とのことで、個人に対する確定申告時の特別控除の対象となる運びです。

必ず下記の寄金口座にご入金下さい。(特定寄付金として把握をする為です)

閣議了解 平成 23 年 12 月 16 日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が、平成 27 年に山口県山口市きらら浜において実施する第 23 回世界スカウトジャンボリーに対し、関係行政財団は必要な協力を行うものとする。
--

ガバナーズアワード (案) 2014～2015

種 類	授与基準	対象期間	審査認定	授与方法
1、総合最優秀クラブ 総合優秀クラブ	1クラブ 5クラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議 (ZC→RC 経由に て申請)	地区年次大会
2、エクステンション賞	スポンサーしたクラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
3、会員補強部門	クラブ員純増 5%以上 女性会員の増強に努めた クラブ 5 名以上スポンサーした 個人	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議 (ZC→RC 経由に て申請)	地区年次大会
4、地域奉仕部門	奉仕活動が効果的な発想 で行われ、且つその成果 が地域社会に多大に貢献 したクラブ 継続的な奉仕活動が地域 社会に受け入れられ顕著 な実績をあげているクラ ブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議 (ZC→RC 経由に て申請)	地区年次大会
5、LCIF 部門	LCIF 事業に特に貢献著 しいクラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
6、PR・IT 部門	地域社会に最も効果的な PR を実施したクラブ	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
7、会長・幹事・会計 リーダーシップ賞	マンスリーレポート提出 が期限内に正確に提出さ れること、国際会費・地 区費が期限までに納入さ れること	2014、3 ～2015、2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
8、ガバナー特別功労賞	特に賞揚に値する者	2014、3 ～2015、2	ガバナー専決	地区年次大会

キャビネット会議 進行改正（案）現行との比較

現行		改正（案）	
時間	会議名	時間	会議名
13：30～15：00	名誉顧問・RC・ZC 会議	13：30～14：30	名誉顧問会議
15：15～16：15	委員長会議	14：45～18：00	キャビネット会議
16：30～17：30	各委員会（分科会）		
17：45～19：15	懇親会	18：15～19：30	懇親会
翌日		翌日	
09：00～11：30	キャビネット会議	任意による委員会	

会議内容改正（案）

名誉顧問・RC・ZC 会議		名誉顧問会議	
13：30～15：00	1、開会のことば 2、出席者紹介 3、挨拶 4、議事 5、閉会のことば	13：30～14：30	1、開会のことば 2、出席者紹介 3、挨拶 4、議事 5、閉会のことば
委員長会議		キャビネット会議	
15：15～16：15	1、開会のことば 2、出席者紹介 3、挨拶 4、議事 5、閉会のことば	16：45～18：00	1、開会ゴング 2、国旗に敬礼 3、国歌・ライオンズク ラブの歌斉唱 4、336-D 地区物故会 員並びに献眼者に 対して黙祷 5、出席者紹介 6、挨拶 7、その他 8、議事 9、各委員会(分科会) ① PR・情報委員会 ② GMT 委員会 ③ GLT 委員会 ④ 国際関係委員会 ⑤ YCE 委員会 ⑥ 保健福祉環境保
各委員会（分科会）			
16：30～17：30	PR・GMT・GLT 委員会 国際関係・YCE 委員会 保健福祉・青少年委員会		

			全委員会 ⑦ 青少年健全育成委員会 ⑧ 委員長報告 9、閉会ゴング
17:45~19:15	懇親会	18:15~19:30	懇親会
翌日		翌日	
キャビネット会議			
09:00~11:30	1、開会ゴング 2、国旗に敬礼 3、国家・ライオンズクラブの歌斉唱 4、336-D 地区物故会員並びに献眼者に対して黙祷 5、出席者紹介 6、挨拶 7、感謝状並びに記念品贈呈 8、議事 ① 報告事項 ② 協議提案事項 ③ 各委員長報告 ④ 質疑応答 ⑤ その他 9、閉会ゴング	任意による委員会設置	

キャビネット会議 進行改正（案）詳細

名誉顧問会 13:30~14:30			
詳細時間	次第	出席者	備考
13:30	1、開会のことば	元国際理事・地区ガバナー・第一・第二副地区ガバナー・地区名誉顧問会議長・ガバナー協議会元議長・地区常任名誉顧問・地区名誉顧問・キャビネット幹事・キャビネット会計・キャビネット副幹事・キャビネット副会計・大会委員長・大会副委員長・ガバナーが認めた者	
13:35	2、出席者紹介		
13:45	3、挨拶		地区ガバナー（5分） 元国際理事（5分）
14:29	4、議事		① キャビネット会議の進行について ② 議事 報告事項 提案事項 ③ その他
14:30	5、閉会のことば		
14:44	休憩		
キャビネット会議			
14:45	1、開会ゴング	元国際理事・地区ガバナー・第一・第二副地区ガバナー・地区名誉顧問会議長・ガバナー協議会元議長・地区常任名誉顧問・地区名誉顧問・キャビネット幹事・キャビネット会計・キャビネット副幹事・キャビネット副会計・大会委員長・大会副委員長・RC・ZC・各委員長・各委員・オブザバ	
14:46	2、国旗に敬礼		
14:48	3、国歌・ライオンズクラブの歌斉唱		
14:48	4、336-D 地区物故会員並びに献眼者に対して黙祷		
14:50			
15:00	5、出席者紹介		
15:00	6、挨拶		地区ガバナー（5分） 元国際理事（5分） 第一副地区ガバナー（5分） 第二副地区ガバナー（5分） 地区名誉顧問会議長（5分）
15:30			
15:35	7、その他		
15:31	8、議事		
	① 報告事項		
	② 協議提案事項		
	③ 質疑応答		
16:10	④ その他		

詳細時間	次第	出席者	備考
16:29	休憩		
各委員会（分科会）			
16:30	PR・情報委員会 GMT 委員会 GLT 委員会 国際関係委員会 YCE 委員会 保健福祉環境保全委員会	委員長・委員 委員長・委員 委員長・委員 委員長・委員 委員長・委員 委員長・委員	各委員会別室 ※各委員会担当の副幹事が参加 ※各名誉顧問参加 ※ガバナー・第一・第二参加・その他各委員会参加
17:05	青少年健全育成委員会	委員長・委員	
17:19	休憩		
17:20	PR・情報委員長報告 GMT コーデネーター報告 GLT コーデネーター報告 国際関係委員長報告 YCE 委員長報告 保健福祉環境保全委員長報告		各委員長 5分
17:59	青少年健全育成委員長報告		
18:00	ガバナー挨拶及び閉会のゴング		
休憩			
18:15 19:30	懇親会		
翌日			
09:00 11:30	任意の委員会を開催する場合はキャビネットで会場を用意する		

各種会議日程(案)

1、キャビネット会議

- 第1回 2014年 7月26日(土) 萩市 :
- 第2回 2014年 11月22日(土) 松江市 :
- 第3回 2015年 2月14日(土) 松江市 :
- 第4回 2015年 4月4日(土) 萩市 :

2、地区名誉顧問会議

- 第1回 2014年 4月25日(金) 萩市 :
- 他必要時随時開催

3、地区常任名誉顧問

第1回 2014年 7月26日(土) 萩市 :

- 第2回 2014年 11月22日(土) 松江市 :
- 第3回 2015年 2月14日(土) 松江市 :
- 第4回 2015年 4月4日(土) 萩市 :

4、RC・ZC会議・各委員長会議

- 第1回 2014年 7月26日(土) 萩市 :
- 第2回 2014年 11月22日(土) 松江市 :
- 第3回 2015年 2月14日(土) 松江市 :
- 第4回 2015年 4月4日(土) 萩市 :

5、各委員会会議

- 第1回 2014年 7月26日(土) 萩市 :
- 第2回 2014年 11月22日(土) 松江市 :
- 第3回 2015年 2月14日(土) 松江市 :
- 第4回 2015年 4月4日(土) 萩市 :

6、各種研修会

随時開催

次期キャビネット 活動計画(案) (2014年2月～2015年7月)

2014年

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
2	1	土	次期キャビネット事務局立上げ	萩市	
	15	土	第3回地区名誉顧問会・RC・ZC会議 第3回委員長会議 第3回委員会	萩市	
	16	日	第3回キャビネット会議	萩市	
3	28	金	複合次期五役研修会	倉敷市	
	29	土	複合次期五役研修会	倉敷市	
4	5	土	第4回地区名誉顧問会・RC・ZC会議 第4回委員長会議 第4回委員会	松江市	
	6	日	第4回キャビネット会議	松江市	
	19	土	第60回地区年次大会・代議員会・晩餐会	松江市	
	20	日	第60回地区年次大会	松江市	
	25	金	第1回地区名誉顧問会議	萩市	
5	17	土	第60回複合地区年次大会代議員会・晩餐会	倉敷市	
	18	日	第60回複合地区年次大会	倉敷市	
	24	土	次期地区役員・委員研修会	萩市	千春楽
	30	金	複合ガバナー協議会	岡山市	
	31	土	次期4～7Rクラブ三役研修会	萩市	萩至誠館大学
6	13	金	6R3Z 諮問委員会 引継ぎ	萩市	
	14	土	次期1～3Rクラブ三役研修会	浜田市	浜田県立大学
7	1	水	国際大会 トロント	トロント	
	2	木	国際大会 トロント	トロント	
	3	金	国際大会 トロント	トロント	
	4	土	国際大会 トロント	トロント	
	5	日	国際大会 トロント	トロント	
	6	月	国際大会 トロント	トロント	
	7	火	国際大会 トロント	トロント	
	8	水	国際大会 トロント	トロント	
	9	木	国際大会 トロント	トロント	

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
7	26	土	第1回地区名誉顧問 第1回キャビネット会議 懇親会	萩市	千春楽
8	5	火	6R2Z 公式訪問	宇部市	
	6	水	5R4Z 公式訪問	山口市	
	7	木	6R3Z 公式訪問	萩市	
	8	金	6R1Z 公式訪問	宇部市	
	14	木	第1回ガバナー協議会	徳島市	
	21	木	7R1Z 公式訪問	下関市	
	22	金	7R2Z 公式訪問	下関市	
	23	土	5R1Z 公式訪問	光市	
	30	土	4R3Z 公式訪問	柳井市	
9	4	木	2R3Z 公式訪問	飯石郡	
	5	金	3R1Z 公式訪問	邑智郡	
	6	土	3R2Z 公式訪問	浜田市	
	10	水	1R1Z 公式訪問	安来市	
	12	金	2R1Z 公式訪問	出雲市	
	13	土	2R2Z 公式訪問	出雲市	
	19	金	1R2Z 公式訪問	松江	
	20	土	4R1Z 公式訪問	岩国市	
	27	土	5R3Z 公式訪問	防府市	
	28	日	下関維新 LC 認証 5 周年	下関市	
10	2	木	宇部 LC55 周年記念	宇部市	ANA クラウンブ ラザホテル宇部
	18	土	複合第2回ガバナー協議会	萩市	
11	8	土	平田 LC 認証 50 周年		
	13	木	OSEAL フォーラム	仁川	
	14	金	OSEAL フォーラム	仁川	
	15	土	OSEAL フォーラム	仁川	
	16	日	OSEAL フォーラム	仁川	
	22	土	新南陽 LC50 周年記念	徳山	
	29		第2回地区名誉顧問会 第2回キャビネット会議 懇親会	松江	ホテル 宍道湖

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
11			掛合 LC45 周年記念		

2015 年

月	日	曜日	事業活動計画	場所	備考
1	24	土	第 3 回ガバナー協議会	米子市	
2	14	土	第 3 回地区名誉顧問会 第 3 回キャビネット会議 懇親会	松江市	ホテル 宍道湖
	22	日	浜田マリン LC10 周年記念大会		
3	15	日	岩国桜 認証 LC50 周年	岩国市	
	22	金	益田あけぼの LC35 周年		
3	27	金	第 4 回ガバナー協議会	福山市	
	28	土	ガバナー協議会 次期五役研修会	福山市	
4	4	土	第 4 回地区名誉顧問 第 4 回キャビネット会議 懇親会	萩市	千春楽
	11	土	防府中央 LC 50 周年記念式典	防府市	
	18	土	第 61 回地区年次大会 代議員会・晚餐会	萩市	
	19	日	第 61 回地区年次大会	萩市	
	25	土	下関響灘 LC 40 周年記念式典	下関市	下関シーモールパレス
5	10	日	木次 LC 認証 50 周年記念大会	雲南市	
5	23	土	複合年次大会	高松市	
	24	日	複合年次大会	高松市	
6			第 5 回ガバナー協議会	高松市	

2014～2015 ガバナー公式訪問予定日程(案)

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
1	1	9	10	水	安来・出雲広瀬・東出雲・ 安来十神・伯太・八雲	安来	小林一夫
	2	9	19	金	松江・松江湖城・大東・穴道 鹿島島根・美保関・松江葵・ 隠岐海士	松江	足立 守
2	1	9	12	金	出雲・平田・大社・佐田・ 多伎町	平田	土江陽治
	2	9	13	土	出雲中央・斐川・出雲南・ 出雲レークヒル	出雲南	陰山洋二
	3	9	4	木	木次・三刀屋・賀茂島根・ 仁多・掛合・赤来・頓原・ 横田	頓原	後藤英夫
3	1	9	5	金	大田・石見・邑智大和・ 瑞穂	瑞穂	竹辺正人
	2	9	6	土	浜田・江津・益田・浜田亀山 益田あけぼの・金城抱月・ 桜江・浜田マリン	浜田	小谷典弘
4	1	9	20	土	岩国・岩国錦・岩国桜・由宇	岩国	野田勝人
	3	8	30	土	柳井・大島・田布施・柳井中 央・大島オレンジ・平生・大 島中央	柳井	田村啓治
5	1	8	23	土	下松・徳山・光・新南陽・ 徳山東・徳山中央・下松中央 ・周南・新南陽若山	光	中林嘉明
	3	9	27	土	防府・防府中央・防府ゴール デン	防府	渡邊弘信
	4	8	9	土	山口・山口西京・山口中央	山口中央	松本 豊

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
6	1	8	8	金	宇部・宇部ときわ・宇部新川・宇部かたばみ・宇部サルビア・宇部ハーモニー	宇部ときわ	仲田眞一
	2	8	5	火	小野田・美祢・山陽・楠	楠	田辺敏彦
	3	8	7	木	萩・長門・秋芳・田万川	萩	小田芳男
7	1	8	21	木	下関・下関東・下関西・下関長府・下関北・下関響灘・下関新下関・下関維新	下関 新下関	田上 登
	2	8	22	金	豊浦・豊田山口・菊川・豊北・下関中央	豊浦	林 透

キャビネット業務分担表

分担表①

役 職	幹事	会計	副幹事	副幹事
	齋藤幸男	三好一敏	阿合孝徳	廣畑雅弘
所属 LC	萩 LC	萩 LC	松江葵 LC	萩 LC
関係委員会	全般	全般	全般	PR・情報・IT
分 担 す る 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ●地区運営全般の管理 ●各種会合の委員会・研修会の準備 ●名誉顧問会・RC・ZC・会議に関する業務 ●地区役員研修会に関する業務 ●マンスリーレポートの点検・集計 ●審査・表彰決定の作成 ●キャビネット事務局の運営管理 ●諮問委員会関係 ●地区行事計画の作成業務 ●クラブの周年行事に関する業務 ●地区組織表作成業務 ●キャビネット構成委員・名誉顧問・クラブ3役の名簿作成業務 ●文書の発信 ●キャビネット局内の会議の連絡 ●諸会議の案内・出欠・及び記録に関する業務 ●複合地区運営委員 ●次年度国際関係委員長 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区予算・決算関係業務の統括 ●事務局会計業務の統括 ●地区大会予算の業務 ●各クラブの財政状況の把握 ●各クラブ出納事務の指導 ●地区監査委員との連絡業務 ●ガバナー経費の請求 ●旅費・慶弔の出納業務 ●特別会計文書の発送 ●拠出金の出納業務 ●2年後年度から2年間監査委員 ●通年4年後の年次大会での会計報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●次期キャビネット立上げに向けて幹事業務・会計業務等全般において研修 ●現キャビネット幹事補佐 ●会員増強・エクステンションに関する情報収集 ●LCIF・MJF に関する啓蒙活動 ●YCE 事業の継承活動 ●献眼・献血に関する啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●PRに関する業務 ●ライオンズ情報に関する業務 ●地区誌・キャビネット情報誌の発行業務 ●地区年次大会誌の発行業務・地区運営に関する幹事補佐 ●国際大会等各種大会の情報収集並びにPR ●キャビネット事務局ニュース作成業務担当委員との連絡調整 ●マンスリーレポートの点検指導 ●担当会議等の指導と出席者の確認 ●報道機関への連絡と取材対応 ●各クラブのIT化への指導 ●ホームページ立上げと各種更新業務 ●ライオンズクラブ国際協会のEMMRとのリンク業務 ●IT導入の指導・援助 ●議事録・各種会議資料のペーパーレス化の推進業務
協 力 業 務	<p>《幹事以下全員が協力する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全ての行事計画に関する業務 ●予算案に関する業務 ●公式訪問に関する業務 ●キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ●地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ●その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ●キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ●OSEAL・国際大会の代議員の出席勸奨と督励 			

キャビネット業務分担表

分担表②

役 職	副幹事	副幹事	副幹事	副幹事
	宮本直治	岩川宗和	岡田和好	下井克己
所属 LC	萩 LC	萩 LC	長門 LC	秋芳 LC
関係委員会	国際・LCIF	GMT・GLT	YCE	保健福祉環境保全
分 担 す る 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ●国際関係に関する業務 ●LCIF・MJFに関する業務 ●キャビネット役員の記事参加の要請と確認業務 ●YCEに関する啓蒙活動を指導 	<ul style="list-style-type: none"> ●援助要請があるクラブへの強化に関する援助 ●GMTに関する複合地区ガバナー協議会及び地区内委員長・委員の業務補佐 ●会員拡大・脱会防止への積極的指導 ●指導力向上に関する積極的指導 ●GLTに関する複合地区ガバナー協議会及び地区委員長・委員の業務補佐 ●会則運営マニュアルの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ●YCEに関する全てについて委員長を補佐し連絡・調整業務 ●YCEの計画立案の補助業務 ●派遣・受入の旅程・336受入窓口調整業務 	<ul style="list-style-type: none"> ●献眼・献血・視覚障がい福祉・聴覚・言語・精神障がい・環境保全に関する業務 ●植樹事業拡大に関する業務
協 力 業 務	≪幹事以下全員が協力する業務≫ <ul style="list-style-type: none"> ●全ての行事計画に関する業務 ●予算案に関する業務 ●公式訪問に関する業務 ●キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ●地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ●その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ●キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ●OSEAL・国際大会の代議員の出席勧奨と督励 			

キャビネット業務分担表

分担表③

役 職	副幹事	副会計	大会委員長	大会副委員長
	森田哲弘	富川芳人	井町 實	黒瀬 正
所属 LC	田万川 LC	菽 LC	菽 LC	長門 LC
関係委員会	青少年健全育成	副会計	大会全般	大会全般
分 担 す る 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ● 青少年健全育成に関する業務 ● 児童福祉に関する業務 ● ライオンズクエストに関する業務 ● レオクラブに関する業務 ● 薬物乱用防止に関する業務 ● 平和ポスターに関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区会計予算・決算書作成 ● 地区会計月別決算書の作成 ● 地区会計の出納業務 ● 地区大会費会計の予算・決算書の作成 ● 地区大会会計の出納業務 ● 各特別会計の予算・決算書の作成 ● 地区年次大会関係業務 ● 地区年次大会誌発行に関する業務 ● ガバナー経費の請求業務 ● 旅費・慶弔費の出納業務 ● 各特別会計文書の発行 ● 地区ガバナーバッジ・バナー等資産の管理業務 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区年次大会計画業務全般 ● 前年度年次大会での開催予告・PR・案内応援団結成とスローガン並びに挨拶 ● 大会当日の歓迎挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会委員長を補佐し、大会全般をサポートする。
協 力 業 務	≪ 幹事以下全員が協力する業務 ≫ <ul style="list-style-type: none"> ● 全ての行事計画に関する業務 ● 予算案に関する業務 ● 公式訪問に関する業務 ● キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ● 地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ● その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ● キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ● OSEAL・国際大会の代議員の出席勸奨と督励 			

キャビネット業務分担表

分担表④

役 職	大会副委員長			
	川原謙一郎			
所属 LC	萩 LC			
関係委員会	大会全般			
分 担 す る 業 務	●大会委員長を補佐し、 大会全般をサポートする			
協 力 業 務	≪幹事以下全員が協力する業務≫ ● 全ての行事計画に関する業務 ● 予算案に関する業務 ● 公式訪問に関する業務 ● キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 ● 地区年次大会・代議員会に関する一切の業務 ● その他必要に応じて全員で協力体制の構築 ● キャビネット局内会議連絡調整点検の協議を行う体制の構築 ● OSEAL・国際大会の代議員の出席勸奨と督励			

取引銀行について

2014~2015年 336-D 地区キャビネット事務局の取引銀行は次の通りとする

請求項目	納入先
地区運営費	西京銀行 萩支店 普通預金 No2044931 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 運営会計 三好一敏(みよし・かずとし)
地区大会費	西京銀行 萩支店 普通預金 No2044940 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 地区年次大会会計 三好一敏(みよし・かずとし)
緊急積立金特別会計	萩山口信用金庫 萩支店 普通預金 No0532995 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 緊急積立金特別会計 三好一敏(みよし・かずとし)
青少年育成基金特別会計	萩山口信用金庫 萩支店 普通預金 No0533006 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット 青少年育成基金特別会計 三好一敏(みよし・かずとし)
ライオンズクエスト 支援基金特別会計	萩山口信用金庫 萩支店 普通預金 No0533014 ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 萩キャビネット ライオンズクエスト支援基金特別会計 三好一敏(みよし・かずとし)

キャビネット幹事・キャビネット会計の担保免除について

任務の代行(案)

1、 地区ガバナー欠席の場合の任務代行は次の通りとする。

- | | |
|------------------|------|
| (1) 第一副地区ガバナー | 矢野敏明 |
| (2) 第二副地区ガバナー | 藤本幸嗣 |
| (3) 地区名誉顧問会議長 | 坂根 勝 |
| (4) 地区常任名誉顧問 | 岡村聖爾 |
| (5) 地区常任名誉顧問 | 大羽義定 |
| (6) キャビネット幹事 | 齋藤幸男 |
| (7) キャビネット会計 | 三好一敏 |
| (8) 各リジョンチェアパーソン | |

2、 リジョンチェアパーソンの事故のある時の任務代行は次のとおりとする。

- (1) リジョン内のゾーンチェアパーソン会議で決定する。

3、 ゾーンチェアパーソンの事故のあるときの任務の代行は次のとおりとする。

- (1) ゾーンチェアパーソンの所属するクラブの会長とリジョンチェアパーソンが協議のうえ決定する。

(注)慶弔時の任務代行について

山口地区・・・・・藤本幸嗣第二副地区ガバナー・岡村聖爾地区常任名誉顧問

島根地区・・・・・矢野敏明第一副地区ガバナー・坂根勝地区名誉顧問会議長

以上、お願い申し上げます。

2014~2015 年
キャビネット旅費・慶弔規定について(案)

(1) 旅費規程

	交通費	宿泊
役員	航空機(航空路線のあるところ) 列車(在来線・新幹線・急行・特急) 汽船(特等)	実費 (上限 10,000 円)
職員	列車(普通) 汽船(2等)	実費 (上限 10,000 円)

(注)

- 1、旅費はキャビネット会議及び委員会に出席、又は出張の場合に支給する。
- 2、交通費は JR 最短距離路線の運賃及び指定席実費とする。50km 超える場合は特急を利用できる。
- 3、職員が役員と同行の場合は必要に応じて役員並とすることができる。
- 4、宿泊費は用務の都合で宿泊を必要とする場合のみ実費(上限 10,000 円)を支給する。
- 5、諸会議・研修会等の開催地を包括するゾーン内の出席者には、旅費を支給しない。但し、ガバナーが認める場合はその限りではない。
- 6、この規定は 2014 年 4 月 26 日より実施。

(2) 慶弔規定

- 1、特別な慶弔には祝電・祝辞・弔電を贈る
- 2、地区名誉顧問、キャビネット構成員及び地区委員については次による。
 - a) 死去したときは香典 ¥10,000 を贈る(同居家族の場合は弔電を贈る)
 - b) 病気・障害等により入院または自宅加療の期間が 3 週間以上となるときは見舞金 ¥5,000 を贈る
 - c) 災害、風水害等の災害があったときは見舞金を贈る。その額はガバナーが決定する。
- 3、クラブ会長・幹事・会計が死去したときは、¥10,000 の香典を贈る。
その他の会員に対しては弔電を贈る
- 4、献眼者等の葬儀に対しては ¥10,000 円の香典を贈る。